

関連病院

GUIDE BOOK

2022年度版

日本大学医学部

「日本大学医学部・関連病院ガイドブック」の刊行にあたって



日本大学医学部長
木下 浩作
(救急医学系救急集中治療医学分野)

今まさに、日本の医学教育は大変革の最中です。一貫した卒前教育と卒後教育の連続性が重視され、臨床実習では、診療参加型臨床実習（クリニカル・クラークシップ）の充実が求められています。一方、「良き臨床医の育成」を目標とした日本大学医学部の医学教育は、現在の「医師の働き方改革」（2024年4月から適応）における医師の健康と地域医療提供体制確保のもとでは、大学病院だけでその環境を整備・完結することはできません。スチューデント・ドクターが、充実した診療参加型実習を外部施設でも行えるように関連病院と強く連携した卒前・卒後教育体制の構築を推進します。それにより、卒業生が関連病院の良さを実感し、多くの初期臨床研修や専攻医研修ができる環境の地盤を構築していきます。日大卒業の医師が地域で活躍でき、将来の地域医療構想を見据えた質の高い医療を効率的にできる体制と求められる医療機能分化にも対応できるよう、関連病院との連携を深めていきます。

本ガイドブックには、本大学の医学部生ならびに同窓の若い医師が、初期研修や専攻医研修や、その後の医師としての活躍の場を選択するための情報が満載されています。本ガイドブックが有効利用頂けますようお願いしております。

「日本大学医学部・関連病院ガイドブック」の刊行にあたって

卒後教育担当

奥村 恭男

(内科学系循環器内科学分野)



現在、医学教育モデル・コア・カリキュラムに基づき、医学部4年生終了時の共用試験（CBT/OSCE）が必須化されています。また、国際認証・医学教育分野別評価を受審すべく新たなカリキュラムでの教育が始まり、特に診療参加型臨床実習（クリニカル・クラークシップ）が重要視された内容になっています。そして、医学部卒業後、初期研修、専門研修（新専門医制度、専攻医、後期専門研修：基本領域専門医取得）、さらにサブスペシャリティの専門医取得とシームレスにキャリアを積めるような体制を構築しています。

このような日本大学での取り組みの中、近年、病院における医師の状況は益々厳しい時代になっております。板橋病院や日本大学病院の初期研修プログラムには募集人員の制限が設けられ、日本専門医機構の専門研修においても、東京都では募集人員の制限（シーリング）が存在します。シーリングは地域間・診療科間の医師偏在を緩和するために設置された制度ですが、「医師の働き方改革」（2024年4月からの医師の時間外労働規制適応）により時間外勤務の許可水準を保ちつつ、決められた医師数で高率のよい病院運営が必要となります。

このような時代背景から、従来の臨床実施施設の人材の連携をするだけの「関連病院」ではなく、教育、研究も連携できる「教育関連病院」の体制作りが必要となります。日本大学医学部では、従来の初期臨床研修を病院で、後期臨床研修（大学院、新専門医制度）を医学部で行う体制を見直し、令和3年11月から初期臨床研修、後期臨床研修を一貫し卒後教育担当を私が拝命し、初期臨床研修センター長も兼務することになりました。私のモットーは、人とできるだけ時間を共有し、その時間を大切にすることです。研修医の先生方の現場の声を聞きながら、医師としての資質ならびに技術や知識を学べる場を充実させます。初期研修や後期専門研修は、その後の人生に大きく影響を与えます。この医師として大切な時期を関連病院の先生方との有機的な連携を通じて、日本大学医学部全体をさらに発展できればと考えております。

本ガイドブックが、日本大学の医学部生ならびに同窓の若い医師が、研修病院（後期研修を含む）を選択する際に少しでも有効に活用されることを期待します。最後になりましたが、本ガイドブックの作成にあたり、情報をご提供頂きました関係各位の皆様に深謝申し上げます。

目 次

川口市立医療センター	1
独立行政法人地域医療機能推進機構 JCHO 横浜中央病院	3
春日部市立医療センター	5
公立阿伎留医療センター	7
板橋区医師会病院	9
社会医療法人 さいたま市民医療センター	11
静岡県立こども病院	13
相模原協同病院	15
小川赤十字病院	17
日本赤十字社東京都支部 大森赤十字病院	19
地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター	21
独立行政法人国立病院機構災害医療センター	23
東京都立大塚病院	25
公立福生病院	27
医療法人本庄福島病院本庄総合病院	29
小張総合病院	31
医療法人社団 永生会 永生病院	33
医療法人崇徳会 長岡西病院	35
取手北相馬保健医療センター医師会病院	37
医療法人 仁愛会 日立おおみか病院	39
戸田中央医科グループ (TMG) 医療法人社団武蔵野会 新座志木中央総合病院	41
公益財団法人東京都保健医療公社豊島病院	43
全国土木建築国民健康保険組合 総合病院厚生中央病院	45
医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院	47
日本私立学校振興・共済事業団東京臨海病院	49
武蔵野総合病院	51
豊島中央病院	53
医療法人社団 苑田会 苑田第三病院	55
医療法人財団 健貢会 総合東京病院	57
国立病院機構 埼玉病院	59
豊岡整形外科病院	61
医療法人財団明理会 イムス富士見総合病院	63
由利組合総合病院	65
医療法人社団薫風会 山田病院	67
慈雲堂病院	69
医療法人社団武蔵野会 TMG あさか医療センター	71
沼津市立病院	73
千葉県こども病院	75
公益財団法人東京都保健医療公社東部地域病院	77
医療法人社団輔仁会 嬉野が丘サマリヤ人病院	79
医療法人社団輔仁会 田崎病院	81
IMS グループ 医療法人社団明芳会 板橋中央総合病院	83
医療法人徳洲会 湘南藤沢徳洲会病院	85
あしかがの森足利病院	87
東松山市立市民病院	88
公益財団法人 河野臨牀医学研究所 付属品川リハビリテーション病院	89
社会福祉法人信愛報恩会 信愛病院	90
医療法人社団創進会 みつわ台総合病院	91
医療法人伯鳳会 東京曳舟病院	92
医療法人一条会 (社団) 一条会病院	93
公益財団法人 佐々木研究所附属杏雲堂病院	94
医療法人豊仁会 三井病院	95
赤羽中央総合病院	96
医療法人社団 藤崎病院	97
小豆畑病院	98
医療法人社団博鳳会 敬愛病院	99
IMS (イムス) グループ 医療法人財団明理会 明理会中央総合病院	100
赤心堂病院	101
医療法人財団謙仁会 亀有病院	102
特定医療法人財団大西会 千曲中央病院	103
医療法人寿鶴会 菅野病院	104
サンビエール病院	105
高月病院	106
太田総合病院	107
埼玉県立循環器・呼吸器病センター	108
幸仁会 堀中病院	109
社会医療法人社団一成会 木村病院	110
医療法人明柳会恩田第2病院	111
医療法人秀峰会 北辰病院	112

川口市立医療センター

開設者	川口市長 奥ノ木 信夫
病院管理者	病院事業管理者 大塚 正彦
所在地	〒333-0833 川口市西新井宿 180 番地
連絡先	TEL : 048-287-2525(代表) FAX : 048-280-1566
URL	http://kawaguchi-mmc.org/
交通アクセス	埼玉高速鉄道線 新井宿駅から徒歩 7 分



診療科目	内科	消化器内科	血液内科	脳神経内科	呼吸器内科	腎臓内科	糖尿病内分泌内科	循環器科
	小児科	精神科	外科	消化器外科	乳腺外科	呼吸器外科	小児外科	脳神経外科
	形成外科	心臓血管外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	皮膚科	泌尿器科	放射線科
	歯科口腔外科	リハビリテーション科	病理診断科					

許可病床数(床)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	539					
平均在院日数(日)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	10.69					

臨床研修病院の指定区分 基幹型

医師数

常勤：108名 非常勤：46名

専攻医情報等

【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総
専攻医プログラム認定施設	○	○											○			○			
専門医数(人)	12	8	1		9	4	4	1		1	4	5	7	1		6	1		2
専攻医枠(人)	5	7											1			2			

その他施設の認定

日大と人事交流のある科

消化器内科、脳神経内科、呼吸器内科、呼吸器外科、整形外科、心臓血管外科、循環器科、産婦人科、脳神経外科、泌尿器科、皮膚科、耳鼻咽喉科、放射線科、病理診断科

主な出身大学

日本大学、東京慈恵会医科大学、日本医科大学、東京女子医科大学、筑波大学、福島県立医科大学 他

位置付け

三次救急医療機関

実績

救急外来数/日平均(件)：31.2 救急車取扱数/日平均(件)：20.0

患者数/日平均(人)

外来患者数 1021.9 入院患者数 388.0

分娩件数/年(件)

509

臨床病理検討会(CPC)実施状況

剖検数/年(件) 4 CPC開催数/年(回)

病床数 539 床、標榜診療科 29 科。
救命救急センター・周産期センター・画像診断センターを併設している。
職員数は、約 880 名でそのうち医師は約 150 名、看護師は約 530 名在籍し、日常の診療・研修に当たっている。

1 日の外来患者数は約 960 人であり、近隣市からの来院も多い。夜間救急外来と救命救急センターにより、二次・三次救急患者を中心に積極的に対応している。

臨床研修指定病院のほか、地域医療支援病院、埼玉県災害基幹病院、脳死臓器提供施設、がん診療地域拠点病院の指定を受けている。
専任の臨床研修指導医を中心に研修医への指導に当たっている。

初期研修情報

研修プログラム名：川口市立医療センター卒業臨床研修プログラム（総合コース）

研修プログラム責任者：國本 聡

関連協力施設：国保町立小川野中央病院、北辰病院、ときとうクリニック 他

研修科の説明：

内科・消化器内科・血液内科・脳神経内科・呼吸器内科・腎臓内科・糖尿病内分泌内科：指導医のもとで、各分野の入院患者を受け持ち、病歴現症のとり方、検査法
の選択から診断、治療への過程を学ぶ。この間に基本的検査法、基本的治療法の手技を実地研修するとともに、各種カンファレンスや読影会にも出席し、内容の主
要疾患に関する診療技術と知識を習得する。

循環器科：主要な循環器疾患（高血圧を含む）に関する基本的な知識、技能を習得するために、指導医のもとに入院患者を受け持ち、病歴、現症の取り方、検査法の
選択から診断、治療への過程を学ぶ。この間に基本的検査法、基本的治療法の手技を実地研修するとともに、各種カンファレンスや読影会にも出席する。

小児科：外来は一般外来・午後の特設外来（てんかん・アレルギー・心臓外来・腎外来・予防接種・乳児健康診断・発達外来など）、中核病院として近隣の病院、診療
所からの紹介も多い。病床数は28床、対象疾患は多彩で短期間に多くの症例を体験できる。

外科・消化器外科・乳腺外科・呼吸器外科・小児外科・心臓血管外科：上級医の指導のもとで担当医として入院患者を受け持ち、検査、診療にあたる。一般腹部外科、
呼吸器外科、血管外科、形成外科、小児外科、乳房外科、心臓外科などの手術に術者、助手として参加し、術前術後管理を担当する。年間入院手術件数は、約1,000
例である。

形成外科：上級指導医のもとで形成外科的疾患の検査、診断、治療方法について学ぶ。特にマイクロサージャリーによる再建外科（切断肢指再接着術、乳房再建術、
悪性腫瘍切除後の再建術、四肢の形成術）に力を入れている。顔面外傷、先天奇形（口唇口蓋裂、小耳症、多指症）、熱傷（全身管理含む）、軟部腫瘍の年間手術症
例も数多く、形成外科を多岐にわたって学ぶことができる。

整形外科：整形外科医師チームの一員として病室、ならびに外来の診療、検査、治療に参加して、そのなかで直接指導を受ける。また、研修医のためのプログラムに
則り整形外科の基本についての教育を受ける。さらに、症例検討会、リハビリカンファレンス、院外の関連病院勉強会にも参加して勉強する。

脳神経外科：脳神経外科疾患の診断および治療に必要な知識、技術を習得する。また、頭部外傷、脳血管障害などの救急患者のプライマリ・ケアが迅速かつ十分に
行い得るようにする。さらに、学会発表、論文作成など適切な報告をする能力を身につけるようにする。当科での研修は、日本脳神経外科学会専門医訓練年限に加算
される。

皮膚科：主として外来において、専門医と共に診断・治療について習得する。臨床スライド、病理組織、症例検討などにより皮膚疾患の基礎的訓練を行い、この間皮膚生検、
冷凍術、パッチテスト、小手術などの実地的処置を行い、必要な知識と技能を習得する。皮膚科関連学会に出席し、研究発表を行う。

泌尿器科：泌尿器の基礎的知識、基本的診察法（尿検、触診）を習得し、救急時のカテーテル導尿法、留置法等を実施。手術、特殊検査（膀胱鏡、尿管カテーテル法、
超音波等）の際は助手となり泌尿器科の検査の特殊性と意義と読影術を学ぶ。病理検討会、症例検討会にも参加する。

産婦人科：産婦人科病棟において上級医のもとで研修する。産科病棟においては分娩管理に重点を置き、周産期センターの特徴を生かしてハイリスク妊娠の妊婦管理
や分娩方法を研修する。婦人科病棟においては婦人科疾患に対する知識を習得するよう指導する。手術に対しては助手または術者として、当直制に対して副当直と
して参加してもらう。

眼科：一般的基礎知識と基本的な臨床検査法（視力、屈折、視野、眼圧、細線燈顕微鏡、眼底検査、眼底写真、蛍光眼底造影、電気生理検査など）を習得する。最初
は簡単な外眼手術を行う。白内障を中心とした内眼手術は、入院患者を受け持ち、手術手技および術前後の管理を学んだ後に行う。光凝固の適応基準と実施手
技を行う。

耳鼻咽喉科：耳鼻咽喉科診療における基本的な知識と技術を学習し、耳鼻咽喉科疾患の診断、検査、治療を習得する。さらに耳鼻咽喉科的救急患者の診断、治療（処
置も含めて）を学ぶ。入院患者については、主治医と共に診察、治療にあたる。

放射線科：主要な画像診断装置としてCT、MRI、ガンマカメラ（SPECT）等充実。放射線治療装置としてマイクロトロン、マイクロセロトロンHDR、温熱治療
装置と充実した装置と、豊富な症例があり、専門医の指導のもとで、画像診断、放射線治療の専門的知識、技能を習得する。

麻酔科：無菌室を含む8つの手術室で年間約2,800件の手術麻酔業務を行う。ペインクリニック外来では難治性の頑固な痛みにも効果を上げ、帯状疱疹後神経痛、椎
間板ヘルニアなどの腰下肢痛、三叉神経痛、顔面神経麻痺、肩関節周囲炎などが多く、硬膜外ブロック、星状神経節ブロック、三叉神経ブロックを行うことが多
い。

精神科：指導医のもとで、精神科外来診療において求められる基本的知識・技能・態度を習得する。患者に対する面接（接し方、病歴聴取、症状の把握の仕方）、心理学的・
身体的検査、診断、治療の技能を学習する。また他科入院患者を対象にリエゾン精神医学を実習する。

NICU：ハイリスク児の年間入院患者約250名。うち超低出生体重児は約25名。常時8～9台の人工呼吸器が稼働。気管内挿管はじめ呼吸循環管理を中心に技術
を研修する。さらに、退院したハイリスク児につき発達育児健診を行う。研修中は、ほぼ毎日泊まり込みとなる。産科における年間約600名の正常新生児につ
いても、診察の仕方を習得。

救命救急：院内の救命救急センター（日本救急医学会専門医指定施設）において、主として重傷救急患者の診療にあたる。多発外傷・脳血管障害・急性薬物中毒・熱
傷などの初期治療のほか、頭部・胸部・腹部外傷を中心とした緊急手術および重傷疾患に対する呼吸循環管理や血液浄化法などによる集中治療を行う。

病理診断科：組織標本・細胞標本作成を経験し、病理検査の基本を理解する。指導医と共に組織・細胞診断業務に携わり、外科病理の知識・各疾患の知識を深める。
剖検ならびに診断を行うことで解剖・病態生理を理解し、系統的診断能力を養う。ケースカンファレンス・CPCに参加することで、病理の役割とチーム医療の重要
性を理解する。

研修の概要と特徴：

内科では、各専門内科のほか、総合診療内科での研修も取り入れている。

ローテーションの順は研修医によって異なるが、内科28週・救急12週・外科8週・小児科4週・産婦人科4週・地域医療4週・精神科4週・選択32週の研修を行う。

また、臨床研修を円滑、効果的に進めるために、採用後1～2週間程度かけてオリエンテーション（臨床研修入門コース）を実施している。

研修医の当直：4回/月

募集内容

募集予定人数	総合コース…12名	
処遇	給与（月額）	1年次…372,476円 2年次…387,324円
	賞与（年額）	1年次…約581,000円 2年次…約929,000円
	諸手当	通勤手当、時間外勤務手当
	社会保険	社会保険、雇用保険、労災保険加入
	医師賠償責任保険	病院において：加入しない 個人加入：任意
	福利厚生	学会、研究会等への参加補助：請求は年度内1回。併せて旅費も請求できる。 図書：各種資料検索のための図書室がある。 借上げ宿舍あり（一部負担有・原則入居必須）
研修医宿舎	医局とは独立。各研修医に机・ロッカーあり。電子カルテも複数用意。	
研修医室		

後期専門研修募集情報

基幹施設	内科 …「川口市立医療センター内科専門研修プログラム」 （連携施設）自治医科大学附属さいたま医療センター、日本大学医学部附属板橋病院、東京慈恵会医科大学附属病院（募集人数）5名
	小児科…「川口市立医療センター小児科専門研修プログラム」 （連携施設）済生会川口総合病院、埼玉協同病院、草加市立病院、東京医科歯科大学、東京北医療センター、土浦協同病院、JAとりで総合医療センター、 東京ベイ浦安市川医療センター（募集人数）7名
	麻酔科…「川口市立医療センター麻酔科専門研修プログラム」 （連携施設）日本大学医学部附属板橋病院、日本大学病院（募集人数）1名
	救急科…「川口市立医療センター救急科専門研修プログラム」 （連携施設）日本医科大学附属病院高度救命救急センター、埼玉医科大学総合医療センター救命救急センター（募集人数）2名
連携施設	産婦人科（日本大学医学部）、泌尿器科（日本大学医学部附属板橋病院）、救急科（日本医科大学附属病院高度救命救急センター、埼玉医科大学総合医療センター 救命救急センター）、外科（東京慈恵会医科大学病院、日本大学病院）、耳鼻咽喉科（日本大学医学部附属板橋病院）、眼科（東京医科歯科大学）、病理診断科（日 本大学医学部附属板橋病院、聖路加国際病院）、形成外科（東京女子医科大学）、放射線科（日本大学医学部附属板橋病院）、整形外科（日本大学医学部）
待遇	①身分 会計年度任用職員 ②報酬 免許取得後3年目 400,316円 免許取得後4年目 413,540円 免許取得後5年目 427,228円 ③通勤手当 有り ④その他手当 時間外勤務手当・期末手当（賞与） ⑤福利厚生 社会保険・雇用保険・労災保険加入

応募問合せ先

担当者 病院総務課職員係 研修医担当 TEL/FAX TEL：048-287-2525 FAX：048-280-1566
E-mail 170.01005@city.kawaguchi.saitama.jp

独立行政法人地域医療機能推進機構 JCHO 横浜中央病院

開設者	独立行政法人地域医療機能推進機構 理事長 山本 修一
病院管理者	病院長 藤田 宜是
所在地	〒231-8553 神奈川県横浜市中区山下町 268 番地
連絡先	TEL : 045-641-1921 FAX : 045-671-9872
URL	http://yokohama.jcho.go.jp
交通アクセス	JR 京浜東北線 石川町駅北口より徒歩 2 分 市バス停留所有り みなとみらい線 元町中華街駅 徒歩 8 分 横浜市営地下鉄 関内駅 徒歩 8 分
併設施設	附属看護専門学校・訪問看護ステーション・健康管理センター



診療科目	内科	腎臓・人工透析内科	呼吸器内科	消化器・肝臓内科	循環器内科	外科	消化器外科
	乳腺外科	血管外科	整形外科	脳神経外科	皮膚科	泌尿器科	婦人科
	眼科	総合診療科	歯科口腔外科	麻酔科	ペインクリニック内科	病理診断科	臨床検査科
	放射線科	リハビリテーション科	救急科	形成外科			

許可病床数 (床)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	250					
平均在院日数 (日)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	18.3					

臨床研修病院の指定区分 基幹型

医師数

常勤：52名 (初期臨床研修医 8名) 非常勤：78名

専攻医情報等

【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総
専攻医プログラム認定施設	関連				関連	関連		関連		関連	関連		関連						
専門医数 (人)	9				2	2		1		1	1		2						
専攻医枠 (人)	9				1	1		1		1	1		1						

その他施設の認定

総合内科専門医 5名、日本外科学会専門医 3名・指導医 1名、日本循環器学会専門医 6名、日本消化器病学会専門医 5名・指導医 2名、日本整形外科学会専門医 2名、日本泌尿器学会専門医 2名・指導医 2名、日本麻酔科学会専門医 2名、日本腎臓学会専門医 2名・指導医 2名、日本消化器外科学会専門医 2名、日本消化器内視鏡学会専門医 3名・指導医 2名、日本がん治療認定医 4名、日本高血圧学会専門医 1名・指導医 1名、日本心血管インターベンション治療学会専門医 2名・指導医 2名・認定医 1名、日本糖尿病学会専門医 1名・指導医 1名、日本口腔外科学会専門医 1名、日本急性血液浄化学会指導医 1名、日本眼科学会専門医 1名・指導医 1名、日本リウマチ学会専門医 1名・指導医 1名、日本アレルギー学会専門医 2名・指導医 1名、日本肝臓学会専門医 3名・指導医 1名、日本脳神経外科学会専門医 1名、日本プライマリケア連合学会認定医 1名・指導医 1名、日本内視鏡外科学会認定医 1名、日本呼吸器内視鏡学会専門医 1名、日本呼吸器学会専門医 1名、日本透析医学会専門医 3名、日本超音波学会認定医 1名・指導医 1名、日本消化器がん検診学会認定医 1名、日本医学放射線学会専門医 1名

日大と人事交流のある科

内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器・肝臓内科、腎臓内科、消化器外科、乳腺外科、血管外科、整形外科、脳神経外科、麻酔科、皮膚科、泌尿器科、眼科、病理、歯科口腔外科

主な出身大学

日本大学、横浜市立大学、他

医師情報

位置付け

横浜市二次救急拠点病院

実績

救急外来数/日平均 (件) : 5.5 救急車取扱数/日平均 (件) : 9.6

救急医療

患者数/日平均 (人)

外来患者数 462.4 入院患者数 164.1

分娩件数/年 (件)

臨床病理検討会 (CPC) 実施状況

剖検数/年 (件) 7 CPC開催数/年 (回) 6

当院は全国に 57 病院をもつ JCHO グループの一病院で、地域医療や地域包括ケアの要として超高齢化社会における地域住民の多様なニーズに応え、生活を支えることを目的とした公的医療機関です。

開設は昭和 23 年 3 月で横浜市の中心地である中区に位置し、JR 石川町駅から徒歩 3 分の好立地にあります。中華街に隣接し多国籍の患者様を受け入れるため通訳事務を複数人常駐させるなど国際色の強い病院です。

横浜市二次救急拠点病院として年間で 3,500 台以上の救急車を受入れており、横浜市心疾患救急医療体制、横浜市脳血管疾患救急医療体制にも参加しています。

また、令和 4 年 1 月から地域医療支援病院として運営を開始しました。地域医療の実践と地域救急医療の強化をすることで二次医療圏の中心的な役割を担う急性期病棟のほかに地域包括ケア病棟を有するケアミックス型の病院です。

当院の研修は少人数制でマンツーマン教育が特徴です。多くの診療科で日本大学出身者が勤務しており、どの診療科でも安心して先輩からの指導を受けることができます。

初期研修情報

研修プログラム名: JCHO 横浜中央病院初期臨床研修プログラム

研修プログラム責任者: 大岩 功治 (プログラム責任者講習修了者) **副研修プログラム責任者:** 藤川 博敏 (プログラム責任者講習修了者)

関連協力施設:

病院群: 日本大学医学部付属板橋病院、横浜市立大学附属市民総合医療センター、横浜市立みなと赤十字病院地域医療群: 秋山眼科医院、小菅医院、かめのはしクリニック、山崎医院、新妻クリニック、渡辺皮膚科クリニック、石川クリニック、ザ・プラフメディカル&デンタルクリニック、向山小児科医院、横浜市中福祉保健センター

研修科の説明:

当院の研修のスケジュール

- 必須科目: 内科、外科、小児科、産婦人科、精神科、救急、地域医療を必修分野とする。また、内科研修で一般外来診療の研修を含める。
- 内科 32 週、救急 12 週、小児科、産婦人科、精神科をそれぞれ 4 週の研修を行い、外科、地域医療は 8 週の研修を行う。
- 救急研修について、4 週は麻酔科による研修を行い、残り 8 週を救急科として実習する (選択として 4 週間をみなと赤十字病院の救命センターの選択も可能)
- 連携実習: 産婦人科、精神科、小児科は、日本大学板橋病院、みなと赤十字病院、横浜市立大学附属市民総合医療センターより選択

診療科の説明

内科・総合内科: 内科・総合内科・一般外来研修を、初診外来として学びます。主に後期研修医 (専攻医) とともに、指導医のバックアップを受けながら外来診療によるプライマリケアを学びます。

循環器内科: 循環器内科: 狭心症・心筋梗塞、下肢閉塞性動脈硬化症に対する診断、治療そして最新のカテーテル治療について学びます。また心不全の薬物療法や心臓リハビリテーションの実践や不整脈治療、ペースメーカーの植え込みについて経験できます。

消化器・肝臓内科: 急性期から慢性期、プライマリケア領域にわたる多くの消化器疾患に対応しており、上下部内視鏡、腹部エコー、ERCP などを使用した診断、治療を習得することができます。

腎臓内科: 急性・慢性の腎臓病診断・治療を指導医とともに経験できます。豊富な症例と優しい指導者が当科の特徴です。また高血圧や糖尿病など、腎障害の原疾患管理についても腎障害予防の観点で広く修得できます。

呼吸器内科: 胸部画像検査、肺機能検査、気管支鏡検査などの呼吸器疾患に必要な検査を学び、呼吸器感染症や呼吸不全、肺癌に対して診断・治療の経験を重ねていくことができます。

外科・一般外科・乳腺外科・血管外科: 外科・消化器外科指導医のもとで、地域医療における消化器一般外科・乳腺外科の手術手技、消化器癌の化学療法、栄養管理、緩和ケアの基本を学び、自ら実践することができます。血管外科では下肢静脈瘤、深部静脈血栓症などの静脈性疾患や閉塞性動脈硬化症などの末梢動脈疾患に対して血管外科治療、透析患者への内シヤント手術が経験できます。

泌尿器科: 地域医療における一般泌尿器科の外来診療～手術手技について学び、実践することができます。泌尿器科癌化学療法や緩和ケアについても学習できます。

整形外科: 整形外科では、老若男女問わず幅広く外傷性疾患を中心に診療を行っております。また関節、脊椎における変性疾患に対しても手術を含めた治療を経験できます。

脳神経外科: 脳卒中 (くも膜下出血、脳出血、脳梗塞)、頭部外傷に対する急性期管理 (画像診断、薬物治療、外科治療及び血管内治療) を学ぶことができます。

麻酔科: 気管内挿管・腰椎穿刺などの麻酔領域の基本的な手技習得を重視しています。またエコー下神経ブロックなど、先進的麻酔への理解を深めるカリキュラムとなっています。

眼科: 眼科では一般的な眼科診察方法、眼底写真の読影法の習得から始め、頻度の多い疾患の診断・治療の組み方や、白内障手術などを学ぶことができます。

救急科: 内科系は内科救急担当医とともに日勤帯の救急搬送患者を指導医や上級医とともに学びます。外科系は主に外傷救急患者を整形外科、脳外科指導医とともに学びます。みなと赤十字病院の救命センターでの研修も可能です。

放射線科: 将来どんな科を専攻されるとしても、画像診断に対する知識が不可欠です。ご希望に合わせて画像診断の勉強のお手伝いのできればと思います。

総合診療科: 当院の総合診療科は、病院総合診療として地域在宅医療や施設などの入院患者に対応する診療科です。多くの高齢者が多臓器にわたる疾患を有するため、診療科を横断的に診療できることが特徴で、地域包括ケアを中心とした医療を学ぶことができます。

歯科口腔外科: 歯科口腔外科は、口腔外科疾患全般の治療および基礎疾患を有する患者さんに対して、安全に歯科治療を提供しており、他の診療科と連携して NST もバックアップします。

研修の概要と特徴:

当院の研修の特徴

当院の研修プログラムは院内での研修を中心に、大学病院や地域の研修関連施設の協力を得て行います。とくに地域医療研修は、地元医師会と強い連携体制で地域包括ケアシステムを実践する総合診療科の研修が特徴です。また、2次救急拠点病院として、横浜市の多くの救急患者の受入れを行い、豊富な症例を経験できます。日本大学や横浜市立大学の関連病院として、親身できめ細かい指導でプライマリケア、専門診療科の研修を行います。

研修医の当直:

当直は月 4 回を原則とし、当直の翌日は休日扱いになります。

募集内容

募集予定人数	4 名
処遇 給与 (月額)	1 年次 月額 357,000 円
賞与 (年額)	1 年次 年額 500,000 円
諸手当	住居手当 月額 上限 27,000 円 ※賃貸の場合 宿日直手当 1 回 10,000 円 他通勤手当等あり
社会保険	
医師賠償責任保険	病院においてなし
福利厚生	健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険、定期健診
研修医宿舎	職員寮あり
研修医室	医局と独立。各研修医に個人の机・ロッカーあり。インターネット (ネット環境完備)

応募問合せ先

担当者 JCHO 横浜中央病院 総務企画課 研修医担当
TEL/FAX TEL: 045-641-1921 FAX: 045-671-9872
E-mail soumu@yokohama.jcho.go.jp

春日部市立医療センター

開設者	春日部市長 岩谷 一弘
病院管理者	病院事業管理者 三宅 洋
所在地	〒344-8588 埼玉県春日部市中央6丁目7番地1
連絡先	TEL : 048-735-1261 FAX : 048-734-2471
URL	http://www.kasukabe-cityhp.jp
交通アクセス	東武スカイツリーライン春日部駅から徒歩約10分



- 診療科目
- 内科
 - 循環器内科
 - 消化器内科
 - 呼吸器内科
 - 血液内科
 - 糖尿病・代謝内科
 - 小児科
 - 外科
 - 乳腺外科
 - 整形外科
 - 脳神経外科
 - 呼吸器外科
 - 形成外科
 - 皮膚科
 - 泌尿器科
 - 産婦人科
 - 眼科
 - 耳鼻咽喉科
 - 精神神経科
 - 放射線科
 - 麻酔科
 - 病理診断科
 - 歯科口腔外科

許可病床数(床)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	361		2			
平均在院日数(日)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	9.9					

臨床研修病院の指定区分 基幹型

医師数

常勤：81名 非常勤：117名

専攻医情報等

【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総
専攻医プログラム認定施設	○	関連	関連		関連	関連	関連	関連		関連	関連	関連	関連						
専門医数(人)	13	4	1		5	2	4	1	1	1	2	2	2	1				1	
専攻医枠(人)	3																		

その他施設の認定

日大と人事交流のある科

内科、循環器科、血液内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科

主な出身大学

日本大学、産業医科大学、秋田大学、徳島大学、高知大学、千葉大学、帝京大学、群馬大学 他

位置付け

二次救急医療機関

実績

救急外来数/日平均(件)：17.8 救急車取扱数/日平均(件)：8.3

患者数/日平均(人)

外来患者数 709.6 入院患者数 253.4

分娩件数/年(件)

343

臨床病理検討会(CPC)実施状況

剖検数/年(件) 6 CPC開催数/年(回) 2

埼玉県東部の地域医療の中心を担う公立病院であり、市の行政施策により運営される市民のための病院です。

自治体病院の使命である高度医療、救急医療、不採算医療を実施しています。診療情報開示、クリニカル・パス推進、オーダーリング・システム、電子カルテ、看護支援システム等を導入、地域がん診療連携拠点病院にも指定されています。

また、当院は平成28年7月に新病院に移転しました。新病院は地震に強い免震構造を採用した地上8階建てで、新病院専用の立体駐車場を併設しています。

1階と2階は外来や検査などの主要な機能を集約して配置した、分かりやすく利用しやすい外来・診療部門、3階は拡充した手術部門を中心に高度医療が連携する診療部門、4階は新生児特定集中治療室(NICU)などとの機能的連携に配慮した病棟、5階～7階は安心とゆとりのある病棟で、5階には緩和ケア病棟を新たに設置しております。

初期研修情報

研修プログラム名：春日部市立医療センター臨床研修プログラム

研修プログラム責任者：三宅 洋

関連協力施設：

順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院、国立病院機構東埼玉病院、日本大学医学部附属板橋病院

研修科の説明：

◎特徴のある科目

- (1) 地域医療は、診療所（外来診療、在宅、デイケア）、緩和ケア、回復期リハビリ病棟、特別老人養護施設等、多様な研修の組み合わせが可能。
- (2) 選択する診療科については、重複も可能。選択する分野については、プログラム責任者及び選択する分野の指導責任者と研修医間で相談し、研修管理委員会が決定する。
- (3) 救急医療は内科、外科研修時及び日・当直業務で随時経験できる。また、救急車同乗への参画など、救急医療を重視している。

◎主な研修科の説明

- 内 科**：主要な内科疾患の診断、治療、生活指導ができるようになるために、基本的な知識、技能、態度を身につける。6週間ずつ、呼吸器、循環器、糖尿病、総合または消化器、神経、血液の各診療グループをローテーションする。
- 外 科**：①全ての臨床医にとって必要な、初期医療における外科応急処置が出来るようになるための基本的な外科的知識、技能、態度を身につける。
②手術適応について適切な判断を下せるようになるための知識を身につける。
③術前、術後の患者の管理能力を身につける。
- 救 急**：救急医療でのプライバシーやインフォームド・コンセントの特殊性を理解し、患者及び家族との信頼関係を確立することを身につける。
- 麻 酔**：手術を受ける患者および家族に麻酔に関する情報をわかり易く説明し、麻酔に関する心配、不安感をないようにインフォームド・コンセントが実施できるようにする。
- 小 児 科**：未熟児、新生児から思春期にいたる小児のおおまかな発育・発達を理解し、病的状態を評価できるようにする。
- 産 婦 人 科**：女性であり母性である産婦人科患者の特殊性を理解し、正常・異常分娩を含む妊娠、分娩、産褥に関連した患者及び婦人科患者を診察し、適切な診断と治療ができ、さらに、患者、家族との間に望ましい交流を形成、さらに、より良い人間関係を確立しようとする基本的態度を身につける。
- 脳神経外科**：脳神経外科疾患の診断および治療に必要な知識、技術を習得する。また頭部外傷、脳血管障害などの救急患者の初期治療と治療計画の立案が迅速かつ十分に行なえるようにする。
- 皮 膚 科**：皮膚疾患の診断、治療に必要な基本的知識、技術および診療姿勢を修得する。
- 泌 尿 器 科**：泌尿器科医の基本的な知識および技術を身につけるため、定められた診察法、検査、手技を経験する。

研修の概要と特徴：

「病める人の尊厳を守り、医療の提供と公衆衛生の向上に寄与する職業の重大性を深く認識し、医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）及び医師としての使命の遂行に必要な資質・能力を身に付けるとともに、基本的価値観を自らのものとし、基本的診療業務ができるレベルの資質・能力を修得する。」ことを到達目標とし、限られた期間に、現在社会的にも要望され、将来どのような専門科に進むにしても必要となる幅広いプライマリ・ケアの基本的な診療能力を身につけるための選択科目の重視が特徴となっている。

研修医の当直：当直は5回を限度とする。指導医と共に研修当直し、救急症例について適切に対応出来るような指導を受ける。

募集内容

募集予定人数	7人
処 遇	給与（月額） 1年次：350,300円 2年次：368,800円
	賞与（年額） 1年次：968,149円 2年次：1,578,538円
	諸手当 当直1回につき21,000円
	社会保険 政府管掌健康保険、厚生年金、労災保険
	医師賠償責任保険 個人加入：任意
福利厚生	住宅助成金有り（45,000円） 健康診断実施 プログラム責任者の承認を得た学会、研究会は病院負担
研修医宿舎	無：個人準備の時は住宅助成
研修医室	有：専用机有り

応募問合せ先

担当者 総務課 総務担当 石岡 TEL/FAX TEL：048-735-1261 FAX：048-734-2471
E-mail somu-hos@city.kasukabe.lg.jp

公立阿伎留医療センター

開設者	阿伎留病院企業団
病院管理者	院長 根東 義明
所在地	〒197-0834 東京都あきる野市引田 78 番地 1
連絡先	042-558-0321
URL	http://www.akiru-med.jp/
交通アクセス	JR 五日市線「武蔵引田」駅より徒歩 5 分 圏央道「日の出 IC」より 5 分



診療科目	総合内科	生活習慣内科	神経内科	呼吸器内科	消化器内科	循環器内科	腎臓内科	リウマチ科	小児科
	外科	乳腺外科	形成外科	呼吸器外科	整形外科	脳神経外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科
	眼科	耳鼻咽喉科	リハビリテーション科	放射線科	麻酔科	救急科	緩和治療科	歯科口腔外科	

許可病床数(床)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	305					
平均在院日数(日)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	10.0					

臨床研修病院の指定区分 基幹型

医師数

常勤：49名 非常勤：60名

専攻医情報等

【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総
専攻医プログラム認定施設	○	○				○				○						○			
専門医数(人)	8	2	1		7	1	4	1	0	2	3	1	3			2			
専攻医枠(人)																			

その他施設の認定

学会認定専門医数

総合内科専門医 8 名、呼吸器専門医 3 名、循環器専門医 2 名、消化器病専門医 6 名、腎臓専門医 1 名、肝臓専門医 1 名、皮膚科専門医 1 名、小児科専門医 2 名、外科専門医 5 名、泌尿器科専門医 2 名、脳神経外科専門医 3 名、整形外科専門医 1 名、眼科専門医 1 名、婦人科専門医 4 名、麻酔科専門医 3 名、救急科専門医 2 名、放射線科専門医 1 名、超音波専門医 1 名、透視専門医 1 名、消化器内視鏡専門医 3 名、脳卒中専門医 1 名、頭痛専門医 1 名、集中治療専門医 1 名、外傷専門医 1 名、細胞診専門医 1 名、呼吸器外科専門医 1 名、リウマチ専門医 1 名

学会認定指導医数

日本呼吸器学会指導医 2 名、日本消化器病学会指導医 3 名、日本消化管学会胃腸科指導医 1 名、日本消化器科学会指導医 1 名、日本外科学会指導医 1 名、日本透析医学会指導医 1 名、日本麻酔科学会指導医 3 名、日本産婦人科学会産婦人科指導医 2 名、日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍指導医 1 名、日本大腸肛門病学会指導医 1 名、日本緩和医療学会暫定指導医 1 名、日本救急医学会指導医 2 名、気管支鏡指導医 1 名

学会専門医修練施設としての認定

日本内科学会認定教育関連病院、日本リウマチ学会教育施設、日本循環器学会専門医研修施設、日本消化器病学会専門医制度認定施設、日本救急医学会救急科専門医指定施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本乳癌学会関連施設、日本整形外科学会専門医研修施設、日本脳神経外科学会専門医研修プログラム連携施設、日本皮膚科学会認定専門医研修施設、日本泌尿器科学会専門医教育施設、日本麻酔科学会認定麻酔科認定病院、日本臨床細胞学会認定施設、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本電子超音波医学会認定 超音波専門医制度 研修施設指定、日本消化管学会 胃腸科指導施設、日本乳がん検診精度管理中央機構 マンモグラフィ検診施設・画像認定施設日本緩和医療学会認定研修施設、日本呼吸器内視鏡学会 気管支鏡専門医制度 関連認定施設、肺がん CT 検診認定機構 肺がん CT 検診施設認定、日本脳卒中学会認定研修教育病院、日本臨床栄養代謝学会 NST 稼働施設認定、日本心血管インターベンション治療学会研修関連施設、日本消化器内視鏡学会 指導連携施設、日本呼吸器学会 認定施設、日本臨床細胞学会教育研修施設、日本女性医学学会専門医制度 認定研修施設

日大と人事交流のある科

内科、消化器内科、小児科、救急科、整形外科、外科、乳腺外科、泌尿器科、産婦人科

主な出身大学

日本大学、杏林大学 他

位置付け

二次救急医療機関

実績

救急外来数/日平均(件)：25.33 救急車取扱数/日平均(件)：4.39

患者数/日平均(人)

外来患者数 595.2 入院患者数 164.6

分娩件数/年(件)

67

臨床病理検討会(CPC)実施状況

剖検数/年(件) 2 CPC開催数/年(回) 2

大正 14 年に開設され、これまで 90 年を越える歴史を刻み、地域に根ざした医療を行ってきました。東京都多摩西部、秋川流域の広大な地域を医療圏とする公立病院です。東京都にありながら自然豊かな場所に立地しております。都心からは距離がありますが、圏央道のインターから 5 分、JR 五日市線武蔵引田駅から徒歩 5 分とアクセスは良い場所にあります。

まずは、当医療センターの指導医や先輩研修医の話をきいてみてください。病院見学は随時募集していますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

初期研修情報

研修プログラム名: 公立阿伎留医療センター臨床研修プログラム

研修プログラム責任者: 腎臓内科部長 梅津 道夫

関連協力施設: 協力型研修病院: 医療法人社団東京愛成会 高月病院

研修協力施設: 東京都西多摩保健所、檜原診療所、葉山医院、馬場内科クリニック、あべクリニック、近藤医院

研修科の説明:

1. 内科

呼吸器内科では、呼吸器感染症に対する起炎菌の同定、抗菌薬の使い方につき多くの症例で治療経験が得られます。また肺がんの化学療法、放射線治療なども経験できます。腎臓内科では、慢性腎疾患の治療、透析療法などが経験できます。生活習慣病内科では糖尿病のインスリン治療、薬物療法、合併症の診断など幅広く学べます。

2. 循環器内科

心不全の症例の薬物治療法を広く学べ、虚血性心疾患の MDCT や心筋シンチグラムを使用した画像診断、その治療法である、薬物療法、カテーテルインターベンションにつき学べます。不整脈の治療については、ペースメーカー植え込み、心房細動の抗凝固療法についても多く経験できます。

3. 消化器内科

外来でしばしば遭遇する消化器疾患を診断し治療するために基本的な手技を修得し、さらに救急外来における急性腹症、消化管出血などの緊急病態に対応する能力を身につけられます。

4. 外科

外科的治療を行う上で必要な診療、基本的検査、基本的手技を習得するとともに、終末期を含めてがん患者の対応ができるようになります。また、大腸がんを中心とした患者に対する化学療法の基本を学ぶことができます。

5. 麻酔科

確実な麻酔手技（静脈路確保、気管挿管、脊麻酔など）を習得し、安全な麻酔管理（適切な術前評価、術中術後管理）を理解し、研修を通し救命蘇生法も習得することができます。

6. 救急外来

救命救急医学に必要な基礎知識を習得し、救命処置を行うために必要な技術も習得できます。

7. 小児科

入院及び外来での小児医療を通して子供のからだ、心の全体像を把握するとともに、両親、家族との対応を学べます。また、小児疾患の特異性と治療の特徴を理解し、年齢ごとに異なる疾患の特性を理解するとともに的確な診断過程を学習できます。

8. 産婦人科

女性特有のプライマリーケア研修及び女性特有の疾患に基づく救急医療を研修するとともに、妊産褥婦ならびに新生児の医療に必要な基本的知識を習得できます。

研修の概要と特徴:

2次・1次救急を中心とした急性期医療を根幹とし、回復期リハビリテーション病棟、緩和ケア病棟、地域包括ケア病棟を備えた多くの機能を持った病院です。地域医療を幅広く体感できますので、充実した研修が行えると考えております。

研修医の当直: 4回/月 程度

募集内容

募集予定人数

3名

処遇 給与(月額)

1年次 376,440円、2年次 413,930円

諸手当

賞与 年4.45ヶ月、宿日直手当 1回につき 11,550円

社会保険

共済組合（健康保険、年金）、公務災害

医師賠償責任保険

病院において：全額病院負担

福利厚生

病院指定住宅有（40,000円を限度に病院負担）

健康診断 年2回

学会参加費・交通費、申請により予算の範囲内で病院負担有

研修医宿舎

近隣に病院指定の住宅有

研修医室

医局内に研修医の専門机あり（インターネット接続可）

後期専門研修募集情報

本人からの希望により初期研修修了後、直接後期研修を実施することが出来ます。後期研修については、希望される科目（内科系、外科系）を決め、話し合いの上で、複数の選択科目とその期間を決定します。

当医療センター以外で初期研修を修了した方についても、随時募集を行っておりますので、お問い合わせ下さい。

循環器内科: 内科医及び循環器専門医の養成を目的とする。当院循環器内科で研修することにより、内科系疾患、特に循環器系疾患の診療に必要な幅広い臨床能力と技能を習得する。

内科: 幅広く内科一般を学ぶとともに、各専門科による専門知識の手技を学んでゆく。

外科: 消化器外科及び乳腺外科領域の診断と治療(手術、化学療法、放射線療法)を学ぶ。退院後のフォローを学ぶ。外科病棟での終末期医療もを行っている。消化器外科、乳腺外科は当院で研修可能ですが、心臓血管外科・呼吸器外科・小児外科は協力施設での研修となります。

応募問合せ先

担当者 総務課人事係 村井 出

TEL/FAX TEL: 042-558-0321 (内線 2502) FAX: 042-559-5734

E-mail jinji@akiru-med.jp

板橋区医師会病院

開設者	公益社団法人 板橋区医師会
病院管理者	院長 高橋 典明
所在地	〒175-0082 東京都板橋区高島平 3-12-6
連絡先	03-3975-8151
URL	http://www.itabashi-med.jp
交通アクセス	都営地下鉄三田線 高島平駅 徒歩5分 国際興業バス 高島平警察署 徒歩3分 (東武東上線 成増駅・東武練馬駅・下赤塚駅より JR 埼京線 浮間舟渡駅より)



診療科目 **内科** **小児科** **外科** **整形外科** **産婦人科** **眼科** **皮膚科** **泌尿器科** **耳鼻咽喉科**
リハビリテーション科

許可病床数(床)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	192					
平均在院日数(日)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	14.5					

臨床研修病院の指定区分 基幹型

医師数

常勤：28名 非常勤：42名

専攻医情報等

【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総	
専攻医プログラム認定施設																				
専門医数(人)	4	3	1		4	1	2	1		1										
専攻医枠(人)																				

その他施設の認定

日本消化器外科学会専門医修練施設、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本整形外科学会専門医研修施設、日本泌尿器科学会専門医教育施設、日本皮膚科学会認定専門医研修施設

日大と人事交流のある科

内科、小児科、外科、整形外科、産婦人科、眼科、皮膚科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科

主な出身大学

日本大学

医師情報

救急医療

位置付け

2次救急

実績

救急外来数/日平均(件)：8.6 救急車取扱数/日平均(件)：2.7

患者数/日平均(人)

外来患者数 352.1 入院患者数 96.9

分娩件数/年(件)

156

臨床病理検討会(CPC)実施状況

剖検数/年(件) 0 CPC開催数/年(回) 1

板橋区医師会病院は、昭和41年に開設され、昭和47年に高島平に移転開院した。公益社団法人板橋区医師会により開設された開放型病院であり、板橋区医師会会員を中心とした医師との連携を重要視し、「豊かな地域医療」を提供することを理念に掲げている。

一般診療に必要な診療科が開設され、病床数192と中規模病院であり、最も必要と考えられる総合的なプライマリ・ケアおよび地域医療を中心とした研修を受けることが出来る。一般的な診療に必要な診療科が開設されているが、全科とも日本大学医学部出身の医師たちで構成されている。このため、各診療科間のコミュニケーションが密にとれており、総合的な診療を学びやすい環境にあると言える。

当院は、日本大学医学部の教育関連病院であり、医学部5年生の地域中核病院研修および6年生の選択実習を受け入れている。医学部および附属病院と密な連携が可能であり、より高度な医療が必要な症例は、日本大学医学部附属板橋病院へ依頼することができる。

初期研修情報

研修プログラム名: 板橋区医師会病院初期臨床研修プログラム

研修プログラム責任者: 長尾 聡哉

関連協力施設: 日本大学医学部附属板橋病院・翠会成増厚生病院他

研修科の説明:

内科 24 週、救急部門 12 週、外科 4 週、小児科 4 週、産婦人科 4 週、精神科 4 週、地域医療 4 週

選択科目 (内科、外科、救命救急科、麻酔科、小児科、産婦人科、泌尿器科、皮膚科、眼科、脳神経外科、耳鼻咽喉科、精神科、整形外科) ~ 48 週

研修の概要と特徴:

医師が、医師としての人格を涵養し、将来専門とする分野にかかわらず、医学および医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、一般的な診療において頻繁に関わる負傷または疾病に適切に対応できるよう、基本的な診療能力を身につけることを目標とする。板橋区医師会病院は、板橋区医師会により開設された開放型病院であり、板橋区医師会会員を中心とした医師との連携を重要視し、「豊かな地域医療」を提供することを理念に掲げている。また、病床数 192 と中規模病院であり、各科医師のコミュニケーションが密にとれている。このため、最も必要と考えられる総合的なプライマリ・ケアおよび地域医療を中心とした研修を受けることが出来る。また、全ての診療科において日本大学医学部附属板橋病院での選択研修が可能である。

研修医の当直: 有

募集内容

募集予定人数	2 名
処遇 給与 (月額)	一年次 316,900 円 二年次 327,700 円
賞与 (年額)	0 円
諸手当	通勤手当・当直手当 (15,000 円)
社会保険	有 組合管掌保険・厚生年金保険・確定給付企業年金
医師賠償責任保険	病院において: 加入 個人加入: 加入
研修医宿舎	無
研修医室	有

応募問合せ先

担当者 庶務課 中山 **TEL/FAX** TEL: 03-3975-8151 FAX: 03-3938-6157
E-mail shomu@itabashi-med.jp

社会医療法人 さいたま市民医療センター

開設者	理事長 松本 雅彦
病院管理者	院長 百村 伸一
所在地	〒331-0054 埼玉県さいたま市西区島根 299-1
連絡先	048-626-0011
URL	http://www.scmc.or.jp/
交通アクセス	大宮駅西口よりバス約 20 分 【さいたま市民医療センター行き】【加茂川団地行き】の西武バスにご乗車ください。



- 診療科目
- 内科 循環器内科 消化器内科 呼吸器内科 糖尿病・内分泌内科 血液内科 脳神経内科 腎臓内科
 - 外科 消化器外科 乳腺・内分泌外科 脳神経外科 整形外科 小児科 放射線科 病理診断科
 - リハビリテーション科 アレルギー科 麻酔科 内科（科学療法） 外科（科学療法） 泌尿器科
 - 皮膚科 耳鼻咽喉科 救急科

許可病床数（床）	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	340					
平均在院日数（日）	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	13.9					

臨床研修病院の指定区分 基幹型

医師数

常勤：83名 非常勤：39名

専攻医情報等

【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総	
専攻医プログラム認定施設		○																		○
専門医数（人）		3																		2
専攻医枠（人）		2																		2

その他施設の認定

施設 厚生労働省臨床研修病院指定、日本医療機構評価機構認定、日本大学医学部関連病院認定

学会 日本内科学会認定医制度教育関連病院認定、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本心血管インターベンション治療学会研修関連施設、日本消化器内視鏡学会指導施設、日本呼吸器学会関連施設、日本呼吸器内視鏡学会専門医認定施設、日本糖尿病学会認定教育施設、日本血液学会認定血液研修施設、日本救急医学会救急科専門医指定施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本消化器外科学会専門医修練施設、日本消化管学会胃腸科指導施設、日本大腸肛門病学会認定施設、日本脳卒中学会専門医認定制度研修教育病院、日本脳卒中学会一次脳卒中センター、日本整形外科学会専門医制度研修施設、日本泌尿器科学会泌尿器科専門医研修施設、日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設、日本皮膚科学会認定専門医研修施設、日本プライマリ・ケア連合学会新家庭医療専門研修プログラム認定施設、日本麻酔科学会麻酔科認定病院、日本アレルギー学会アレルギー専門医教育研修施設、日本静脈経腸栄養学会 NST 稼働施設、日本病態栄養学会認定栄養管理・NST 実施施設

その他 日本がん治療認定医機構認定研修施設、埼玉 DMAT 指定病院、埼玉県災害拠点病院、埼玉県特別機動援助隊 (SMART) 登録、さいたま市地域リハビリテーション活動支援事業協力施設

日大と人事交流のある科

内科、放射線科

主な出身大学

日本医科大学、東京大学、自治医科大学、山梨医科大学、旭川医科大学、独協医科大学、等

救急医療

位置付け

地域医療支援病院、災害拠点病院、第2次救急医療機関

実績

救急外来数/日平均（件）：18 救急車取扱数/日平均（件）：12

患者数/日平均（人）

外来患者数 332.7 入院患者数 232.3

分娩件数/年（件）

対象外

臨床病理検討会（CPC）実施状況

剖検数/年（件） 4 CPC開催数/年（回） 3

さいたま市 4 医師会によって運営される公設民営の病院である。救急医療・小児医療に重点を置き、救急搬送数 5000 台/年の実績がある社会医療法人である。地域医療支援病院として紹介率 90%、逆紹介率 90%以上を維持している。H28 年に災害拠点病院の指定を受け、D-MAT の活動等を通じて地域に貢献できるよう努めている。

初期研修情報

研修プログラム名: さいたま市民医療センター 初期臨床研修プログラム

研修プログラム責任者: 坪井 謙

関連協力施設:

自治医科大学付属さいたま医療センター、埼玉精神神経センター、さいたま市立病院、南魚沼市民病院、さいたま北部医療センター、小笠原村診療所、医療法人明医研ハーモニークリニック、医療法人 慈正会 丸山記念総合病院

研修科の説明:

大学病院では経験できない地域医療と密着した内科、外科、小児科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、麻酔科、皮膚科、リハビリテーション科疾患を経験でき、放射線科、病理診断科における診断学、病理学の研修が可能である。

研修の概要と特徴:

独自にジェネラリスト養成を目的とした研修医育成を始めました。「病気」「子ども」「けが」に対して、まず「診る」ことができる医師を育てる研修を提供しており、また新専門医制度でどのプログラムに行っても通用する多能性医師を養成できるプログラムを組んでいます。

研修医の当直: あり 4回/月

募集内容

募集予定人数	8名
処 遇 給与(月額)	347,000円
賞与(年額)	763,000円
諸手当	通勤手当、家族手当、住宅手当
社会保険	健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
医師賠償責任保険	病院加入
福利厚生	職員食堂、保育室完備、職員宿舎、医療費還付
研修医宿舎	1Kタイプ
研修医室	あり

後期専門研修募集情報

募集人数: 若干名

本研修 PG では、①総合診療専門研修Ⅰ(外来診療・在宅医療・へき地医療中心)、②総合診療専門研修Ⅱ(病棟診療、救急診療中心)、③内科、④小児科、⑤救急科の5つの必須診療科と選択診療科で3年間の研修を行います。このことにより、1. 包括的統合アプローチ、2. 一般的な健康問題に対する診療能力、3. 患者中心の医療・ケア、4. 連携重視のマネジメント、5. 地域包括ケアを含む地域志向アプローチ、6. 公益に資する職業規範、7. 多様な診療の場に対応する能力という総合診療専門医に欠かせない7つの資質・能力を効果的に修得することが可能になります。

【研修コンセプト】

- ・日本に求められる「日本版ホスピタリスト」を育成します。
- ・救急と総合診療が融合した「救急総合診療科」に属し、救急に強い総合診療医の育成します。
- ・医師会と連携し、日本医師会認定産業医の取得を奨励します。
- ・希望に応じてDMAT 隊員となり、災害医療スペシャリストの教育も受けることが出来ます。
- ・院内でICLSはもちろん、ISLS、JMECCを受講できます。
- ・希望に応じてインストラクター、コースディレクターなどの資格も取得できます。

応募問合せ先

担当者 総務課 佐藤・並木
E-mail soumu@scmc.or.jp

TEL/FAX TEL: 048-626-0011 FAX: 048-799-5146

静岡県立こども病院

開設者	地方独立行政法人 静岡県立病院機構
病院管理者	坂本 喜三郎
所在地	〒420-8660 静岡県葵区漆山 860
連絡先	TEL : 054-247-6251 FAX : 054-247-6259
URL	http://www.shizuoka-pho.jp/kodomo/index.html
交通アクセス	静岡駅よりバス約 40 分 タクシー約 25 分 第2東名静岡 IC より車で 10 分弱 <バス> 静岡駅前 5 番乗り場よりこども病院線「静岡神経医療センター」行で「県立こども病院」下車



- 診療科目
- 総合診療科 発達小児科 新生児科 血液腫瘍科 遺伝染色体科 内分泌科 糖尿病・代謝内科 腎臓内科 免疫アレルギー科
 - 神経科 循環器科 集中治療科 こころの診療科 皮膚科 放射線科 小児外科 心臓血管外科 脳神経外科
 - 整形外科 形成外科 眼科 耳鼻いんこう科 泌尿器科 産科 歯科 麻酔科 病理診断科
 - リハビリテーション科

許可病床数(床)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	243	36				
平均在院日数(日)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	11.7	136.2				

臨床研修病院の指定区分 協力型

医師数

常勤：148名 非常勤：20名

専攻医情報等

【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総
専攻医プログラム認定施設		○																	
専門医数(人)		55																	
専攻医枠(人)		24																	

その他施設の認定

日本小児科学会 小児科専門医制度研修施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設、日本小児神経科学会小児神経科専門医制度研修施設、日本アレルギー学会認定教育施設、日本麻酔科学会認定教育施設、日本外科学会専門医制度修練施設、日本小児外科学会専門医制度認定施設、日本静脈経腸学会 NST 専門療法士認定教育施設、日本泌尿器科学会認定泌尿器科専門医教育施設、日本整形外科学会専門医制度研修施設、日本形成外科学会専門医研修施設、三学会構成心臓外科専門医認定機構認定基幹施設、日本病理学会認定病理専門医制度認定病院 S、日本血液学会認定医研修施設、日本脳神経外科学会専門医訓練施設、日本周産期・新生児医学会専門医制度研修施設新生児研修施設、日本周産期・新生児医学会専門医制度研修施設母体・胎児研修施設、日本胸部外科学会認定医認定制度指定病院、日本精神神経学会精神科専門医制度研修施設認定病院、日本がん治療認定医機構 認定研修施設、小児血液・がん専門医研修施設、非血縁者間骨髄移植施設、日本産科婦人科学会専門医卒後研修指導施設、日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設、日本感染症学会認定感染症専門医研修施設

日大と人事交流のある科

腎臓内科

主な出身大学

日本大学

医師情報

救急医療

位置付け

二次救急医療機関

実績

救急外来数/日平均(件)：12.6 救急車取扱数/日平均(件)：2.3

患者数/日平均(人)

外来患者数 502.8 入院患者数 182.1

分娩件数/年(件)

正常分娩 78 件 異常分娩 126 件

臨床病理検討会(CPC)実施状況

剖検数/年(件) 4 CPC開催数/年(回) 0

静岡県立こども病院は、設立されてから45年目を迎えます。この間、病院の設立主旨である「地域の医療機関と連携し、診断・治療の困難な小児患者を紹介予約制で受け入れ、高度専門医療を提供する」ことで地域へ貢献してきました。小児集中治療センター、周産期センターや循環器センターを開設し、児童精神科病棟も開設されました。これらにより「急性期疾患に対して24時間、365日、胎児期から思春期までシームレスに」、また同時に「こころからからだまで」対応できるようになりました。小児科としての基本的な知識、技術だけでなく、小児専門病院ならではの専門性の高い知識、技術の習得を目指し、多彩な研修プログラムを用意しています。見学等も随時受け付けておりますので、お気軽にお問い合わせください。

医師募集情報

募集する診療科

募集する人数

医師について特に希望する要件

給与と福利厚生

処遇 給与（月額）

経歴等により決定

賞与（年額）

年2回（夏・冬）

諸手当

通勤手当、住居手当、時間外勤務手当など

社会保険

地方職員共済組合、雇用保険、公務災害適用

医師賠償責任保険

病院加入

福利厚生

健康診断、人間ドック補助、各種優待施設等割引

その他

宿舍あり（入居は空室状況による）

応募問合せ先

担当者 静岡県立こども病院 総務課総務係

TEL/FAX TEL：054-247-6251 FAX：054-247-6259

E-mail kodomo-soumu@shizuoka-pho.jp

相模原協同病院

開設者	神奈川県厚生農業協同組合連合会 代表理事 理事長 高野 靖悟
病院管理者	病院長 井關 治和
所在地	〒252-5188 神奈川県相模原市緑区橋本台 4-3-1
連絡先	TEL : 042-761-6020 FAX : 042-713-3525
URL	http://www.sagamiharahp.com
交通アクセス	京王線、JR 横浜線、JR 相模線の橋本駅よりバス 10 分



- 診療科目
- 総合内科 循環器内科 腎臓内科 糖尿病代謝内分泌内科 呼吸器内科 消化器内科 血液内科 外科
 - 消化器外科 心臓外科 血管外科 呼吸器外科 脳神経外科 救急科 精神科 麻酔科 小児科
 - 産婦人科 整形外科 リウマチ科 泌尿器科 眼科 皮膚科 乳腺外科 耳鼻咽喉科 形成外科
 - 臨床検査科 病理診断科 放射線科(治療・診断) 緩和ケア科 歯科口腔外科 リハビリテーション科

許可病床数(床)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	394		6			
平均在院日数(日)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	10.7					

臨床研修病院の指定区分 基幹型

医師数

常勤：126名 非常勤：15.2名

専攻医情報等

【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総	
専攻医プログラム認定施設	○				○															
専門医数(人)	13				16															
専攻医枠(人)	3				2															

その他施設の認定

日大と人事交流のある科

腎臓内科、眼科、血液内科、産婦人科

主な出身大学

日本大学、横浜市立大学、東海大学、北里大学、聖マリアンナ医科大学、杏林大学 他

医
師
情
報

位置付け

二次救急医療機関

実績

救急外来数/日平均(件)：28.6 救急車取扱数/日平均(件)：20.56

救
急
医
療

患者数/日平均(人)

外来患者数 902.3 入院患者数 301.9

分娩件数/年(件)

297

臨床病理検討会(CPC)実施状況

剖検数/年(件) 7 CPC開催数/年(回) 4

当院は、安全で質の高い医療を提供することをモットーに、専門性の高い医療と救急医療を行う地域中核病院です。がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、災害医療拠点病院、日本医療機能評価機構などの認定を受け、市民病院が存在しない相模原市内においてなくてはならない医療機関となっています。年間約7,000台超の救急搬送受入実績があり、幅広い症例を経験することができます。救急医療は一年目と二年目の研修医が組んで初療を担当し、指導医と連携して診療にあたっています。指導医は皆熱心であり、各科の隔たりもないため、厳しくも楽しい研修を送ることができます。当院の研修医と共に過ごす一日体験実習を行っているため、希望者は担当までご連絡を！

初期研修情報

研修プログラム名：相模原協同病院臨床研修プログラム

研修プログラム責任者：藤平救急科部長

関連協力施設：

北里大学病院（精神科）、佐渡総合病院（新潟県・地域医療）、海邦病院（沖縄県・地域医療）、伊勢原協同病院（神奈川県・地域医療）、東海大学病院（救急科）、日本大学医学部附属板橋病院、聖マリアンナ医科大学病院

研修科の説明：

呼吸器内科…呼吸器内科の一員として指導を受ける。呼吸器内科に必要な身体診察法、臨床検査、手技を身につけるとともに、入院患者を受け持ち、指導医のもと診療にあたる。また随時急患診療にもあたる。（気管支鏡 151 件/年、在宅酸素療法施行件数 94.0 件/月、外来患者 31.1 人/日、入院患者 32.2 人/日等）

循環器内科…循環器内科病棟の一員として研修を行う。心臓カテーテル検査、治療、永久ペースメーカー植え込みなどの観血的手技も主治医と共に参加。（心臓カテーテル検査 724 件/年、PCI 665 件/年、ペースメーカー手術 70 件/年）日勤帯の救急当番や当直は主治医と共に行動し、循環器救急の基本の習得を目指す。

消化器内科…消化器疾患、肝胆膵疾患の良性から悪性まで多岐にわたって疾患が存在するのが当科の特徴である。各チームに配属され、受け持ち患者を決定する。受け持ち以外の患者に対してもチーム内の患者であれば積極的に診療を行う。（上部内視鏡 4,585 件/年、下部内視鏡 2,761 件/年、胆膵 260 件/年等）

腎臓内科…主治医グループ制のため、その主治医グループの一員として研修を行う。血液浄化、血液透析、ブラッドアクセスのカテーテル挿入やカテーテルインターベンション療法は指導医のもとで行う。（新規維持透析導入患者 99 人/年、急性血液浄化件数 641 件/年等）

※上記の内科 4 科目を各 8 週選択する。

外科（消化器外科、呼吸器外科、心臓外科、血管外科を含む）（4 週）…多岐にわたる症例を経験しながら基本的な診療法、手技を学ぶ。受け持ち患者に関しては、1 日 2 回の回診を行う。術前カンファレンス、症例検討会等、積極的に実施されている。当院で初期研修を行った医師も多く、何でも相談しやすい環境である。（総手術件数 894 件/年）

麻酔科（4 週）…指導医のもと、全身麻酔の実地指導を受ける。また症例ごとに麻酔科スタッフがマンツーマンで指導を行う。（全身麻酔症例 3,179 件/年、その他 1,194 件/年）

総合内科（4 週）…病棟診療研修は指導医のチェックを受けながら研修を行う。また外来も担当し、患者の症状と身体所見、簡単な検査所見に基づいた鑑別診断、初期治療を的確に行えるようにする。

救急科（8 週）…一年次 1 週、二年次 1 週研修を行う。指導医と共に救急車対応にあたる。

地域医療（4 週）…佐渡総合病院（新潟県）、海邦病院（沖縄県）、からの選択制になっている。研修内容に関しては各研修プログラムによる。

産婦人科、小児科、精神科（各 4 週協力病院で研修を行うことが可能）

【選択科目】計 36 週

上記必修科目の他に脳神経外科、整形外科、形成外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、血液内科、臨床検査科・病理診断科、放射線科（診断コース、治療コース）の中からの選択制。

研修の概要：

地域中核病院としての特徴を生かし、医師として必要な基本的診療能力を身につけるとともに、全身的人格形成を目指したプログラム内容となっている。

研修の概要：

- ①人口 70 万人の相模原市の二次救急を担う地域中核病院 →様々な Common disease を経験できる。
- ② CV、腰椎穿刺、内視鏡、気管支鏡、胸腔ドレーン、挫創縫合など様々な手技まます研修医が優先的に行う。 → 2 年間のうちに様々な手技が一人でできるようになる。
- ③研修医同士の雰囲気良さ →医療への熱意がある研修医ばかり！
- ④病院長と研修医のみの会議がある。→研修医が直に病院長と話せるチャンス。思いのたけをぶつけられる。

研修医の当直：

内科・外科二次救急を担当する。当直回数は月 4 回～ 8 回程度

募集内容

募集予定人数	10 名
処遇 給与（月額）	一年次 300,000 円 二年次 350,000 円
賞与（年額）	一年次 600,000 円 二年次 1,050,000 円
諸手当	日当直手当：一年次 13,000 円/回、二年次 18,000 円/回
社会保険	健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
医師賠償責任保険	病院において：3 割病院負担 個人加入：あり
福利厚生	職員旅行、映画鑑賞会、新年会、歓迎会 ※ COVID-19 の感染状況により中止の可能性あり
研修医宿舎	なし（ただし、30,000 円/月の住宅補助あり。）
研修医室	あり（インターネット接続可。各研修医専用デスクあり。）

応募問合せ先

担当者 総務管理課 手塚 優子
E-mail ikyoku@sagamiharahp.com

TEL/FAX TEL：042-761-6020（代）

FAX：042-713-3525

小川赤十字病院

開設者	日本赤十字社 社長 大塚 義治
病院管理者	小川赤十字病院長 竹ノ谷正徳
所在地	〒355-0397 埼玉県比企郡小川町小川 1525
連絡先	TEL : 0493-72-2333 FAX : 0493-72-2755
URL	http://www.ogawa.jrc.or.jp
交通アクセス	東武東上線・JR 八高線 小川町駅から徒歩 4 分



- 診療科目
- 内科
 - 血液内科
 - 内分泌・糖尿病内科
 - 循環器科
 - 呼吸器科
 - リウマチ科
 - 精神・神経科
 - 外科
 - 消化器科
 - 乳腺・内分泌外科
 - 整形外科
 - 脳神経外科
 - 皮膚科
 - 泌尿器科
 - 眼科
 - 耳鼻咽喉科
 - リハビリテーション科
 - 麻酔科
 - 放射線科

許可病床数(床)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	252	50(休床)				
平均在院日数(日)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	15.1	0				

臨床研修病院の指定区分 基幹型

医師数

常勤：29名 非常勤：18.0名

専攻医情報等

【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総
専攻医プログラム認定施設																			
専攻医数(人)	6		1		3	1		2		3	1	1	1						
専攻医枠(人)																			

その他施設の認定

日本内科学会教育関連病院、日本外科学会専門医制度研修施設、日本眼科学会専門医研修施設、日本血液学会血液研修施設、日本糖尿病学会認定教育施設Ⅱ、日本整形外科学会研修施設、日本乳癌学会認定施設、日本脳神経外科学会専門医指定訓練施設、日本泌尿器科学会専門医基幹教育施設、日本麻酔科学会麻酔科認定病院

日大と人事交流のある科

眼科

主な出身大学

埼玉医科大学、日本大学、群馬大学

医師情報

救急医療

位置付け

二次救急医療機関

実績

救急外来数/日平均(件)：2.813 救急車取扱数/日平均(件)：7.7

患者数/日平均(人)

外来患者数 517.2 入院患者数 191.1

分娩件数/年(件)

臨床病理検討会(CPC)実施状況

剖検数/年(件) CPC開催数/年(回) 2

昭和14年に開設されて以来、80年を超える歴史を通じて、地域に密着した医療を続けております。埼玉県西地域の中核病院であり、訪問看護ステーション、精神科デイケアセンターを併設しています。また赤十字精神に則った診療と救護活動を推進しております。

【基本理念】

患者さんの安心と満足のために、地域の中核病院として総合的な医療を提供します。

初期研修情報

研修プログラム名: 小川赤十字病院臨床研修プログラム

研修プログラム責任者: 吉田 佳弘

関連協力施設: 埼玉医科大学病院、さつき内科クリニック、大野クリニック、小川町保健センター、特別養護老人ホームひなた荘

研修科の説明:

内科では、専門性に特化された医師の技術向上の前に、常にあらゆる疾患に対応できる優秀な臨床医育成を目指してプライマリケアに重点を置いた、総合診療などを効率的に実践していきます。そのうえで、選択研修期間において、循環器、内分泌・代謝、血液、腎臓、神経内科、リウマチ等の専門性を生かした指導を行います。

外科では基礎研修を実施します。選択研修期間において、整形外科、脳神経外科等、各外科系診療科の研修が可能です。

救急医療では救急システムの概要を理解し、医師として適切な救急初療を行なうために基本手技を身につけます。重症患者の病態を把握し各種人工補助療法の理解を求めます。救急部・集中治療部で診療すべき患者を識別する能力を身につけます。

地域医療では地域医療を必要とする患者とその家族に対して、全人的に対応するために、

1) 患者が営む日常生活や居住する地域の特性に即した医療（在宅医療含む）について理解し、実践します。

2) 診療所の役割（病診連携への理解を含む。）について理解し、実践します。

産科・婦人科では基本的に必要な事項である問診、診察、記載の仕方を習得し、診断に必要な検査を理解します。正常な妊娠、分娩、産褥の臨床知識に習熟し、診療に必要な基本的技術を修得します。異常な妊娠、分娩、産褥の各種疾患を診断できるようにします。婦人科疾患の種類を系統的に理解し、それらの診断と治療の基本を学びます。

小児科では特有な疾患の病態・診断・治療・予防の基礎を理解します。また、こどもの権利プライバシーの保護等、常に患者の側にたった思考法を身につけます。

精神科では精神障害の診断や治療、社会復帰並びに精神の健康増進確保に貢献できる医師の育成を目指し、そのための知識、技術のみならず、患者の尊厳を尊重し、病を抱える人として患者を診察し治療するという姿勢を身につけます。

また、精神疾患の生物学的側面、心理的側面、社会的側面を総合的に把握できるよう学びます。

研修の概要と特徴:

地域の中核病院として初診から最終転帰に至るまで当院で一貫して診察を行うケースも多く、全人的な医療、プライマリ・ケアを研修することに適している環境にあります。また、赤十字病院としての特色を活かし、救護班（医療チーム）を被災地へ派遣するなど、災害に備えた体制を整え、職員への教育を行っています。当院での臨床研修の目標は、赤十字の使命である「人道」に基づき展開される全人的医療を行う中で、将来にわたり必要となってくる基本的診療能力（知識・技能・基本的態度）及び医師としての人格の涵養であります。

募集内容

募集予定人数	2名
処遇	給与（月額） 1年次 400,000円 2年次 450,000円
	賞与（年額） 1年次 200,000円 2年次 300,000円
	諸手当 当直手当 通勤手当 勤労手当 住居手当
	社会保険 埼玉県医師会健康保険組合・雇用保険・労災保険
	医師賠償責任保険 病院において：○ 個人加入：可
	福利厚生 日本赤十字社福利厚生事業（一部）
	小川赤十字病院互助会 各種補助
研修医宿舎	なし
研修医室	なし

応募問合せ先

担当者 総務課 吉村・高崎
E-mail jinji@ogawa.jrc.or.jp

TEL/FAX TEL : 0493-72-2333 FAX : 0493-72-2755

日本赤十字社東京都支部 大森赤十字病院

開設者	日本赤十字社
病院管理者	中瀬 浩史
所在地	〒143-8527 東京都大田区中央4-30-1
連絡先	TEL: 03-3775-3111 FAX: 03-3776-0004
URL	http://omori.jrc.or.jp/



交通アクセス JR 京浜東北線「大森駅」よりバス約 8 分
 東急池上線「池上駅」よりバス約 10 分
 JR 大森駅西口 東急バス停留所 1～4 番から乗車し、「大田文化の森」下車
 池上駅前 東急バス停留所 1 番から乗車し、「入新井第四小学校」下車

- 診療科目** 呼吸器内科 循環器内科 消化器内科 腎臓内科 神経内科 血液内科 糖尿病・内分泌内科 麻酔科
 外科 呼吸器外科 脳神経外科 整形外科 心臓血管外科 皮膚科 泌尿器科 眼科 耳鼻咽喉科
 産科 婦人科 小児科 放射線科 救急科 精神科 リハビリテーション科

許可病床数(床)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	344					
平均在院日数(日)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	11.4					

臨床研修病院の指定区分 基幹型

医師数

常勤: 116名 非常勤: 51名

専攻医情報等

【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総
専攻医プログラム認定施設	○																		
専門医数(人)	35	3	2		7	4	5	1		2	3	4	3						
専攻医枠(人)	5																		

その他施設の認定

日本脳神経血管内治療学会研修施設、日本老年医学会認定施設、日本乳癌学会認定施設、日本消化器内視鏡学会指導施設、日本高血圧学会認定研修施設、日本呼吸器内視鏡学会関連施設、日本透析医学会教育関連施設、日本周産期・新生児医学会周産期母体・胎児専門医補完研修施設、日本脳卒中学会認定研修教育病院、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本臨床細胞学会認定施設、日本臨床腫瘍学会認定研修施設、胸部ステントグラフト実施施設、腹部ステントグラフト実施施設、日本心血管インターベンション治療学会研修関連施設、National Clinical Database (NCD) 施設、肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業指定医療機関、日本脈管学会認定研修関連施設、日本産婦人科内視鏡学会認定研修施設

日大と人事交流のある科

小児科

主な出身大学

東京大学、東京医科歯科大学、東京慈恵会医科大学、東邦大学、横浜市立大学、日本大学、昭和大学 他

位置付け

二次救急医療機関

実績

救急外来数/日平均(件): 21.7 救急車取扱数/日平均(件): 13.6

患者数/日平均(人)

外来患者数 617.2 入院患者数 233.6

分娩件数/年(件)

410

臨床病理検討会(CPC)実施状況

剖検数/年(件) 6 CPC開催数/年(回) 5

60年以上前から同じ場所で地域医療の中核を担ってきた老舗病院で、平成23年10月に新病院がオープンしました。住民の方々や実地医家の先生方からの信頼は非常に厚いものがあり、腰を落ち着けて診療を行うほどにその重みとやり甲斐を感じます。

看護も7:1の十分な人員で若くて優秀な日赤の看護師が誠実に仕事をしており、研修医の雑用が少なく、研修医としての本来の業務や学習に専念できます。

当院独自採用の研修医とたすきかけ研修医を含めて、初期研修医は最大20名(1年次:10名、2年次:10名)の体制となります。各科には1～2名でローテーションを行う体制となり、いわゆる症例の取り合いもなく、バラエティに富んだ症例を数多く経験する事ができます。研修プラン(選択科目)の変更も出来るだけ柔軟に対応します。

1年目に東京医科歯科大学医学部附属病院において三次救急研修を行い、2年目で行う精神科研修では、国内でも最大規模の精神科病床を持つ東京都立松沢病院において、一般的な市中病院では、なかなか経験できない精神科救急を多数経験することができます。

初期研修情報

研修プログラム名: 大森赤十字病院卒後臨床研修プログラム

研修プログラム責任者: 市川 敬太

関連協力施設: 東京医科歯科大学医学部附属病院、東京都立松沢病院、大森医師会所属医院 18ヶ所

研修科の説明:

呼吸器内科: 気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患 (COPD)、インフルエンザなどの感染症に関して幅広く診療を行っている。また、患者さんの症状を解決する方法のひとつとして呼吸リハビリテーションも外来、入院ともに導入している。

循環器内科: 2013年4月から東京都CCUネットワークへ加盟することとなり、2014年4月から心臓血管外科も開設され循環器疾患のあらゆる状況に対応することが可能となった。AMI数、PCI数と共に心カテ数も年々増加傾向にある。

消化器内科: 日本消化器病学会及び日本消化器内視鏡学会の指導施設で日本超音波医学会専門医研修施設の認定を受けており、悪性疾患の診療へ特に力を入れている。また、ラジオ波治療では全国でも有数の症例数を経験しており、全国35番目にランクされた。

血液内科: 急性白血病や骨髄移植などのより専門的治療が必要な場合は大学病院などと協力して治療を行っている。

糖尿病・内分泌内科: チーム医療として医師、糖尿病療養指導士、管理栄養士が患者とじっくり向かい合い時間をかけたよりきめ細やかな医療が行える体制を敷いており、他医療機関からの依頼にも迅速に対応している。

腎臓内科: 腎臓疾患や高血圧症を診療の柱としており、二次性高血圧の精査やABPM、栄養指導にて集中的に治療・管理を行っている。また、終末期腎不全に至った場合でも、血液透析、腹膜透析と治療の選択肢も幅広く用意している。

神経内科: 神経救急患者数も増加しており、脳血管障害においてもt-PA対応医療機関として認定されている。また、リハビリテーション体制が拡充され、在宅復帰率の向上に繋がっている。

外科: 消化管全般の疾患、肝胆膵などの実質臓器の疾患、乳腺の疾患に加えて、急性虫垂炎などの緊急手術を要する症例や内視鏡的胃瘻増設、ヘルニア疾患、下肢静脈瘤、肛門疾患、体表の疾患も扱っている。中でも「癌」の治療は最も得意とする領域で、特に大腸癌は「東京都大腸がん診療連携協力病院」に認定されている。

麻酔科: 心臓血管外科手術、脳外科手術等さまざまな手術の麻酔及び全身管理を行い、安全で確実な診療を提供している。また、術後痛対策にも力を入れており、持続硬膜外鎮痛装置や自己管理型経静脈的持続鎮痛装置などを使用して、術後鎮痛の質の向上を目指している。

小児科: 大田区の小児二次救急を担っており、地域診療所と共に連携を深めながら診療を行っている。また、NTT 東日本関東病院及び東京労災病院からも研修医を受け入れている。

当院プログラムでは上記診療科を必修としているが、2年次の選択科(9ヶ月間)において呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科を研修することができる。

研修の概要と特徴:

当院が標榜している内科系診療科を1年目に全て経験できると共に、東京医科歯科大学医学部附属病院において三次救急の現場で研修ができます。

各科とも研修医1~2名でローテートを行っているため、症例の取り合いもなく、バラエティに富んだ症例を経験することができます。

また、2年目では国内でも最大規模の精神科病床を持つ東京都立松沢病院において、一般的な市中病院では、なかなか経験できない精神科救急を多数経験することができます。

その他、定期的開催される研修医対象勉強会、シミュレーター講習、症例発表会等を通して手技や知識を習得できます。

研修医の当直:

当直は、研修医2人体制で月に4~5回程度行う。まずは研修医がファーストタッチを行い、それを上級医が確認及び指導を行っております。

募集内容

募集予定人数	6名
処遇 給与(月額)	1年次: 274,960円 2年次: 296,830円
賞与(年額)	1年次: 200,000円 2年次: 500,000円
諸手当	当直手当、住居手当(ただし、条件あり)、通勤手当
社会保険	健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険
医師賠償責任保険	病院において: 加入しない 個人加入: 任意
福利厚生	学会、研究会等への参加補助: 旅費、宿泊費支給(ただし、条件あり) 食事: 食堂利用(20%割引) 図書: 各種資料検索のための図書室があり、電子ジャーナルなど利用可能。
研修医宿舍	なし。
研修医室	1室。専用机あり。インターネット接続可能。

後期専門研修募集情報

平成30年度から新しい専門医制度が開始されることに伴い、大森赤十字病院では内科領域において専門研修基幹施設となりました。当院ホームページにおいて募集情報を公開しております。

大森赤十字病院は地域に密着した急性期病院で、近隣の施設と連携した内科専門研修を行います。いわゆる common disease はもちろん、重篤な疾患でも地域で治療を完結できるようにレベルの高い診療を目指しております。当院の特徴として他職種とのチーム医療を基本としており、医師はじめ多くのスタッフでチーム大森を形成しています。私たちは、専攻医の皆様が、「将来当院で研修を行ったことを自慢できるような病院」を目指して日々研鑽を積んでいます。是非、私たちのチームの一員になってともに学んでいきましょう。

応募問合せ先

担当者 教育研修推進課 鎌田 **TEL/FAX** TEL: 03-3775-3111 FAX: 03-3776-0004
E-mail soumu2@omori.jrc.or.jp

地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター

開設者	理事長 岩中 督
病院管理者	病院長 岡 明
所在地	〒330-8777 埼玉県さいたま市中央区新都心1番地2
連絡先	TEL: 048-601-2200 FAX: 048-601-2201
URL	https://www.saitama-pho.jp/scm-c/index.html
交通アクセス	JR さいたま新都心駅から徒歩約5分 または、JR 北与野駅から徒歩約6分



- 診療科目
- 小児科 (総合診療・新生児・代謝内分泌・消化器肝臓科・腎臓・感染免疫・血液腫瘍・遺伝・神経科・循環器科)
 - 精神科
 - アレルギー科
 - 小児外科
 - 整形外科
 - 形成外科
 - 脳神経外科
 - 心血管外科
 - 皮膚科
 - 泌尿器科
 - 眼科
 - 耳鼻いんこう科
 - 放射線科
 - リハビリテーション科
 - 病理診断科
 - 小児歯科
 - 集中治療科
 - 救急診療科
 - 外傷診療科
 - 臨床検査科
 - 麻酔科
 - 移植外科

許可病床数(床)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	316					
平均在院日数(日)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	12.6					

臨床研修病院の指定区分

医師数

常勤: 177名 非常勤: 16名

専攻医情報等

【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総
専攻医プログラム認定施設		○																	
専門医数(人)		90	1		15	4		2	2	2	1	4	14	2			3		
専攻医枠(人)		5																	

その他施設の認定

地域医療支援病院、小児救命救急センター、小児がん拠点病院、がんゲノム医療連携病院、災害拠点病院、総合周産期母子医療センター、臨床研修病院(協力型)、日本医療機能評価機構認定病院

日大と人事交流のある科

新生児科、脳神経外科、泌尿器科、整形外科、リハビリテーション科、小児歯科

主な出身大学

日本大学、東京大学、東京慈恵会医科大学、順天堂大学、埼玉医科大学 他

位置付け

第三次救急医療機関

実績

救急外来数/日平均(件): 10.4 救急車取扱数/日平均(件): 5.6

患者数/日平均(人)

外来患者数 524.7 入院患者数 225.6

分娩件数/年(件)

臨床病理検討会(CPC)実施状況

剖検数/年(件) 12 CPC開催数/年(回) 3

当センターは一般的な病気から救急患者や重症例まで幅広く診療を行い、種々のカンファレンスも充実しています。対人口の医師数や病床数が全国最低レベルの埼玉県における三次医療機関であるために症例は豊富で、各診療科が高度な医療を行っていますので、将来小児科医を目指している医師には効率的で密度の濃い研修を行うことができます。

また、研修医の数が少ないために綿密な指導を受けることができますし、学会発表なども丁寧に指導を受けることができます。スタッフやレジデントは様々な大学出身者で構成されていますので、色々な大学のカラーが混在し、和気あいあいとした雰囲気の中で切磋琢磨しています。

平成28年12月にはさいたま新都心の新病院へ移転しました。NICUを増床し周産期医療体制を整備する他、PICUを新設し救急医療体制も充実しています。新しい小児医療センターと一緒に創っていきませんか。

後期専門研修募集情報

当センターにおける小児科研修プログラムや給与、福利厚生等については下記担当者にお問い合わせください。病院見学等も随時受け付けておりますので、お気軽にご連絡ください。

応募問合せ先

担当者 総務・人事担当 村田 **TEL/FAX** TEL : 048-601-2200 FAX : 048-601-2201
E-mail sc.shokuin@saitama-pho.jp

独立行政法人国立病院機構災害医療センター

開設者	独立行政法人国立病院機構 理事長
病院管理者	院長 土井 庄三郎
所在地	〒190-0014 東京都立川市緑町 3256
連絡先	042-526-5511
URL	http://www.nho-dmc.jp/
交通アクセス	立川北口徒歩 10 分



- 診療科目
- 整形外科 泌尿器科 救命救急科 消化器外科 乳腺外科 心臓血管外科 呼吸器外科 血液内科 循環器内科
 - 消化器内科 腎臓内科 膠原病内科 糖尿病内分泌内科 神経内科 呼吸器内科 脳神経外科 麻酔科
 - 放射線科 リハビリテーション科 小児科 婦人科 形成外科 眼科 緩和医療ペインクリニック科
 - 歯科口腔外科 耳鼻咽喉科

許可病床数 (床)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	455					
平均在院日数 (日)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	13.4					

臨床研修病院の指定区分

医師数

常勤：160名 非常勤：3名

専攻医情報等

【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総
専攻医プログラム認定施設	○				○								○			○			
専門医数 (人)	19				6								5			7			
専攻医枠 (人)	2				1								2			2			

その他施設の認定

日大と人事交流のある科

消化器乳腺外科、整形外科、心臓血管外科、眼科、産婦人科

主な出身大学

日本大、医科歯科大、北大、札医大、岩手医大、福島大、弘前大、新潟大、慈恵大、金沢大、徳島大、千葉大、山梨大、産業医科大、筑波大、信州大 等

医
師
情
報

救
急
医
療

位置付け

基幹災害拠点、第3次および第2次救急医療、CCU ネットワーク参加施設

実績

救急外来数/日平均 (件)：26 救急車取扱数/日平均 (件)：22.4

患者数/日平均 (人)

外来患者数 679.9 入院患者数 315.3

分娩件数/年 (件)

臨床病理検討会 (CPC) 実施状況

剖検数/年 (件) 5 CPC開催数/年 (回) 12

当院は、基幹災害拠点病院として政策医療の災害医療の分野の名称を1995年設立当初から掲げています。平時には通常診療をしています。東京都北多摩西部医療圏の高度急性期医療の担い手として位置づけられています。DPC2群病院に2016年引き続き指定を受けています。そのほか、がん診療連携拠点病院、地域支援病院など地域の62万人の診療の中核として重責を担っています。病院機能をさらに高度化するため、救命救急センターとは別にICU8床、HCU8床を有しています。当院は、日本DMAT事務局病院として災害時には中心的に活動する役割がありますが、通常診療に従事する常勤医は高度な良質な医療を提供することに邁進しています。

初期研修情報

研修プログラム名: 災害医療センター卒後研修プログラム

研修プログラム責任者: 教育部長 大林 正人

関連協力施設:

国立精神・神経医療研究センター、立川在宅ケアクリニック、浅見胃腸科・外科医院、あおば内科、岡部医院、武蔵村山さいとうクリニック

研修科の説明:

本プログラムでは、厚生労働省の示した臨床研修目標を達成するため、院内研修を分担実施する、内科系、外科系、救命救急センター、小児科、また、院外研修では産婦人科、地域医療、精神科の部門毎に研修を行うこととしている。

研修医の当直: 月平均 4 回程度

募集内容

募集予定人数	12 名
処 遇 給与 (月額)	299,300 円
賞与 (年額)	なし
諸手当	通勤手当
社会保険	全国健康保険協会、厚生年金、雇用保険
医師賠償責任保険	病院において：加入しない 個人加入：任意
研修医宿舎	ワンルームタイプ
研修医室	あり

後期専門研修募集情報

内科 (1 名)・外科 (1 名)・救命科 (2 名)・麻酔科 (2 名) の 4 つで後期研修医を募集しています。

内科プログラムでは 3 年間 (基幹施設 2 年+連携施設 1 年) のうちに東京都北多摩西部医療圏・近隣医療圏にある連携施設とで内科専門研修を経て、地域の医療事情を理解し東京都全域を支える内科専門医を目指します。

外科プログラムについては、3 年間で基礎になる外科専門医取得とサブスペシャリティである消化器外科・呼吸器外科・心臓血管外科を同時に鍛錬していきます。

救急科では「地域に良質で安心・安全な標準的な医療の提供ができる」および「災害医療を含めた地域医療体制の理解と貢献ができる」救急科専門医を育成することで、特徴としては、二次から三次救急そして地域医療など豊富な症例をみることができ、ドクターカーやドクターヘリによる病院前診療に参加することも可能です。

麻酔科は 4 年間で手術中の麻酔管理のみならず、術前・術中・術後の患者の全身状態を良好に維持・管理するために細心の注意を払って診療を行う、全身管理のスペシャリストを目指します。

応募問合せ先

担当者 職員係長 富木 **TEL/FAX** TEL : 042-526-5511 FAX : 042-526-5535
E-mail nishiyama.takeshi.bn@mail.hosp.go.jp

東京都立大塚病院

開設者	東京都知事
病院管理者	院長 松本 潤
所在地	〒170-8476 東京都豊島区南大塚 2-8-1
連絡先	03-3941-3211
URL	https://www.byouin.metro.tokyo.lg.jp/ohtsuka/
交通アクセス	東京メトロ丸ノ内線新大塚駅より 徒歩 2分 JR 山手線大塚駅より 徒歩 10分 大塚駅より 都営バス（都 02）大塚四丁目下車徒歩 2分



- 診療科目
- 内科
 - 神経科
 - 児童精神科
 - 小児科
 - 外科
 - 整形外科
 - 脳神経外科
 - 形成外科
 - 皮膚科
 - 泌尿器科
 - 産婦人科
 - 眼科
 - 耳鼻咽喉科
 - リハビリテーション科
 - リウマチ膠原病科
 - 診療放射線科
 - 口腔科
 - 麻酔科
 - 輸血科
 - 女性総合外来
 - 救急診療科

許可病床数（床）	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	508					
平均在院日数（日）	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	11.7					

臨床研修病院の指定区分 基幹型

医師数

常勤：95名 非常勤：147名

専攻医情報等

【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総
専攻医プログラム認定施設	○	○	□	□	△		△			□		△	○						
専門医数（人）	16	13	2	1	9	4	10	3	2	3	3	2	5	2			2	1	78
専攻医枠（人）	2	2			1		2						1						8

※専攻医枠（採用）は、東京都医師アカデミーにより決定されますが、採用状況により他科の枠を流用できます。

放射線科採用枠は内科に含まれています。△は連携施設ですがプログラム上で当院採用となる科です。

□は東京医師アカデミーで研修を行える連携施設です。小児科は日大を連携施設とし、外科は日大の連携施設となっています。

その他施設の認定

日大と人事交流のある科

内科、外科、新生児科

主な出身大学

日本大学、慶應義塾大学、順天堂大学、東京大学、東京医科大学、東京医科歯科大学、東京慈恵医科大学、東京女子医科大学、東京歯科大学 他

医
師
情
報

位置付け

二次救急

実績

救急外来数／日平均（件）：31.8 救急車取扱数／日平均（件）：10.8

救
急
医
療

患者数／日平均（人）

外来患者数 613.4 入院患者数 260.7

分娩件数／年（件）

791

臨床病理検討会（CPC）実施状況

剖検数／年（件） 6 CPC開催数／年（回） 2

都内トップクラスの搬送受入実績を有する総合周産期母子医療センター、小児医療、障害者医療、災害治療などの重点医療に加え、がん診療にも力を入れています。

一方、医療連携を重視し、生活習慣病センターや救急医療など地域に密着した総合診療基盤を有する地域中核病院です。

初期研修情報

研修プログラム名：東京都立大塚病院

研修プログラム責任者：内科医長 吉川 桃乃

関連協力施設：

東京都立墨東病院・東京都立松沢病院・東京都保健医療公社豊島病院・日本医科大学付属病院・豊島区医師会施設・豊島区池袋保健所・三宅村国民健康保険直営中央診療所・新島村国民健康保険本村診療所

研修科の説明：

内科 6ヶ月・救急部門 3ヶ月・麻酔科 2ヶ月・外科 1ヶ月・産婦人科 1ヶ月・小児科 1ヶ月・地域医療 1ヶ月を必修とし、残りの9ヶ月を自由選択としている。

自由選択は内科・救急部門・麻酔科・外科・産婦人科・小児科・精神科・児童精神科・放射線科・耳鼻咽喉科・眼科・泌尿器科・皮膚科・形成外科・脳神経外科・リウマチ膠原病科・リハビリテーション科・整形外科・検査科・緩和ケア科・地域保健から選択できる。

院外研修については、必修科目では救急部門 3ヶ月のうち 1ヶ月を都立墨東病院（2次救急・3次救急）にて研修を行うことが可能である。

自由選択科目では、救急部門を都立墨東病院（2次救急・3次救急）・日本医科大学付属病院（3次救急）、精神科を都立松沢病院・都立墨東病院・公社豊島病院、緩和ケア科を公社豊島病院において研修を行うことが可能である。

研修の概要と特徴：

自由選択期間を9ヶ月と長めに設定しており、研修医自身が将来の希望やキャリア形成を考慮した診療科を自由に組み合わせ、複数あるいは繰り返し選択して研修することができる。また選択の変更にも柔軟な対応が可能である。

十分な common disease の経験に加え、重点医療についての一歩進んだ研修を受けることができる。また少人数制を生かし、手技等についても充実した研修を受けることができる。

必修の地域医療研修においては 1週間程度、三宅島または新島において研修を行っており、島しょ医療についても経験できる。

2年間の初期研修修了後は、都立病院及び東京都保健医療公社病院が合同で行っている後期研修「東京医師アカデミー」生として採用されることが可能である。

研修医の当直：月4回程度

募集内容

募集予定人数

6人

処遇 給与（月額）

月額 316,200円（令和5年4月予定。月4回当直をした場合。夜勤手当を含む）

賞与（年額）

基本給の10%（令和4年4月現在）

諸手当

通勤手当支給

社会保険

あり

医師賠償責任保険

病院において：なし 個人加入：任意

福利厚生

健康診断あり

東京都人材支援事業団による福利厚生あり

学会・研究会への参加可（一部補助あり）

研修医宿舎

あり

研修医室

研修医室・個人机あり。

応募問合せ先

担当者 庶務課庶務担当臨床研修担当

TEL/FAX TEL：03-3941-3211（内線 2228） FAX：03-3941-9557

E-mail ot_kensyu@tmhp.jp

後期専門研修募集情報

基幹施設として募集する領域及び目標とする専門医受験資格

【内科】日本内科学会新内科専門医・日本消化器病学会専門医・日本循環器学会認定循環器専門医・日本腎臓学会腎臓専門医・日本神経学会神経内科専門医・日本老年医学会認定老年専門医・日本糖尿病学会専門医・日本リウマチ学会専門医

【小児科】日本小児科学会小児科専門医

【麻酔科】麻酔科標榜医・社団法人日本麻酔科学会麻酔科認定医・麻酔科専門医資格の一部

連携施設として募集する領域及び目標とする専門医受験資格

【外科】日本外科学会外科専門医

【泌尿器科】日本泌尿器科学会泌尿器科専門医

【産婦人科】日本産婦人科学会産婦人科専門医

【皮膚科】日本皮膚科学会認定皮膚科専門医

【放射線科】放射線科専門医・マンモグラフィ読影認定医

詳細につきましては、当院ホームページをご覧ください。

募集予定人数：8名

給与：月額 564,000円（令和5年4月予定。週5日勤務。宿直手当・救急医療業務手当を含む。）

期末手当：基本給の10%（令和4年4月現在）

福利厚生：社会保険あり

健康診断あり

東京都人材支援事業団による福利厚生あり

学会、研究会への参加可（一部補助あり）

後期研修医室、個人机あり

宿舎あり

研修の概要と特徴

都立病院及び東京都保健医療公社病院が合同で行っている後期研修「東京医師アカデミー」のプログラムの一環で、東京都立大塚病院においても上記コースを開講している。「東京医師アカデミー」としては現在約300名の後期研修医が在籍しており、各都立・公社病院の総病床数7,200床を活用し、各都立・公社病院合同での研修や発表会を行っている。また各都立病院・公社病院間で連携しており、一定期間他の都立・公社病院において研修を行うこともできる。

「東京医師アカデミー」URL

<http://www.byouin.metro.tokyo.jp/academy/index.html>

応募問合せ先

担当者 庶務課庶務担当医師アカデミー担当

TEL/FAX TEL：03-3941-3211（内線 2228） FAX：03-3941-9557

E-mail ot_kensyu@tmhp.jp

公立福生病院

開設者	福生病院企業団
病院管理者	企業長 松山 健
所在地	〒197-8511 東京都福生市加美平 1-6-1
連絡先	TEL : 042-551-1111 (代表)、FAX : 042-552-2662 (代表)
URL	http://www.fussahp.jp/
交通アクセス	JR 青梅線 福生駅東口下車 徒歩 7分



- 診療科目
- 内科
 - 精神科
 - 循環器内科
 - 腎臓内科
 - 小児科
 - 外科
 - 整形外科
 - 脳神経外科
 - 心血管外科
 - 皮膚科
 - 泌尿器科
 - 産婦人科
 - 眼 科
 - 耳鼻咽喉科
 - リハビリテーション科
 - 放射線科
 - 麻 酔 科
 - 歯科口腔外科
 - 消化器外科

許可病床数 (床)	一 般	精 神	感 染 症	結 核	療 養	そ の 他
	316					
平均在院日数 (日)	一 般	精 神	感 染 症	結 核	療 養	そ の 他
	13					

臨床研修病院の指定区分 基幹型

医師数

常 勤 : 61 名 非常勤 : 78 名

専攻医情報等

【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総
専攻医プログラム認定施設																			
専門医数 (人)	8	3	1	1	5	4	4	4		2	4	2	3	1				1	
専攻医枠 (人)																			

※現在の常勤医は 61 名 (常勤並み非常勤医が他に 1 名、初期臨床研修医 2 名) 女性の比率が 4 分の 1 で、他施設同様内科医 10 名と最多です。当院の特徴としては外科系が伝統的に強く得意な施設と言えます。実際の常勤人数として外科医 7 名、整形外科医 7 名、脳神経外科医 4 名などです。現在、麻酔科医が非常勤医も含め 9 名で、手術件数が多いというのも特筆すべき点です。一方内科で複数の専門医がいる分野は消化器、循環器、腎臓です。逆に 1 名体制科は、精神科、リハビリテーション科、病理科の 3 科です。出身大学または医局で最多は慶應ですが全体的には混成で、特に古典的な大学医局の垣根はありません。

その他施設の認定

日大と人事交流のある科

主な出身大学

慶應義塾大学、日本大学

医 師 情 報

救 急 医 療

位置付け

二次救急医療機関

実 績

救急外来数/日平均 (件) : 18.6 救急車取扱数/日平均 (件) : 6.5

患者数/日平均 (人)

外 来 患 者 数 741.4 入 院 患 者 数 235.7

分娩件数/年 (件)

147

臨床病理検討会 (CPC) 実施状況

剖 検 数 / 年 (件) 6 CPC 開催数 / 年 (回) 2

当院は東京都下の中規模第二次医療機関で症例数に恵まれていることから、ほとんどの臨床科で通常疾患を十分に積むことができます。また、有病率が非常に少ない疾患で都内の大学病院などに紹介せざるを得ない場合でも、その地の利点から、紹介後の経過の把握がし易いという特徴があります。

初期研修情報

研修プログラム名：公立福生病院初期臨床研修プログラム

研修プログラム責任者：院長 吉田 英彰

関連協力施設：

医療法人財団岩尾会 東京海道病院／医療法人財団 竹栄会 みずほクリニック／医療法人社団 清杏会 しみず小児科・内科クリニック
医療法人社団 葵会 西多摩病院／医療法人社団 三秀会 羽村三鷹病院

研修科の説明：

研修は必修科目として内科系6ヶ月、外科系1ヶ月、小児科1ヶ月、産婦人科1ヶ月、精神科1ヶ月、地域医療1ヶ月、麻酔科1ヶ月の計12ヶ月を予定し、残りの12ヶ月については研修医の希望、または研修目標達成度を考慮して選択コースとする。
なお、救急部門については救急外来の宿日直を月に数回実施する。

研修の概要と特徴：

本プログラムは、選択必修科を設けず、最低1ヶ月の必修科とし、基本的な診療能力を身につけることができるとともに、将来の専攻科のための選択期間も十分研修できるプログラムである。

研修医の当直：

指導医の指導の下に実施する。

募集内容

募集予定人数	2人
処遇 給与(月額)	427,361円
賞与(年額)	573,541円
諸手当	宿日直手当 1回につき15,000円
社会保険	公的医療保険：全国健康保険協会、公的年金保険：厚生年金、労働者災害補償保険法の適用：有、雇用保険法の適用：有
医師賠償責任保険	病院において：加入 個人加入：加入必須
福利厚生	常勤 学会年会費 申請により3学会まで病院負担 学会参加費：交通費、申請により予算の範囲内で病院負担
研修医宿舎	無し
研修医室	無し 個人デスクあり

応募問合せ先

担当者 庶務課庶務係 関根 智
TEL/FAX TEL：042-551-1111 内線 2512 FAX：042-552-2662
E-mail syomu@fussahp.jp

後期専門研修募集情報

当院での初期臨床研修終了後、本人からの希望があれば研修管理委員会等で協議のうえ、常勤医師としての採用を行い、シニアレジデントとして引き続き研修を実施することが出来る。

当院以外で初期臨床研修を修了した方についても、随時募集を行っているのでお問い合わせください。

応募問合せ先

担当者 庶務課庶務係 関根 智
TEL/FAX TEL：042-551-1111 内線 2513 FAX：042-552-2662
E-mail syomu@fussahp.jp

医療法人本庄福島病院本庄総合病院

開設者	福島 正人
病院管理者	草間 芳樹
所在地	〒367-0031 埼玉県本庄市北堀 1780
連絡先	TEL：0495-22-6111 FAX：0495-24-5765
URL	http://www.honjo-hp.jp/index.html
交通アクセス	JR 高崎線：本庄駅南口より徒歩約 25 分、タクシー約 5 分 上越新幹線：本庄・早稲田駅より徒歩約 20 分、タクシー約 5 分



診療科目 **内科** **外科** **乳腺・甲状腺外科** **脳神経外科** **整形外科** **皮膚科** **小児科** **耳鼻咽喉科**
眼科 **泌尿器科**

許可病床数 (床)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	183				102	
平均在院日数 (日)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	19.7					

臨床研修病院の指定区分

医師数

常勤：18名 非常勤：50名

専攻医情報等

【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総
専攻医プログラム認定施設	○				○	○													
専門医数 (人)	4	1	1		3	2					2								
専攻医枠 (人)																			

その他施設の認定

日大と人事交流のある科

内科、外科、脳神経外科、整形外科、皮膚科、小児科

主な出身大学

日本大学、千葉大学、日本医科大学、金沢医科大学

医師情報

救急医療

位置付け

二次救急

実績

救急外来数/日平均 (件)：8.2 救急車取扱数/日平均 (件)：2.7

患者数/日平均 (人)

外来患者数 400 入院患者数 275

分娩件数/年 (件)

臨床病理検討会 (CPC) 実施状況

剖検数/年 (件) CPC開催数/年 (回)

本庄児玉地区に公的病院がなく、地域から要望され 1988 年 10 月に開設された。2003 年 4 月に療養病棟 (102 床) を開設し、同時に総合リハビリテーション A を取得、6 月に開放型病院となり、45 名の登録医がおられる。急性期病床 185 床、療養病棟 102 床で病床利用率 90%、急性期病床の平均在院日数 19.7 日、外来患者数 1 日 400 名、紹介患者数 1400 名救急車搬送数 850 台、手術件数年間 800 件で、うち全麻症例 550 件、2013 年 5 月、看護管理加算 10:1、2011 年 5 月がん性疼痛緩和指導管理料、2010 年 10 月に療養病棟に療養病棟施設基準 20:1 を取得した。地域の中核病院として本庄医師会立準看護学校を、看護専門学校、薬科大学、保健医療大学、リハビリ科、栄養学校、検査科や放射線科、医事関係学校、消防学校、救急救命士の実習病院として多くの研修生を受け入れている。近隣の会社、学生のボランティア活動や小中学校からの社会実習研修に協力している。このように地域に密着した病院である。

後期専門研修募集情報

医療法人本庄福島病院として、当院の他本庄福島病院（療養型）96床、介護老人保健施設として「彩の苑」100床、関連施設として伊勢崎福島病院262床、熊谷福島病院（療養型）93床を有している。

当院は地域の中核病院として急性期病棟185床、療養病棟102床を有し、年間2000件近くの救急を取り扱っている。内科常勤医は6名で、循環器、消化器を中心に、外来患者数280名/日、入院患者数95名/日である。外科常勤医は4名で消化器外科、乳腺甲状腺外科を中心に、外来患者数30名/日、入院患者数30名/日、年間手術件数は160件である。整形外科常勤医は2名で外来患者数83名/日、入院患者数50名/日、年間手術件数400件である。脳神経外科常勤医は2名で外来患者数20名/日、入院患者数15名/日、年間手術件数は10件である。内科医、外科医、脳神経外科医を募集している。

応募問合せ先

担当者 総務課 鈴木 綾子 **TEL/FAX** TEL : 0495-24-6111 FAX : 0495-24-5765
E-mail setu001@honjo-hp.jp

小張総合病院

開設者	理事長：小張 力
病院管理者	院長：二宮 浩樹
所在地	〒278-8501 千葉県野田市横内 29 番 1
連絡先	04-7124-6666 (代表)
URL	http://www.kobari.or.jp
交通アクセス	電車：「秋葉原駅」より、つくばエクスプレス「流山おおたかの森駅」下車、東武アーバンパークラインに乗り換え「野田市駅」下車、送迎バスにて5分。 お車：国道16号線横内交差点角地 常磐道柏インターより大宮方面へ約20分。



診療科目	内科	循環器内科	呼吸器内科	消化器内科	腎臓内科	糖尿病・代謝科	神経内科	ペインクリニック内科	
	外科	呼吸器外科	心血管外科	消化器外科	整形外科	脳神経外科	小児科	皮膚科	泌尿器科
	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	リハビリテーション科	放射線科	麻酔科	病理診断科	救急科	
	乳腺外科	肛門外科							

許可病床数 (床)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	350					
平均在院日数 (日)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	14.3					

臨床研修病院の指定区分 基幹型

医師数

常勤：60名 非常勤：135名

学会専門医修練施設としての認定

日本内科学会教育施設、日本呼吸器学会認定施設、日本呼吸器内視鏡学会関連認定施設、日本呼吸器外科学会専門医合同委員会認定基幹施設、日本外科学会専門医制度修練施設、日本脳神経外科学会専門医研修施設、日本消化器内視鏡学会指導施設、日本消化器病学会認定施設、日本胸部外科学会指定施設、日本循環器学会循環器専門医研修施設、日本整形外科学会専門医研修施設、日本透析医学会認定施設、日本腎臓学会認定研修施設、日本泌尿器科学会専門医教育施設、日本麻酔科学会認定病院、日本ペインクリニック学会指定研修施設、日本乳癌学会認定関連施設、日本神経学会専門医教育施設、日本臨床細胞学会教育研修施設、日本臨床細胞学会認定施設、日本周産期・新生児医学学会母体・胎児認定試験（補完施設）、日本静脈経腸栄養学会 NST 稼働施設、日本栄養療法推進協議会 NST 稼働施設、日本がん治療認定医機構認定研修施設、マンモグラフィ検診施設画像認定施設、千葉県知事千葉県がん診療連携協力病院（胃がん・大腸がん）、日本呼吸器内視鏡学会専門医制度認定施設

日大と人事交流のある科

外科、整形外科、小児科、皮膚科、泌尿器科、循環器内科、神経内科

主な出身大学

日本大学、筑波大学、昭和大学、順天堂大学

位置付け

二次救急

実績

救急外来数/日平均 (件)：29 救急車取扱数/日平均 (件)：10

患者数/日平均 (人)

外来患者数 175 入院患者数 266

分娩件数/年 (件)

354

臨床病理検討会 (CPC) 実施状況

剖検数/年 (件) 7 CPC開催数/年 (回) 6

良い医師とは何でしょうか。私は、患者さんの心と身体の両方をケア出来る人間と考えています。その比率は患者さんの状態や、科の特性によって様々です。救急では、素早い診断と処置が必要であり、不安や心配への対応は短時間になります。初めて癌が見つかり、治療を受けることになったり、生活習慣病等で長い闘病生活を続けたいと行けない場合は、メンタルのケアが重要となります。研修医の時代は、そのような、いろいろな条件の患者さんを経験し、見学だけでなく、診療に深く関わることにより、自分自身の診療スタイルの確立に向けて研鑽を積み上げてゆくことになります。将来、何科に進むにせよ、医師としての根幹の部分を作るのが最初の2年間です。

当院には、諸君のロールモデルとなる素晴らしい指導医連がおり、一緒に働くのを待っています。救急を中心とした中規模総合病院、メディカルスタッフの顔が見えるアットホームな雰囲気、豊かな自然環境にありながら、都心へのアクセスが便利であるといった当院の特徴を活かして、一人一人の研修医を大切に、希望を考慮したオーダーメイドの研修を行います。決して詰め込みではない、興味のある分野を取り入れた無理のない研修こそが、自分の実力をつけ、将来の道を定める近道であると考えます。

ぜひ、我々と一緒に地域に密着した、心の医療を実践してゆこうではありませんか。まずは見学にお越し下さい。

初期研修情報

研修プログラム名: 小張総合病院初期臨床研修プログラム

研修プログラム責任者: 副院長: 牧嶋 信行

関連協力施設: 筑波大学付属病院・初石病院・都立墨東病院・恩田第二病院・小張総合 CL・野田ライフケアセンター CL

研修科の説明:

最初の6ヶ月は、1年目の研修医、2年目の研修医、上級医の屋根瓦式のチーム医療体制で基本的手技、知識等を習得します。その後はマンツーマン体制で指導します。また、症例検討会、CPCなど勉強会も充実しています。

- 内科系
- ・日本内科学会教育認定病院
 - ・研修医中心の症例検討会(月2回)
 - ・解剖症例、CPCの充実
 - ・各種研究会に年1回以上の発表
- 外科系
- ・複数科の研修認定病院
 - ・豊富な手術症例

研修医の当直: 月平均4回/月 内科系を担当 研修医1名+上級医1名

当院の特徴:

研修医専用の研修医室あり

Common diseaseの症例が豊富

多くの手技を経験できる

(例) CV挿入、腰椎穿刺、採血・静脈ルート確保、腹水穿刺・胸水穿刺、尿バルーン挿入、PTGBD・PTAP、気管支挿管、CAG、胸腔ドレーン挿入、ERCP等

募集内容

募集予定人数	8名
処遇 給与(月額)	1年:550,000円 2年:600,000円
諸手当	当直手当・家賃補助
社会保険	健康保険・厚生年金
医師賠償責任保険	病院において:加入あり 個人加入:必須(個人負担)
福利厚生	医療費補助(本人のみ) 引越し費用:病院負担(当院規定に準ずる) 院内保育所あり 同好会あり
研修医宿舎	有り 25,000円/月
研修医室	独自にあり

後期専門研修募集情報

千葉県東葛北部医療圏の中心的な急性期病院である小張総合病院では、診断のついていない数多くの救急患者を経験することが出来ます。その研修を通じて、多種多様な訴えおよび疾患群を経験することにより、内科専門医として必要な急性期の対応、的確な診断に至る道筋と無駄のない診断方法及び、エビデンスに基づいた最適な診療を提供することを、身につけることが出来ます。同時に上級医からのフィードバックを得て、初期研修医を指導することにより、その教えを確実に自分のものにする事が出来ます。豊富な症例を少ない専攻医で分けることにより、1年半~2年間で研修に必要な56疾患群160症例を経験し、必要な解剖症例も経験することが出来ます。その後、連携施設、特別連携施設において、より幅広い研修が可能となります。

- ・内科・麻酔科基幹施設
- ・内科・小児科・外科・整形外科・産婦人科・眼科・泌尿器科・脳神経外科・麻酔科・救急医学科こちらは関連施設
- ・研修に必要な図書室とインターネット環境があります。
- ・メンタルストレスに適切に対処する部署(健康管理課)があります。
- ・ハラスメントに対してハラスメント委員会の相談担当がいます。
- ・女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室が整備されています。
- ・敷地内に院内保育園があり、利用可能です。
- ・350床の急性期病院です。規模にしては多くの救急搬送患者を受け入れており(年間4,500台)、急性期の豊富な症例を有しています。

応募問合せ先

担当者 秘書: 望月・三浦・加藤 **TEL/FAX** TEL: 04-7124-6666(代表) FAX: 04-7124-6760
E-mail medical_secretary@kobari.or.jp

医療法人社団 永生会 永生病院

開設者	安藤 高夫
病院管理者	飯田 達能
所在地	〒193-0942 東京都八王子市桐田町 583-15
連絡先	042-661-4108
URL	http://www.eisei.or.jp
交通アクセス	京王高尾線めじろ台駅から徒歩 8 分



診療科目 **内科** **整形外科** **リハビリテーション科** **神経内科** **精神科** **麻酔科**

許可病床数 (床)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	220	130			182	
平均在院日数 (日)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	36	296			医療 (220) 介護 (253)	

臨床研修病院の指定区分 協力型

医師数

常勤：23名 非常勤：21名

専攻医情報等

【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総
専攻医プログラム認定施設																		○	
専門医数 (人)	5		1	2		5							1					4	2
専攻医枠 (人)																			

その他施設の認定

日大と人事交流のある科

整形外科、泌尿器科

主な出身大学

日本大学

医師情報

位置付け

実績

救急外来数/日平均 (件) : 0.04 救急車取扱数/日平均 (件) : 0.04

救急医療

患者数/日平均 (人)

外来患者数 クリニック 359.6 入院患者数 482.4

分娩件数/年 (件)

臨床病理検討会 (CPC) 実施状況

剖検数/年 (件) CPC開催数/年 (回)

回復期・慢性期医療を中心のケアミックス型の病院です。特徴として、各科病棟に専属のリハビリスタッフが配置されており、特に回復期リハビリテーション病棟では祝祭日もリハビリテーションを行い積極的に在宅復帰を目指しています。また法人全体においては急性期を担う南多摩病院をはじめ、外来・在宅診療の4クリニック、3老健、5訪問看護ステーション、3居宅介護支援事業所、グループホームを八王子市を中心に展開しています。また関連のみなみ野病院は、緩和ケアに対しても力を入れていきます。地域包括ケアシステムを実践できる組織力を持っているのでライフスタイルに合った勤務環境が揃っています。

初期研修情報

研修プログラム名: 永生会の地域包括ケアシステム研修

研修プログラム責任者: 永生病院 院長 飯田達能

関連協力施設:

永生病院、南多摩病院、永生クリニック、クリニックO（ゼロ）、介護老人保健施設イマジン、みなみ野病院、クリニックグリーングラス、グリーングラス南大沢クリニック

研修科の説明:

地域包括ケアシステムを理解し地域医療に貢献できる医師になっていただくことが目標。

初期研修から後期研修に進むうえで、地域包括ケアシステムの中で求められる急性期医療を習得するために、高齢化の進む地域の状況、その中で在宅や施設の状況、急性期医療の病床を有効利用していただくため回復期・慢性期医療の病院がどのように連携しているかを体験する。急性期病院で何が必要かを熟知していただく。急性期病院の医師は、急性期医療を効率よく進め早期退院するよう日々苦勞されているが、急性期病院から退院後の在宅や施設、回復期・慢性期病院でどのような状況になっているのか熟知されている急性期医療を担う医師は少ない。そこで、急性期医療の後の医療やケアがどのような状況であるのかを理解し、地域包括ケアシステムをうまく運用するために急性期病院で求められていることを理解していただく。

研修の概要と特徴:

548床の回復期・慢性期医療のケアミックスの永生病院を中心に永生クリニック、クリニックO、クリニックグリーングラス、グリーングラス南大沢クリニックの在宅医療と2次救急病院の南多摩病院、慢性期医療と緩和ケアのみなみ野病院、老健施設イマジンを包括的に見学実習。地域包括ケアの内容、急性期医療の病院を取り巻く環境を熟知し、患者中心の求められる急性期医療の内容を認識していただく。

研修医の当直: なし

募集内容

募集予定人数	1名
処遇 給与(年俸制)	850万円(12分割均等払い)
社会保険	社会保険科完備(雇用、労災、健保、厚生年金)
医師賠償責任保険	病院にて加入
福利厚生	提携保養所あり 夏季休暇:4日(6月~11月の間に取得可) 年末年始休暇:5日(12月30日~1月3日) 有給休暇:初年度10日(規定による)
研修医宿舎	借り上げ住宅制度あり
研修医室	診療部内に設置

応募問合せ先

担当者 人事部 二口(フタクチ)
E-mail saiyou@eisei.or.jp

TEL/FAX TEL:042-661-4108(代表)

FAX:042-661-1331

医療法人崇徳会 長岡西病院

開設者	田宮 崇
病院管理者	永井 恒雄
所在地	〒940-2081 新潟県長岡市三ツ郷屋町 371 番地 1
連絡先	0258-27-8500
URL	https://www.sutokukai.or.jp/nagaokanishi-hp/
交通アクセス	JR 長岡駅から車で 10 分。関越自動車道長岡 IC から車で 5 分。



診療科目 **内科** **神経内科** **心療内科** **精神科** **外科** **整形外科** **リハビリテーション科** **皮膚科**
泌尿器科 **婦人科** **眼科** **ペインクリニック(麻酔科)** **歯科** **放射線診断科**

許可病床数(床)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	74				166	
平均在院日数(日)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	20.67				50.24	

臨床研修病院の指定区分 協力型

医師数

常勤：13名 非常勤：35名

専攻医情報等

【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総
専攻医プログラム認定施設	○																		
専門医数(人)	3		1	5		4	1			3	5		4						3
専攻医枠(人)	1					1													

その他施設の認定

日本神経学会准教育施設、日本緩和医療学会認定研修施設

日大と人事交流のある科

神経内科、整形外科

主な出身大学

新潟大学、日本大学、富山医科薬科大学、東北大学、昭和大学、順天堂大学、秋田大学、山形大学

位置付け

二次救急

実績

救急外来数/日平均(件)：0.7 救急車取扱数/日平均(件)：0.4

患者数/日平均(人)

外来患者数 278.7 入院患者数 212.2

分娩件数/年(件)

臨床病理検討会(CPC)実施状況

剖検数/年(件) CPC開催数/年(回)

長岡西病院は、亜急性期から回復期・療養期・ターミナル期、さらには健診・人間ドック等を含め幅広い医療サービスを提供。総合病院と開業医・在宅・福祉施設等の中間に位置し、シームレスに取り組むための連携を積極的に推進。医療・福祉のトータルステーションとしての役割・機能を有し、保健・医療・福祉複合体である「長岡医療と福祉の里」グループの基幹病院機能、高齢者や障がい者に優しい医療機関として、地域社会を支える存在であり続けたいと考えています。

1993年に開設した緩和ケア病棟ビハラーはユニークな取り組みが高く評価されており、2004年開設の回復期リハビリテーション病棟は、地域のニーズも高く今後ますますその機能を高めていくことが求められています。神経内科では、脳卒中・パーキンソン病・てんかん・認知症などの患者さんが多数受診されます。在宅医療にも力を入れ、訪問看護ステーションとの連携も密です。

一定レベルの機能を有する病院に勤務しつつ、ご自分のライフワークやライフタイムも大切に確保したい、という先生にお勧めの病院です。

初期研修情報

研修プログラム名：地域医療

研修プログラム責任者：院長 永井 恒雄

基幹型研修病院：長岡中央総合病院

研修科の説明：

緩和ケア病棟実習

1. 研修場所 長岡西病院緩和ケア病棟（ピハーク病棟）
2. 研修期間 1週間または2週間コース
3. 研修目的
 - (1) ピハーク病棟の基本理念・基本方針の理解
 - (2) 医師としての日常サポート（回診・コミュニケーション・その他）
 - (3) 疼痛マネジメントの基本的な考え方と実際（WHO方式）
 - (4) 症状マネジメントの基本的な考え方と実際（輸液・セデーションなど）
 - (5) 心理的・スピリチュアル的、社会的側面に対する基本的な考え方と実際
 - (6) 病棟（および他部署・ボランティア）スタッフの役割・機能・連携・チームアプローチ
 - (7) 入院相談のポイントと実際
 - (8) 遺族ケア
 - (9) 退院時の要領（在宅退院・死亡退院）
 - (10) その他必要な研修事項

研修の概要と特徴：

長岡中央総合病院の協力型として地域医療研修プログラムを担当している。緩和ケア病棟「ピハーク病棟」で「いのち」の尊さを大切にしながら安らぎの医療と看とりの実践を学ぶことができる。

研修医の当直：なし

募集内容

募集予定人数	若干名	
処遇	給与（月額） 賞与（年額） 諸手当	若干名 基幹型臨床研修病院の定めによる 同上 同上
社会保険	同上	
医師賠償責任保険	病院において：同上 個人加入：	
福利厚生	同上	
研修医宿舎	なし	
研修医室	なし	

応募問合せ先

担当者 事務部長 伊藤哲生 TEL/FAX TEL：0258-27-8500 FAX：0258-27-8509
E-mail nagaakanishi-hp@sutokukai.or.jp

取手北相馬保健医療センター医師会病院

開設者	眞壁 文敏
病院管理者	鈴木 武樹
所在地	〒302-0032 茨城県取手市野々井 1926
連絡先	TEL : 0297-78-6111 FAX : 0297-70-7288
URL	http://www.ishikaibyoin.or.jp/
交通アクセス	関東鉄道常総線稲戸井駅より徒歩 15 分（病院無料送迎バスあり） 関東鉄道路線バス取手スポーツセンターより徒歩 1 分 取手市コミュニティバス（ことバス）グリーンスポーツセンター より徒歩 1 分



診療科目 **内科** **外科** **整形外科** **形成外科** **循環器科** **呼吸器科** **神経内科** **放射線科**
リハビリテーション科 **緩和ケア内科**

許可病床数（床）	一般	精神	感染症	結核	地域包括ケア病棟	その他
	127				50	
平均在院日数（日）	一般	精神	感染症	結核	地域包括ケア病棟	その他
	16.1				33.9	

臨床研修病院の指定区分

医師数

常勤：12名 非常勤：30名

専攻医情報等

【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総	
専攻医プログラム認定施設																				
専門医数（人）					5	2														3
専攻医枠（人）																				

その他施設の認定

日大と人事交流のある科

外科

主な出身大学

日本大学、筑波大学、帝京大学、東京医科大学

医師情報

救急医療

位置付け

二次救急医療機関

実績

救急外来数／日平均（件）：6 救急車取扱数／日平均（件）：3

患者数／日平均（人）

外来患者数 187.4 入院患者数 104.6

分娩件数／年（件）

臨床病理検討会（CPC）実施状況

剖検数／年（件） CPC開催数／年（回） 12

茨城県南部に位置する当院は、地域のみなさまが安心して医療が受けられるよう、地域医療・救急医療体制の充実に努めています。また、地域医療支援病院の認定を受け、地域の医師会員の先生方と円滑な連携をし、スムーズな紹介の体制を強化しております。さらに、診療のみならず健康診断などの保健予防活動にも積極的に取り組んでおります。病院職員一同、あなたのご来訪を心よりお待ちしております。

初期研修情報

研修プログラム名: 取手北相馬保健医療センター医師会病院初期研修プログラム

研修プログラム責任者: 鈴木 武樹・渡邊 寛・矢藤 繁

関連協力施設: 日本大学・筑波大学・東京医大・慈恵医大・独立行政法人国立がん研究センター東病院

研修科の説明:

内科:①糖尿病は、教育入院、糖尿病教室の指導をおこない、開業医からの外来、入院時インスリン導入の要請に役目を果たしております。②腎臓病は、緊急腹膜透析、血液透析により、急性腎不全に対応しています。

外科:年間手術件数は、300～350件で消化器外科を主体に日本内視鏡外科学会技術認定医の指導のもと鏡視下手術を積極的に行っている。胸部外科として肺癌、気胸手術、乳癌学会認定施設として乳癌、脈管専門医修練施設として末梢血管手術を行っている。また手術のみならず外来化学療法、終末期医療もチーム医療として行っている。以上幅広い研修が可能であり外科学会専門医の症例項目は満たしている。

整形外科:四肢の外傷を中心に、関節疾患や・頸椎・腰椎疾患・末梢神経疾患の診療・手術を行っている。膝・手関節・手根管症候群などの関節鏡下治療を積極的に行っている。

循環器科:循環器科は、循環器センターとして内科系外科系共に一元管理をしています。責任者は心臓血管外科及び脈管専門医を取得し、日本不整脈学会評議委員でもあり不整脈やペースメーカーにも精通しています。ホルター心電図検査は院内で解析し、心臓及び血管エコー検査、冠動脈や血管の造影CT検査も専門医管理でルーチンに行っています。筑波大学の循環器内科及び心臓血管外科の支援を得て、十分な連携を行い、高度に侵襲的処置は筑波大学病院で行い、抹消血管手術及びペースメーカー、下大静脈フィルターなどのデバイス植え込みは院内で行っています。

放射線科:CT16列以上・MRI1.5テスラ・超音波等最新機種を設置しています。また、放射線医が読影レポートを書き診断のサポートをします。休日は遠隔診断でサポートも受けられます。

研修医の当直: あり

募集内容

募集予定人数	2名
処遇 給与(月額)	1年次:要相談 2年次:要相談
賞与(年額)	1年次:要相談 2年次:要相談
諸手当	当直1回につき 30,000円～100,000円
社会保険	健康保険・厚生年金・雇用保険・医師賠償保険
医師賠償責任保険	病院において:病院加入 個人加入:
福利厚生	保養所 24時間保育所 退職金制度
研修医宿舍	住宅手当 60,000円
研修医室	なし

後期専門研修募集情報

外科系においては可能です。 医師募集は、各科年齢を問わず随時行っています。是非お問い合わせ下さい。

応募問合せ先

担当者 事務次長:戸田 健児
E-mail mail@t-ishikaihp.jp

TEL/FAX TEL:0297-78-6111

FAX:0297-70-7288

医療法人 仁愛会 日立おおみか病院

開設者	理事長 矢ヶ崎 千良
病院管理者	院長 矢ヶ崎 千良
所在地	〒319-1221 茨城県日立市大みか町 2-22-30
連絡先	0294-52-4455
URL	http://www.jinaikai.org
交通アクセス	JR おおみか駅下車 徒歩 3分 常磐自動車道 日立南太田インターより約 15分



診療科目 **内科** **呼吸器内科** **循環器内科** **消化器内科** **脳神経外科** **外科** **肛門外科** **消化器外科** **心血管外科**
整形外科 **リハビリテーション科**

許可病床数 (床)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	60				30 (休床中)	
平均在院日数 (日)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	31					

臨床研修病院の指定区分 基幹型

医師数
常勤：2名 非常勤：1.9名

専攻医情報等
【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総	
専攻医プログラム認定施設																				
専攻医数 (人)					1	1														
専攻医枠 (人)																				

その他施設の認定

日大と人事交流のある科
外科、心血管外科、肛門外科、呼吸器外科

主な出身大学
日本大学、日本医科大学、東京大学、筑波大学、弘前大学

位置付け
二次救急

実績
救急外来数/日平均 (件)：0.3 救急車取扱数/日平均 (件)：0.5

患者数/日平均 (人)			
外来患者数	63	入院患者数	46
分娩件数/年 (件)			

基本理念：医学の発達に応じた医療を常に心掛け、地域に根差した病院を目指しています。

臨床病理検討会 (CPC) 実施状況			
剖検数/年 (件)	0	CPC開催数/年 (回)	0

後期専門研修募集情報

募集する診療科	外科
募集する人数	外科 1 名
医師について特に希望する要件	外科（血管外科は一層歓迎します）
処遇 給与（月額）	年収 週 4 回 1,500 万～ 年収 週 5 回 1,800 万～
賞与（年額）	（年収に含む）
諸手当	当直 1 回 5 万円
社会保険	有
医師賠償責任保険	病院加入
その他	研修医不可

応募問合せ先

担当者 黒澤 義嗣 **TEL/FAX** TEL : 0294-52-4455 FAX : 0294-52-4456
E-mail y-kurosawa@jinaikai.org

戸田中央医科グループ (TMG) 医療法人社団武蔵野会 新座志木中央総合病院

開設者	理事長 中村 毅
病院管理者	林 淳慈
所在地	〒352-0001 埼玉県新座市東北 1-7-2
連絡先	TEL : 048-474-7211 FAX : 048-472-7581
URL	http://www.niizashiki-hp.jp
交通アクセス	東武東上線 志木駅(南口) 徒歩5分



- 診療科目
- 内科 神経内科 消化器内科 循環器内科 小児科 外科 消化器外科 呼吸器外科 整形外科
 - 脳神経外科 皮膚科 肛門科 泌尿器科 婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 麻酔科 形成外科
 - リハビリテーション科 救急科 リウマチ科 放射線科

許可病床数(床)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	402					
平均在院日数(日)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	14.7					

臨床研修病院の指定区分 管理型

医師情報

医師数

常勤：72 非常勤：多数

専攻医情報等

【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	婦	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総
専攻医プログラム認定施設	○					○													
※連携施設	○		○		○	○			○		○		○		○				○
専門医数(人)	13	1	1		10	4	2	1	1	4	5	1	3		1			4	8
専攻医枠(人)																			

その他施設の認定

日本内科学会認定医制度教育関連病院、日本消化器病学会認定施設、日本消化器外科学会専門医修練施設、日本糖尿病学会認定教育施設1、日本整形外科学会研修施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本眼科学会研修施設、日本皮膚科学会認定専門医研修施設、日本麻酔学会麻酔科認定病院、日本泌尿器科学会専門医教育施設、日本脳神経外科学会指定訓練場所、日本呼吸器外科学会指導医制度関連施設、日本呼吸器内視鏡学会専門医制度認定施設、日本消化器内視鏡学会専門医指導施設、日本循環器学会指定循環器研修施設、日本脳卒中学会認定研修教育病院、日本気管食道科学会認定気管食道科専門医研修施設(外科気道系)、呼吸器外科専門医合同委員会認定専門医研修連携施設、日本心血管インターベンション学会研修関連施設、日本リウマチ学会教育施設、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本内分泌外科学会専門医認定(関連)施設、下肢静脈瘤に対する血管内治療実施施設、日本門脈圧亢進症学会技術認定教育施設、日本乳癌学会認定・関連施設

日大と人事交流のある科

消化器内科、消化器外科、膠原病

主な出身大学

東京医大、昭和大学、聖マリアンナ医大、埼玉医大、杏林大、千葉大、山形大、秋田大、群馬大、愛媛大、奈良医大、弘前大

救急医療

位置付け

二次救急医療機関

実績

救急外来数/日平均(件)：17 救急車取扱数/日平均(件)：13

患者数/日平均(人)

外来患者数 849 入院患者数 325

分娩件数/年(件)

臨床病理検討会(CPC)実施状況

剖検数/年(件) 1 CPC開催数/年(回) 2

埼玉県南西部70万人の医療圏における急性期中核病院として402床で運営しております。

思いやりのある質の高い医療、地域医療機関との密接な関係、行き届いた管理体制による効率的な医療等を行動の規範として皆様から「愛され愛される病院」を目指し、24時間救急体制で全力を尽くしております。

病院の目標として、地域密着型のより高度な医療を実践する事を目指しております。

また、当院は戸田中央医科グループ(TMG)に所属しており、臨床面においてもスケールメリットを生かした病院運営を展開し、各大学病院と連携し医療レベルの向上に努めております。

ー当院での初期研修のメリットー

- 少人数制なので、必修項目以外は研修医の自由裁量で好きな診療科を選択出来ます。
- 少人数制なので、指導医が各研修医の能力に合わせて研修のペースを設定出来ます。
- 全職種との良好なコミュニケーションを形成する事が出来ます。
- 医療秘書・病棟・外来クラークが十分に整備されており、雑用が少なく技術の習得に専念出来ます。
- 大学医局派遣の医師が多く、大学での教育に準じた研修が出来ます。
- TMG 学会での学術発表
グループ内の全ての初期臨床研修医が学会発表の第 1 歩として経験を積めます。

初期研修情報

研修プログラム名: 新座志木中央総合病院初期臨床研修プログラム

研修プログラム責任者: 副院長 (内科): 松浦 直孝

関連協力施設: 戸田中央総合病院・戸田中央産院・菅野病院・成増厚生病院・まちだ訪問クリニック・佐々総合病院

研修の概要と特徴:

当院は、地域の基幹病院として急性期から慢性期まで全ての患者様に対応しており、初期研修の目的であるプライマリーケアを勉強できます。採血・点滴当番等の DUTY がなく、他の研修医に気を使うことなく有効に時間を使えます。

内科系は、消化器・循環器・糖尿病内分泌代謝・膠原病・アレルギー・血液・腎臓・呼吸器・神経等を含む広い領域での指導体制となっております。また外科系 (消化器・一般・呼吸器・脳神経外科・整形外科・泌尿器科・眼科・皮膚科・婦人科等) も同様に多くの症例を経験出来ます。更に麻酔科研修でも救急医療の基礎を成す、呼吸循環管理や臨床薬理の充実した指導を受けられます。また、小児科・産婦人科・精神科等も個々の研修医の希望に応じて柔軟に対応致します。

当院は研修医の受入枠を少なくしておりますので研修医一人あたりの指導者数が多く濃密な指導が保障されています。

更に看護師・医療技術スタッフ等、あらゆる職種のスタッフが丸となり研修を支援する体制が築かれています。

研修医の当直: 4 回程度 / 月 要相談

募集内容

募集予定人数	3 名
処 遇 給与 (月額)	1 年次: 36 万円 2 年次: 40 万円 (※固定残業代含)
諸手当	通勤手当
社会保険	組合健康保険・厚生年金保険・雇用保険・労災保険
医師賠償責任保険	病院において加入 個人加入: 任意
研修医宿舎	有 住宅手当は病院規定による
研修医室	有

応募問合せ先

担当者 総務課 渡邊 悠暉 **TEL/FAX** TEL: 048-474-7211 FAX: 048-472-7581
E-mail y_watanabe2@tmg.or.jp

公益財団法人東京都保健医療公社豊島病院

開設者	公益財団法人東京都保健医療公社 理事長 山口 武兼
病院管理者	院長 安藤 昌之
所在地	〒173-0015 東京都板橋区栄町 33-1
連絡先	03-5375-1234 (代)
URL	http://www.toshima-hp.jp/
交通アクセス	東武東上線：大山駅下車徒歩 5 分、中板橋駅下車徒歩 7 分 都営三田線：板橋区役所駅下車徒歩 10 分



- 診療科目
- 内科 神経内科 内分泌・代謝内科 呼吸器内科 消化器内科 循環器内科 腎臓内科 血液内科
 - 精神科 小児科 外科 消化器外科 乳腺外科 整形外科 形成外科 脳神経外科 皮膚科
 - 泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 リハビリテーション科 放射線科 歯科口腔外科 麻酔科
 - 感染症内科 緩和ケア内科 病理診断科 救急科

許可病床数(床)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	386	32	20			
平均在院日数(日)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	8.3	23.5	9.5			

臨床研修病院の指定区分 基幹病院

医師数

常勤：78名 非常勤：62名

専攻医情報等

【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総
専攻医プログラム認定施設	○			○									○						
専攻医数(人)	3	1		12						1			3						
専攻医枠(人)	3			3									1						

その他施設の認定

日本呼吸器学会認定施設、日本内科学会認定医制度教育病院、日本消化器病学会専門医制度認定施設、日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設、日本腎臓学会研修施設、東京都区部災害時透析医療ネットワーク正会員施設、日本透析医学会専門医制度教育関連施設、日本内分泌学会内分泌代謝科専門医制度認定教育施設、日本糖尿病学会認定教育施設、日本老年医学会認定施設、日本輸血細胞治療学会 I&A 認証施設、日本血液学会認定血液研修施設、日本神経学会専門医制度准教育施設、日本心血管インターベンション治療学会研修関連施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本緩和医療学会認定研修施設、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本感染症学会研修施設、日本老年精神医学会専門医制度認定施設、日本精神神経学会精神科専門医制度研修施設、日本総合病院精神医学会一般病院連携精神医学専門医特定研修施設、日本小児科学会小児科専門医研修施設、日本消化器外科学会専門医修練施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本胆道学会認定指導医制度指導施設、日本肝臓学会専門医制度関連施設、日本乳癌学会関連施設認定、日本整形外科学会専門医制度研修施設、日本脳神経外科学会専門医、認定制度研修プログラム認定、日本脳卒中学会専門医認定制度研修教育病院、東京都脳卒中急性期医療機関認定、東京都区西北部脳卒中ネットワーク参加施設、日本形成外科学会教育関連施設、泌尿器科専門医教育施設、日本レーザー医学会指導施設、日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設、日本周産期・新生児医学会暫定研修施設認定、日本眼科学会専門医制度研修施設、日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設、日本リハビリテーション医学会研修施設、日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関認定、マンモグラフィ検診施設画像認定、日本障害者歯科学会臨床研修施設認定、日本麻酔科学会麻酔科認定病院、日本ペインクリニック学会指定研修施設認定、日本歯科麻酔学会研修機関、日本救急医学会救急科専門医指定施設、日本病理学会病理専門医制度研修認定施設 B、日本臨床細胞学会認定施設、認定臨床微生物検査技師制度研修施設認定、外国人受入医療機関認証制度 (JMIP)

日大と人事交流のある科

泌尿器科・神経内科・救急科・乳腺外科・産婦人科・形成外科・呼吸器内科

主な出身大学

東京医科歯科大学、山形大学、東京大学、新潟大学、弘前大学、順天堂大学、東京慈恵会医科大学、日本大学

位置付け

地域医療支援病院、災害拠点病院

実績

救急外来数/日平均(件)：23.5 救急車取扱数/日平均(件)：6.4

患者数/日平均(人)

外来患者数 477.8 入院患者数 346

分娩件数/年(件)

386

臨床病理検討会(CPC)実施状況

剖検数/年(件) 12 CPC開催数/年(回) 6

地域支援型病院として地域との連携を重視した医療を推進しているが、とくに、(1)救急医療(二次救急)、(2)がん医療(呼吸器系・消化器系悪性腫瘍を中心に、血液、泌尿器系、婦人科系悪性腫瘍にも対応)。(3)脳血管疾患(脳神経外科および神経内科が協力して脳卒中ケアユニットを構築)を新たな重点課題として取り組んでいる。その他、都立・公社病院として唯一の緩和ケア病棟を備え、主にごん患者に対する肉体的・精神的苦痛の緩和、患者の家族に対する心理的な支援などを行っている。また、感染症指定医療機関として、新型インフルエンザや各種感染症医療、エイズ医療に取り組んでいる。

初期研修情報

研修プログラム名：豊島病院初期臨床研修プログラム

研修プログラム責任者：副院長 畑 明宏

関連協力施設：

都立広尾病院・都立大塚病院・都立駒込病院・都立墨東病院・都立小児総合医療センター・板橋区医師会・日大板橋病院・(公財)東京都保健医療公社大久保病院

研修科の説明：

内科：呼吸器内科、循環器内科、神経内科、内分泌内科、消化器内科、腎臓内科、感染症内科、血液内科

外科：消化器外科

救急科：当院にて2次救急か墨東病院・広尾病院・日大板橋病院にて3次救急の選択可。

研修の概要と特徴：

医師として人格を涵養し、将来の専門性にかかわらず、医学・医療の果たすべき社会的要請を意識しつつ、日常診療で頻繁に遭遇する、負傷又は疾病に適切に対応できるように、プライマリ・ケアの基本的な診療能力(態度・技能・知識)を身につけるものとする。

研修医の当直：月4回程度

募集内容

募集予定人数	医科6名 歯科1名
処遇 給与(月額)	308,000円
賞与(年額)	あり
諸手当	通勤手当、宿当直手当、特殊勤務手当
社会保険	健康保険、厚生年金、雇用保険
医師賠償責任保険	病院において：なし 個人加入：あり
福利厚生	寮完備：15,000円
研修医宿舎	あり(病院寮)
研修医室	あり

後期専門研修募集情報

内科・精神科・麻酔科の基幹病院です。
詳しくはお問い合わせ下さい。

応募問合せ先

担当者 庶務課庶務係 臨床研修担当

TEL/FAX TEL：03-5375-1234(代) FAX：03-5944-3505

E-mail toshima_kenshuhisho@tokyo-hmt.jp

全国土木建築国民健康保険組合 総合病院厚生中央病院

開設者	全国土木建築国民健康保険組合 理事長 栄畑 潤
病院管理者	院長 河島 尚志
所在地	〒153-8581 東京都目黒区三田 1-11-7
連絡先	TEL : 03-3713-2141 FAX : 03-3713-4963
URL	https://kohseichuo.jp
交通アクセス	JR 恵比寿駅から徒歩 5 分



- 診療科目
- 総合内科
 - 循環器内科
 - 神経内科
 - 消化器病センター(内科・外科)
 - 呼吸器内科
 - 腫瘍内科
 - 呼吸器・乳腺外科
 - リハビリテーション科
 - 整形外科
 - 小児科
 - 産婦人科
 - 眼科
 - 耳鼻咽喉科
 - 皮膚科
 - 泌尿器科
 - 診療放射線科
 - 麻酔科
 - 脳神経外科
 - 精神科

許可病床数(床)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	320					
平均在院日数(日)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	12.1					

臨床研修病院の指定区分 基幹型 協力型

医師数
常勤：79 非常勤：69

専攻医情報等
【基本領域】

	総内	呼内	老年病	循内	消内	小	皮	精	消外	呼外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	救	リ	総
専攻医プログラム認定施設	○	○	○	○	○				○		○	○	○	○	○			○	○	○		
専門医数(人)	4	2	3	5	4	1	1	1	5	1	6	6	1	2	2	2	2	4		2		
専攻医枠(人)	7				2				1		1		1	1		1						

その他施設の認定

日大と人事交流のある科
産婦人科

主な出身大学
東京医科大学、東邦大学、日本大学 他

位置付け
東京都指定二次救急医療機関

実績
救急外来数/日平均(件)：13.3 救急車取扱数/日平均(件)：6.3

患者数/日平均(人)	
外来患者数	466.8
入院患者数	179.2
分娩件数/年(件)	
	206
臨床病理検討会(CPC)実施状況	
剖検数/年(件)	1
CPC開催数/年(回)	2

当院は、平成4年に恵比寿再開発事業と共に現在地に移築され、新たに急性期地域中核病院として生まれ変わりました。

各領域の専門医のもと各科連携と看護師、診療協力部門による緊密なチーム医療による高度先進医療が提供可能な病院機能を有しています。

一方、日本総合健診医学会の優良施設として、疾病の予防・早期発見を担う健康管理センターを併設し、さらに臨床研修指定病院、各診療科の学会認定施設であるとともに、近隣看護学校の臨床実習施設として認定され、医学教育の一翼を担っています。

初期研修情報

研修プログラム名: 厚生中央病院初期臨床研修プログラム

研修プログラム責任者: 秋元 治朗

関連協力施設:

東邦大学医療センター（大森・大橋・佐倉）、東京医科大学病院、東京医科大学八王子医療センター、東京蒲田医療センター、聖マリアンナ医科大学病院、目黒区保健所他診療所・施設 8 か所

研修科の説明:

総合内科: 一人の患者を各専門医が協力相談しながら治療方針を決めている。

循環器内科: 64 列 CT と最先端の画像処理にて立体的 CT 冠動脈造影検査を行い、必要時に速やかに心臓カテーテル治療を行っている。

消化器内科・外科: 消化器病センターを設置し、消化器疾患に関して内科と外科が協力して診療を行っている。

整形外科: 増え続ける人工関節の手術に継続的に責任を持って対応するため、平成 25 年 10 月に人工関節センターを設立した。

産婦人科: 「的確な診断と治療」「親切でわかりやすい説明と信頼関係の確立」を理念に診療にあたっている。

脳神経外科: 脳卒中、頭部外傷、脳腫瘍、機能的外科等の全ての分野を扱っている。

研修の概要と特徴:

内科系研修 7 か月、外科系研修 3 か月、産婦人科研修 1 か月、救急部門研修 3 か月、小児科研修 1 か月、精神科研修 1 か月（東邦大学医療センター大森病院にて）、地域保健医療研修 1 か月を経て、当院や協力病院での希望科研修（7 か月）を選択可能としている。また、初年度 5 月から救急張り付け当番を開始し、救急外来でのファーストタッチを行い、指導医のもとで幅広い臨床経験を早期から積むことができる。

研修医の当直: 月 4 回程度

募集内容

募集予定人数	5 名
処遇 給与（月額）	1 年次：230,000 円 2 年次：230,000 円
賞与（年額）	1 年次：184,000 円 2 年次：230,000 円
諸手当	当直 1 回につき 19,000 円
社会保険	公的医療保険有、公的年金保険有
医師賠償責任保険	病院において：加入しない 個人加入：強制加入
福利厚生	直営保養施設（東京都） 委託休養所（全国のホテル、旅館等と契約） JTB・東武トップツアーズの提携施設利用制度有
研修医宿舎	有
研修医室	有

応募問合せ先

担当者 安田 香久美 **TEL/FAX** TEL：03-3713-2141 FAX：03-3713-4963
E-mail shomu@kohseichuo.jp

医療法人社団 愛友会 上尾中央総合病院

開設者 理事長 中村 康彦
 病院管理者 院長 徳永 英吉
 所在地 〒362-8588 埼玉県上尾市柏座1-10-10
 連絡先 TEL: 048-773-1111 (代表) FAX: 048-773-2952
 URL http://www.ach.or.jp/
 交通アクセス 上尾駅西口より徒歩3分
 上野駅から(高崎線)上尾駅まで: 約35分
 新宿から(湘南新宿ライン)直通上尾駅まで: 約37分
 東京駅から(上野東京ライン)直通: 約41分



- 診療科目
- 内科 循環器内科 消化器内科 脳神経内科 糖尿病内科 膠原病内科 腎臓内科 血液内科 呼吸器内科
 - 呼吸器腫瘍内科 肝臓内科 アレルギー疾患内科 感染症内科 腫瘍内科 緩和ケア内科 心療内科 小児科
 - 産婦人科 外科 整形外科 脳神経外科 心臓血管外科 消化器外科 肝臓外科 乳腺外科 呼吸器外科
 - 気管食道外科 肛門外科 内視鏡外科 小児外科 泌尿器科 女性泌尿器科 耳鼻いんこう科 頭頸部外科 眼科
 - 形成外科 美容外科 皮膚科 麻酔科 救急科 放射線診断科 放射線治療科 病理診断科 臨床検査科
 - リハビリテーション科 歯科口腔外科 総合診療科(院内標榜) 臨床遺伝科(院内標榜)

許可病床数(床)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	724		9			
平均在院日数(日)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	12.6					

臨床研修病院の指定区分 基幹型

医師数

常勤: 280人

専攻医情報等

【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総
専攻医プログラム認定施設	○				○	○			○	○			○						○
専門医数(人)	57	7	1		23	7	4	2	8	10	6	9	10	5	1	7	2	2	2
専攻医枠(人)	6				3	2			3	2			2						2

その他施設の認定

【学会認定/診療の実施】経カテーテル的大動脈弁置換術関連学会協議会 経カテーテル的大動脈弁置換術実施施設、下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実施基準による実施施設、胸部ステントグラフト実施施設、腹部ステントグラフト実施施設、浅大腿動脈ステントグラフト実施施設、ロボット心臓手術実施施設、日本消化器外科学会 学会連携(腹腔鏡下肝切除術)、日本臨床栄養代謝学会 NST 稼働施設、日本栄養療法推進協議会 NST 稼働施設、日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会 エキスパンダー実施施設、日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会 インプラント実施施設、日本形成外科学会 乳房増大エキスパンダー及びインプラント実施施設、日本脊椎脊髄病学会 脊椎板酵素注入療法実施可能施設、日本輸血・細胞治療学会 I & A 認証施設

【学会認定/教育体制】日本内科学会 認定医教育病院、日本循環器学会認定 循環器専門医研修施設、日本消化器病学会 専門医制度認定施設、日本神経学会 専門医制度教育施設、日本糖尿病学会 認定教育施設、日本消化器内視鏡学会 専門医制度指導施設、日本感染症学会 研修施設、日本外科学会 専門医制度修練施設、日本消化器外科学会 専門医修練施設、日本産科婦人科学会 専門医研修連携施設、日本整形外科学会 認定医研修施設、日本脳神経外科学会認定 専門医研修プログラム関連施設、日本口腔外科学会認定 関連研修施設、三学会構成 心臓血管外科専門医認定機構基幹施設、日本泌尿器科学会 専門医教育施設、日本耳鼻咽喉科学会 専門医研修施設、日本眼科学会 専門医制度研修施設、日本形成外科学会 認定施設、日本皮膚科学会認定 専門医研修施設、日本集中治療医学会 専門医研修施設、日本麻酔科学会 麻酔科認定病院、日本心臓血管麻酔学会 心臓血管麻酔専門医認定施設、日本救急医学会 救急科専門医指定施設、日本緩和医療学会認定 研修施設、日本医学放射線学会 放射線科専門医訓練機関、日本核医学会 専門医教育病院、日本病理学会 研修認定施設、日本超音波医学会認定 超音波専門医研修基幹施設、日本不整脈心電学会認定 不整脈専門医研修施設、日本心血管インターベンション治療学会 研修施設(基幹)、日本脈管学会認定 研修指定施設、日本動脈硬化学会 専門医制度教育病院、日本老年医学会 認定施設、日本呼吸器内視鏡学会 関連認定施設、日本呼吸器学会 認定施設、日本アレルギー学会 教育施設(内科)、日本アレルギー学会 準教育施設(小児科)、日本脳卒中学会 研修教育病院、日本脳神経血管内治療学会 専門医制度研修施設、日本頭頸部外科学会認定 頭頸部がん専門医研修施設、日本臨床腫瘍学会認定 研修施設、日本乳癌学会 認定施設、日本肝臓学会 認定施設、日本胆道学会認定 指導医制度指導施設、日本膵臓学会 認定指導施設、日本消化管学会 胃腸科指導施設、日本大腸肛門病学会 認定施設、日本がん治療認定医機構認定 研修施設、日本臨床栄養代謝学会 栄養サポートチーム専門療法士認定規則実地修練認定教育施設、日本臨床細胞学会 認定施設、日本熱傷学会 熱傷専門医認定研修施設、日本透析医学会 専門医制度認定施設、日本腎臓学会 研修施設、日本アフレスシス学会 認定施設、日本急性血液浄化学会認定 指定施設、日本リハビリテーション医学会 研修施設、日本周産期・新生児医学会 研修補完施設(母体・胎児認定)、呼吸器外科専門医合同委員会 研修連携施設

【第三者評価・その他】日本医療機能評価機構 病院機能評価認定(機能種別版評価項目 3rdG: Ver.1.0、主たる機能: 一般病院 2 副機能: リハビリテーション病院 副機能: 緩和ケア病院)、プライバシーマーク付認定施設、人間ドック・健診施設機能評価認定施設、マンモグラフィ検診施設画像認定施設、労働衛生サービス機能評価認定施設、ダビンチ手術症例見学施設(前立腺摘出術、膀胱全摘除術)、ロボット支援下痔頭十二指腸切除術、ロボット支援下腓体尾節切除術、IMPELLA 補助循環用ポンプカテーテル実施設

日大と人事交流のある科

耳鼻咽喉科、脳神経内科、病理診断科、麻酔科、呼吸器内科、脳神経外科

主な出身大学

日本大学、帝京大学、浜松医科大学、群馬大学、東邦大学、埼玉医科大学、北里大学、金沢大学、昭和大学、東京大学

位置付け

二次救急医療機関

実績

救急外来数/日平均(件): 40.6件 救急車取扱数/日平均(件): 20.2件

患者数/日平均(人)

外来患者数 1,490 入院患者数 596.3

分娩件数/年(件)

400

臨床病理検討会(CPC)実施状況

剖検数/年(件) 20 CPC開催数/年(回) 20

当院は1964年12月に11床の上尾市立病院を前身として設立し、これまで地域住民の信頼と支持を得て発展してきました。現在では733床の急性期医療を中心とした総合病院となり、上尾市のみならず埼玉県中央保健医療圏の基幹病院として重要な役割を果たしております。

また、首都圏を中心に28病院を有する上尾中央医科グループの中核として、積極的に医療の質の向上に取り組むと共に、患者本位の医療サービスを提供することを心がけており、日本医療機能評価の認定、プライバシーマーク付与などの第三者評価を受け、高い評価を頂いております。

さらに、2019年1月に災害拠点病院に指定、2020年3月に埼玉DMAT指定病院に指定、2021年4月に地域がん診療連携拠点病院に指定され、より高機能な病院として日々成長を続けています。

初期研修情報

研修プログラム名: 上尾中央総合病院臨床研修プログラム

研修プログラム責任者: 臨床研修センター長 黒沢祥浩

関連協力施設:

埼玉県立精神医療センター 帝京大学医学部附属病院 伊奈病院 帯広徳州会病院 名瀬徳州会病院 徳之島徳州会病院 与論徳州会病院 石垣島徳州会病院 宮古島徳州会病院 気仙沼市立本吉病院 皆野病院 哲西町診療所 金田病院 小豆島中央病院 矢掛町国民健康保険病院 内田病院 市立輪島病院 日高徳州会病院 喜界徳州会病院

研修科の説明:

必修68週(内科系24週、救急科12週、麻酔科8週、外科系8週、小児科4週、産婦人科4週、地域医療4週、精神科4週)

選択36週(呼吸器内科、血液内科、糖尿病内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、腎臓内科、腫瘍内科、総合診療科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心血管外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、産婦人科、耳鼻いんこう科、麻酔科、放射線診断科、臨床検査科、救急科、地域医療)

研修の概要と特徴:

「医師とはこういう職業なのだ」ということを身をもって体験し、それを生涯の財産とすることが出来ます。当院の研修医は地域住民の生命を守る担い手です。彼らの主たる研修科である救急科および夜間当直では、ホットラインの電話を受け、初期診療を行い、さらに上級医へ適切にコンサルトしていく、このすべての場面で研修医が主役です。救急車受入台数は月700~800台で、これらをファーストタッチしていく経験を通じ、医師としての様々な能力を自然に習得することが出来ます。

また、病院全体で研修医を育てています。臨床研修委員会および臨床研修指導者委員会には指導医のみならず、看護師、薬剤師、放射線技師なども委員として名を連ね、研修プログラム全体について、さらに研修医個人個人について話し合い、よりよい研修が遂行できるように工夫を重ねています。

救急科&夜間当直、総合診療科研修、離島・へき地研修を三本の柱としています。さらに外科・麻酔科・産婦人科・小児科・精神科を必修科とし、ハイレベルなプライマリ・ケアの習得が目標です。選択期間は全ての診療科から選択可能で、研修医自身が1年ごとにローテートを決定しています。総合診療科研修では多彩な疾患を有する患者の受け持ちとなり、診療方針に関する意思決定やインフォームド・コンセントまで研修医の役目です。自分自身で考え実行する決断力、医療チームのリーダーとしての行動力やリーダーシップをここで身につけていきます。

離島・へき地研修はときに息抜き場となるでしょう。石垣島や徳之島、あるいは北海道、岡山、そして被災地である気仙沼市の病院での研修が可能です。どの病院にもそれぞれの魅力があり、選択に迷う研修医も少なくありません。少ない医療資源、専門医のいない環境での意思決定など、当院では決して学べない医療の姿を学ぶよいチャンスともなります。

研修医の当直: 月4回程度。当院規定により、当直明けは公休とする。

募集内容

募集予定人数

19名(予定)

処遇 給与(月額)

1年次 400,000円(当直手当等別途支給) 2年次 430,000円(当直手当等別途支給)

諸手当

当直手当: 平日・日祝日 12,000円/回 土曜日 18,000円/回

日勤手当: 日祝日 12,000円/回 年末年始勤務手当: 有

学会手当: 年間8万円を上限として、学会参加費用を支給する。

赴任手当: 引越し費用は上限10万円までを赴任手当として病院が負担します

社会保険

埼玉県医師会健康保険組合・厚生年金・雇用保険・労災保険加入

医師賠償責任保険

病院において: 加入 個人加入: 任意

福利厚生

療養還付金制度あり、AMG保養所(軽井沢、熱海、那須)あり、ベネフィットステーションあり

日産レンタカー法人優待あり

食事: デリバリー弁当1食230円、売店での職員割引、レストラン等での職員割引

研修医宿舎

法人契約とし、5万円を上限とし家賃の半額を保補助

研修医室

研修医毎に机・本棚有

後期専門研修募集情報

新専門制度の基幹施設として内科・外科・耳鼻咽喉科・総合診療科・麻酔科・整形外科・泌尿器科の7つのプログラムがあります。

当院の研修プログラムは地域医療を担う基幹病院としての豊富で多彩な症例を活かし、各科の緊密な連携のもと、具体的に設定した医療上の行動目標、経験目標に基づいて研修することを特徴とし、全人的な医療を適切に行える診療能力(態度・技能・知識)を身につけることを到達目標に専攻医研修を行っています。

見学をご希望の際は、当院ホームページよりお申込みください。

当日は希望科見学の他、プログラム説明や待遇説明、在籍中の専攻医(後期臨床研修医)とも関わっていただけるように準備してお待ちしております。

応募問合せ先

担当者 人事課 秘書係(臨床研修担当)

TEL/FAX TEL: 048-773-1111 (PHS: 8761・内線: 7321) FAX: 048-773-2952

E-mail ishi_jinj@ach.or.jp

日本私立学校振興・共済事業団東京臨海病院

開設者	日本私立学校振興・共済事業団 理事長 清家 篤
病院管理者	病院長 白杵 二郎
所在地	〒134-0086 東京都江戸川区臨海町 1-4-2
連絡先	TEL : 03-5605-8811
URL	http://www.tokyorinkai.jp/
交通アクセス	東京メトロ東西線「西葛西駅」より臨海町二丁目地行きバス 10分 「東京臨海病院前」下車 東京メトロ東西線「葛西駅」より東京臨海病院行き直通バス 12分 JR 京葉線「葛西臨海公園駅」より徒歩 20分



診療科目	内科	神経内科	呼吸器内科	消化器内科	循環器内科	腎臓内科	精神科	小児科	外科
	乳腺外科	整形外科	形成外科	脳神経外科	心臓血管外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科
	耳鼻いんこう科	放射線科	麻酔科	救急科	緩和ケア内科	リウマチ科	糖尿病内科	腎臓内科	放射線治療科
	病理診断科	呼吸器外科	リハビリテーション科						

許可病床数(床)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	400					
平均在院日数(日)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	11					

臨床研修病院の指定区分 基幹型

医師数

常勤：102名

専攻医情報等

【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総
専攻医プログラム認定施設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		
専門医数(人)	6	8	2	1	8	4	3	1	1	3	2	2	3	1		3	1		
専攻医枠(人)	3																		

その他施設の認定

日大と人事交流のある科

循環器内科、心臓血管外科

主な出身大学

日本大学、順天堂大学、東京医科大学、日本医科大学 他

位置付け

二次救急医療機関

実績

救急外来数/日平均(件)：21.5 救急車取扱数/日平均(件)：9.1

患者数/日平均(人)

外来患者数 695.3 入院患者数 255.6

分娩件数/年(件)

204

臨床病理検討会(CPC)実施状況

剖検数/年(件) 11 CPC開催数/年(回) 5

東京臨海病院は平成14年4月にオープンした病床数400床の総合病院です。設立母体は日本私立学校振興・共済事業団であり、私学共済加入者等の診療に加え、江戸川区や周辺地域の中核病院として診療を行っています。当院の特徴は、診療科によって様々な大学病院から医師が集まりながら、診療科間の隔たりがなく、コメディカルも含めて良好な連携がとれることと、指導医の人数が多いことです。最新の医療機器や電子カルテの効果もあり、迅速な診断・連携・治療ができます。症例数も多く、研修医の皆さんにやる気さえあれば、多くの経験を積むことができます。将来専門とする分野にかかわらず、基本的な診断能力を身につけることができる研修病院です。忙しくても多くの症例・手技を経験して、実践力をつけたいと考える積極的な研修医を募集します。

初期研修情報

研修プログラム名：東京臨海病院初期臨床研修プログラム

研修プログラム責任者：阿部 澄乃（皮膚科部長：研修管理委員長）

関連協力施設：江戸川区保健所（地域）、江戸川区医師会会員の診療所

研修科の説明：

●**循環器内科**：内科の中では最も外科に近い循環器内科です。冠動脈疾患に対する冠動脈インターベンション、不整脈に対するカテーテルアブレーション、低心拍出状態に対するPCPS等々沢山の手術を実際に行い、身に付けられます。●**消化器内科**：上部消化管内視鏡検査、超音波検査は十分な見学後に実際に行うことが可能です。2年目研修で選択した場合には、連日内視鏡検査を指導いたします。大学病院では無理です。●**呼吸器内科**：気管支喘息発作やARDSなどの急性期医療から肺癌の緩和治療まで幅広い呼吸器疾患を経験することが出来ます。また呼吸器外科との連携も良好で外科的な手術も習得できます。●**呼吸器外科**：呼吸器外科一般（肺癌、縦隔腫瘍などの腫瘍性疾患や気胸、膿胸などの非腫瘍性疾患）の手術を行っています。胸腔ドレーナージや、気管切開などの基本的な手術を経験できます。日本医大と連携し専門医資格取得も可能です。●**神経内科**：脳卒中、神経変性疾患、髄膜炎、てんかんなど代表的な神経疾患から認知症、めまい、頭痛まで多彩な症例を経験できます。神経学的診察法や腰椎穿刺、神経生理検査、神経筋生検、神経系の画像診断を全て習得できます。●**緩和ケア内科**：緩和ケアは、患者、家族の身体的、精神的苦痛を緩和しQOLを上げるための医療です。当院では、緩和ケア認定看護師、臨床心理士、医療相談員を含む職種チームで緩和ケアを行っています。●**メンタルクリニック**：精神医学一般の基礎知識の習得が可能で、緩和ケアを含む相談連携精神科治療の実践を積極的にを行い、小児児童思春期精神医学の症例も多く、産業精神保健学等の研究等も可能です。●**小児科**：成長発達段階にある子どもの身体と心の全体像を把握し、疾患だけではなく患者とその家族をみる全人的医療の実践が目標です。上級医による個別指導体制で短期間でも有意義な研修体験が得られます。●**外科**：消化器・乳腺・一般外科の手術・処置・検査などを助手や術者としてたくさん経験することで、外科の基礎を習得してもらいます。また学術的な教育のために、学会などへ症例報告を行ってもらいます。●**救急科**：3名の救急専門医と2名の救急指導医が在籍しており、救急での研修期間は救急専門医の申請においてキャリアとして認められます。外傷学会専門医もおり全身の外傷疾患の対処法も体系的に学ぶことが可能である。●**整形外科**：整形外科全般的な疾患の治療を経験してもらうとともに、急性外傷の処置（創処置や脱臼の整復など）を指導します。骨折手術の執刀医としての場も準備しています。●**形成外科**：形成外科における対象疾患～外傷まで地域の病院として幅広い診療をしています。将来は他科を選択される方でも、形成外科的な縫合や手術を学ぶことが出来ます。皮膚科との連携もばっちりです！●**脳神経外科**：小児から老人まで、脳外科疾患を一通り診ることができるよう、指導します。general neurosurgeonを目指してみませんか？●**心臓血管外科**：心臓血管外科は、敷居が高い？いいえ、人間には体中に血管が存在します。血管を扱う技術は当科の研修でのみ身につきます。将来の専門性に関わらず、診断・治療に必要な基本的な手術を身につけておけば絶対役に立ちます。●**皮膚科**：湿疹、にきび、水虫、帯状疱疹など日常よく見られる皮膚疾患を経験し、記載法や検査、治療を行います。特に各種外用剤の基本的な使い方を見えられます。褥瘡処置も経験できます。●**泌尿器科**：将来どの科を専門にしても必ず遭遇する泌尿器科救急3大疾患：急性膀胱炎・尿管結石・尿管閉（尿道留置カテーテル挿入）は、必ず実習してもらいます。何でも体験・実習できる泌尿器科での研修をぜひお勧めします。●**産婦人科**：来たれ！『河合塾』河合塾では"完全無血主義"を貫き、どうしたら少ない出血量でパーフェクトな手術をすることが出来るかを徹底指導しています。また、社会人として、医師としてあるべき姿を塾生が身を以て示しています。●**眼科**：眼科の一般的な診察を経験できます。手術は白内障を中心に行っていますが、助手だけでなく一部執刀を行うことも可能です。糖尿病症例も豊富ですので内科志望の先生にも一度体験をお勧めします。●**耳鼻咽喉科**：耳鼻咽喉科、頭頸部外科の一般的な疾患の診療が経験できます。上気道、耳内の所見がとれるようになることは内科系、小児科志望の先生にも必ず役に立ちます。●**放射線科**：放射線治療・各種画像診断・血管系IVRを担当いたします。病理と共同の初期研修プログラムを実施しています。画像と病理の対比はおもしろいです。肝動脈閉塞術などのIVR手術も研修できます。●**麻酔科（ペインクリニック）**：手術中麻酔管理（循環呼吸管理、疼痛管理）をととし、術前評価や管理、さらには術後疼痛管理や集中治療管理を学ぶことが出来ます。また、緊急手術対応から緊急処置、緊急薬の使用法などを学ぶことができます。●**病理診断科**：画像診断を行った症例（志望診療科の手術材料）の切り出し、鏡検と病理診断報告書の作成を行います。画像と病理を対比させることにより、病変の立体的な理解を深めます。

研修の概要と特徴：

プライマリ・ケアの基本的能力充実のため1年目に内科（6ヶ月）、外科（2ヶ月）、救急科（2ヶ月+1ヶ月（当直業務））、2年目に小児科（1ヶ月）、産婦人科（1ヶ月）、精神科（1ヶ月）、地域医療（1ヶ月）の各必修科目の研修を行う。また、基本能力に追加する形で、1年目に2ヶ月、2年目に8ヶ月選択研修を行うことで幅広くかつ多様な研修ができる。

研修医の当直：月平均4回（1年次 10,000円/回、2年次 12,000円/回） 当直医数5名+研修医2名（1年次 1名、2年次 1名）

募集内容

募集予定人数	8名
処遇	給与（月額） 賞与（年額） 無
諸手当	その他当直手当あり
社会保険	有
医師賠償責任保険	病院において：有 個人加入：推奨
福利厚生	私学事業団では、病院以外にホテルや保養所の運営も行っています。それらを加入者料金で利用できるほか、契約している宿泊施設、フィットネスクラブ、東京ディズニーリゾートなどのレジャー施設の利用補助や、百貨店、専門店などの利用割引を受けられます。また、健康保持・増進のための講座や教室の開設、社会見学ツアー、スポーツ大会など実施しています。

研修医宿舍
研修医室

院内には福利厚生として「親和会」があり、1、2年に1回程度、ホテルで懇親会を開催。野球やバスケットボールなどのサークル活動があります。
※私学事業団は、私立学校教育の充実及び向上、経営の安定、並びに私立学校教職員の福利厚生を図るために設立された公的な団体です。私立学校教職員共済法の規定による共済制度も運営しており、全国に約50万人の加入者がいます。
有（敷地内マンション形式、全個室、冷暖房完備、駐車場有料）
有（各自私有、共用の電子カルテ用のパソコン有、Wi-Fi環境有）

応募問合せ先

担当者 事務部総務課 小宮・大肚

TEL/FAX TEL：03-5605-8811

FAX：03-5605-8113

E-mail rinkai.kensyu@tokyorinkai.jp

専攻医募集情報

当院を専門医（認定医）の教育施設として認定している学会

【基本領域学会】

日本内科学会、日本循環器学会、日本不整脈学会、日本小児科学会、日本皮膚科学会、日本外科学会、日本整形外科学会、日本産婦人科学会、日本眼科学会、日本耳鼻咽喉科学会、日本泌尿器科学会、日本脳神経外科学会（関連施設）、日本医学放射線学会、日本形成外科学会、日本麻酔科学会、日本理化学会

【サブスペシャル領域の学会】

日本循環器学会、日本内分泌学会、日本神経学会、日本アレルギー学会、日本感染症学会、日本肝臓学会

★循環器内科 専攻医募集

当科は、日本循環器学会専門医研修施設として登録されており、臨床研修後には、循環器専門医の受験資格を取得することができます。当院は東京都CCUネットワークに参画しており、東京都民の心臓血管救急の一翼を担っております。心筋梗塞を始めあらゆる心臓救急に対応できること、特に心臓血管インターベンションは独立して完結できることを、研修の最終目標にしています。さらに、日本不整脈学会専門医研修施設としても登録されており、不整脈専門医の受験資格を取得することができます。埋め込型除細動器、心臓補助器療法施設の施設基準を満たし、CARTO3を用いて難治性不整脈に対する心筋焼灼術を施行しており、研修終了時にはい

れも術者として行えることを目標としております。また当院には、日本超音波学会代議員（循環器領域専門）を筆頭に、循環器専門の超音波検査士が4名勤務しており、専門的な研修が可能です。心臓血管外科との連携も緊密で、毎週カンファレンスを行っており、手術の見学あるいは介助も随時行えます。研修終了時には、スタッフとして当院に就職も可能です。

★麻酔科 専攻医募集

当院は、日本麻酔科学会認定病院として登録されており、2年間の臨床研修後は麻酔科標榜医および麻酔科認定医を取得することができます。希望すればさらに2年間の研修の後、麻酔科専門医の受験資格を得ることもできます。症例は多岐に富んでおり、様々な症例の麻酔に精通することも可能です。現在麻酔科は、常勤医5名、非常勤医1名体制で、常勤医の中には麻酔科指導医が3名おり、指導体制も充実しております。また、ペインクリニックや緩和医療にも関わり、手術中の麻酔だけではなく見も得ることが出来ます。日本医科大学麻酔科とも連携しており、集中治療や重症患者の管理も学ぶことができます。

★専攻医について★

応募条件 初期臨床研修修了あるいは修了予定の者

募集人数 数名

身分 職員に準じて待遇する

研修期間 3～4年

応募問合せ先

担当者 総務課 小宮・大肚

TEL/FAX TEL：03-5605-8811

FAX：03-5605-8113

E-mail rinkai.kensyu@tokyorinkai.jp

武蔵野総合病院

開設者	澤 雅之
病院管理者	澤 雅之
所在地	〒350-1167 埼玉県川越市大袋新田 977-9
連絡先	TEL : 049-244-6340
URL	http://www.musashino-hp.or.jp
交通アクセス	西武新宿線「南大塚駅」徒歩 10 分 関越自動車道「川越インター」降り、国道 16 号狭山市方面へ 10 分



- 診療科目
- 内科
 - 神経内科
 - 呼吸器科
 - 消化器科
 - 循環器内科
 - 外科
 - 整形外科
 - 形成外科
 - 脳神経外科
 - 心臓血管外科
 - 泌尿器科
 - こう門科
 - リハビリテーション科
 - 麻酔科
 - 放射線科
 - 血管外科

許可病床数 (床)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	153				32	
平均在院日数 (日)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他

臨床研修病院の指定区分 協力型

医師数
常勤：11名 非常勤：57名

専攻医情報等
【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総
専攻医プログラム認定施設					○	○							○						
専門医数 (人)	2				4	2					1		1						
専攻医枠 (人)																			

その他施設の認定

日大と人事交流のある科
呼吸器外科、心臓外科、総合科 (外科)

主な出身大学
日本大学医学部、埼玉医科大学、日本医科大学

位置付け
二次救急医療機関

実績
救急外来数/日平均 (件) : 2.73 救急車取扱数/日平均 (件) : 2.74

患者数/日平均 (人)	
外来患者数	258
入院患者数	142.6

分娩件数/年 (件)

臨床病理検討会 (CPC) 実施状況	
剖検数/年 (件)	CPC開催数/年 (回)



開院 50 周年を迎えた地域密着型の病院で、内科、外科、脳外、整形の外来や手術を中心とした診療を行っています。関越道川越インターより 10 分、国道 16 号線沿いにあるレンガ作りの病院で、「医療の提供を通じて病院を利用される全ての人々、そして病院で働く全ての人々の幸せに尽くします」の病院理念のもと職員一丸となって地域医療に尽くしています。

初期研修情報

研修プログラム名：武蔵野総合病院初期研修プログラム

研修プログラム責任者：朽名 直子

関連協力施設：日本大学板橋病院、埼玉医科大学総合医療センター

研修科の説明：

内 科：あらゆる内科疾患に対応している。

外 科：年間210件の手術件数があり、胃癌、大腸癌は腹腔鏡下手術で対応している。

整形外科：年間330件の手術を行う。

脳外科：年間40件以上の手術を行う。硬膜外血腫穿孔洗浄術、頭蓋内血腫除去術等

研修の概要と特徴：

①地域医療を支える中核病院の機能と役割や地域におけるプライマリーケアの在り方を理解する。

②高齢化社会における地域医療の正しい認識を理解し、患者、家族とのコミュニケーションのあり方を学ぶ。

研修医の当直：任意

募集内容

募集予定人数	1クール 2名（年間10名程度）
処 遇	基幹病院負担分
給与（月額）	基幹病院負担分
賞与（年額）	基幹病院負担分
医師賠償責任保険	病院において加入 個人加入：推奨
福利厚生	食事：職員食堂 385/1食 当直時：夕食、翌朝食は病院で支給
研修医宿舎	職員寮有（30,000/月）
研修医室	医局共有、個人ロッカー有

後期専門研修募集情報

○医師募集情報 / 内科医、外科医、整形外科医、脳外科医

1) 当院の理念は「医療の提供を通じて病院を利用される全ての人々、そして病院で働く全ての人々の幸せにつくす」であり、病院目標は「地域支援病院としての機能と医療体制のさらなる充実を図り、地域の中核病院を目指す」です。その為の基本方針は1. 患者の満足と開かれた医療2. 医療の質と安全の向上3. 恋率的で正確な業務プロセス4. 人材育成と確保であります。急性期病院を標榜しておりプライマリーから2.5次位までの医学知識と技能が必要であり各科共に多忙な日々を送っている。

2) 専門医取得に関して地域密着型急性期病院なので大学病院などでは少なくなった虫垂炎、ヘルニア陥頓、消化管出血など、外科疾患としては基本を早期に経験できる。更に専門医施設関係では日本外科学会専門医関連施設、日本脳神経外科専門医認定制度指定訓練場所、整形外科専門医研修施設の認定を受けている。特に外科関連では日本大学医学部の関連施設であり、外科学会専門医の取得に関しては心臓血管外科、呼吸器外科などの症例も経験可能であり有利である。

3) 募集内容

募集予定人員	：若干名
給与（初任給）	：650,000円
賞与（年間）	：1,200,000円
諸手当	：当直手当40,000円、オンコール20,000円
社会保険	：厚生年金基金、厚生年金、健康保険
医師賠償保険	：病院にて加入

4) その他

出産、育児による休職中の女性医師の再就職も積極的に受け入れています。

応募問合せ先

担当者 総務課 秋元 芳幸

TEL/FAX TEL：049-244-6340

FAX：049-244-6320

E-mail

akimoto@musashino-hp.or.jp

豊島中央病院

開設者	医療法人社団 偕翔会
病院管理者	大崎 憲
所在地	〒170-0012 東京都豊島区上池袋 2-42-21
連絡先	TEL : 03-3916-7211
URL	https://www.toshima-chuo-hospital.jp
交通アクセス	JR・地下鉄・私鉄「池袋駅東口」から 徒歩 13分 東武東上線「北池袋駅」から 徒歩 7分 都バス「上池袋一丁目」下車 徒歩 3分



診療科目 **内科** **外科** **血管外科** **整形外科** **人工透析内科** **腎臓内科** **糖尿病内科** **循環器科** **消化器科**
血液透析外来 **CAPD外来** **シャント外来**

許可病床数(床)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	60					
平均在院日数(日)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	72.4					

臨床研修病院の指定区分

医師情報

医師数
常勤：3名 非常勤：20名

専攻医情報等
【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総
専攻医プログラム認定施設																			
専門医数(人)																			
専攻医枠(人)																			

その他施設の認定

日大と人事交流のある科
腎臓・高血圧・内分泌内科

主な出身大学
帝京大学、東京女子医科大学、神戸大学

救急医療

位置付け
救急指定

実績
救急外来数/日平均(件)：0.2 救急車取扱数/日平均(件)：0.2

患者数/日平均(人)			
外来患者数	105.1	入院患者数	59
分娩件数/年(件)			

臨床病理検討会(CPC)実施状況	
剖検数/年(件)	CPC開催数/年(回)

豊島中央病院は50年の歴史のある病院です。豊島中央病院は透析治療を中心とし、糖尿病内科、血管外科、消化器等の合併症対策に取り組んでおります。透析医療に加えて、地域に密着した一般病院として、疾病構造の変化、医療の進歩、社会資源の変化に対応しながら、質のいい医療の提供を心がけていきたいと考えています。

医療理念

1. 総合的な医療をめざす。
2. 真に患者のための医療をめざす。
3. 医療従事者の働きがいのある法人運営をめざす。

後期専門研修募集情報

当院の腎臓内科では腎臓という臓器の観点から全身をみることのできる医師になっていただきたいと考えています。すなわち、慢性腎炎・ネフローゼ症候群などの腎疾患、糖尿病・膠原病に伴う腎疾患、電解質異常、血液透析・腹膜透析の腎不全の代替療法の導入、維持透析患者の循環器系、消化器系など合併症のプライマリー、血漿交換などの血液浄化療法など、本当に様々な領域についての確かな知識の習得と経験を積み重ねるという研修ができます。さらに慢性疾患の患者を診療していく上で、看護師、管理栄養士、薬剤師、MSW 等との密接な連携が重要であり、チーム医療の研修をして頂きます。

施設認定

日本透析医学会教育関連施設

研修内容

予 定

- 1年目：経験 内科全般の研修、学会発表
手技 腎エコー、CV挿入、透析用カテーテル挿入
- 2年目：経験 臨床に携わりながら、知識の確認、学会発表
手技 エコー下腎生検、内シャント造設術、腹膜透析カテーテル挿入術
- 3年目 経験 臨床研究、学会発表

腎臓疾患を扱う病院としてはもちろん、地域の「かかりつけ病院」として、地域医療に貢献していきます。
「かかりつけの入院施設のある病院」としても、医師体制の充実をはかるため、常勤、非常勤の医師を募集します。

診療にかかわるすべてのメディカルスタッフが、それぞれの役割を担い、かつ連携して診療のサポートを行っている病院です。
「仕事は仕事」「プライベートはプライベート」とメリハリのある勤務体制を構築しています。

勤 務

時 間：月～土 8：45～17：15

休 日：日祝日、有休休暇

学会参加補助：あり

募集診療科：腎臓内科・人工透析科

応募問合せ先

担当者 事務長 山下 TEL/FAX TEL：03-3916-7211 FAX：03-3916-7460
E-mail hyamashita@kaishou.or.jp

医療法人社団 苑田会 苑田第三病院

開設者	医療法人社団苑田会 理事長 苑田一郎
病院管理者	院長 星野雅洋
所在地	〒121-0807 東京都足立区伊興本町 2-5-10
連絡先	03-5837-5111
URL	http://www.sonodakai.or.jp/so3/
交通アクセス	東武スカイツリーライン（日比谷線乗り入れ） 竹の塚駅西口より徒歩7分 http://www.sonodakai.or.jp/so3/access.html



診療科目 **内科** **循環器内科** **呼吸器内科** **消化器内科** **外科** **整形外科** **脳神経外科** **心臓血管外科** **小児科**
泌尿器科 **麻酔科** **リハビリテーション科** **放射線科**

許可病床数(床)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	117					
平均在院日数(日)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	21					

臨床研修病院の指定区分 基幹型

医師数
常勤：7名 非常勤：

専攻医情報等
【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総
専攻医プログラム認定施設																			
専門医数(人)	2				4								1						
専攻医枠(人)																			

その他施設の認定
日本整形外科学会専門医制度研修施設、日本麻酔科学会麻酔科認定病院

日大と人事交流のある科
整形外科

主な出身大学
日本大学

位置付け
救急告知病院

実績
救急外来数/日平均(件)：8 救急車取扱数/日平均(件)：0.6

患者数/日平均(人)			
外来患者数	145	入院患者数	92

分娩件数/年(件)	

臨床病理検討会(CPC)実施状況	
剖検数/年(件)	CPC開催数/年(回)

許可病床117床(3階58床、4階59床)の整形(脊椎・脊髄)中心の病院です。
令和2年4月より回復期リハビリテーション病棟(4階59床)をはじめました。回復期リハビリテーションは脳血管疾患、運動器、心臓血管リハを行っております。

医師募集情報

募集する診療科：	内科・脳神経内科・リハビリテーション医・整形外科
募集する人数：	内科 2 名、整形外科 1 名
医師について特に希望する要件：	当院は苑田第一病院の後方病院としても機能していますので、専門疾患以外の診療も診ていただける医師
給与と福利厚生：	基本的には全て含まれます。
処遇 給与（月額）：	160 万 キャリア、専門により異なる
賞与（年額）：	給与に含む
諸手当：	あり
社会保険：	あり

応募問合せ先

担当者 宮野 久美子 TEL/FAX TEL : 03-5837-5111 FAX : 03-5837-5115
E-mail miyano@sonodakai.or.jp

医療法人財団 健貢会 総合東京病院

開設者	医療法人財団健貢会
病院管理者	理事長 渡邊 貞義
所在地	〒165-8906 東京都中野区江古田 3-15-2
連絡先	TEL : 03-3387-5421
URL	https://www.tokyo-hospital.com
交通アクセス	電車 西武新宿線 沼袋駅下車 徒歩 10分、地下鉄 都営大江戸線 新江古田駅下車 徒歩 10分 バス 中野駅北口 関東バス①乗場「中25 練馬駅」行「総合東京病院（下徳田橋）」下車 / 徒歩 0分 練馬駅北口 関東バス②乗場「中25 中野駅」行「総合東京病院（下徳田橋）」下車 / 徒歩 0分



診療科目	内科	循環器内科	消化器内科	呼吸器内科	精神科	脳神経外科	神経内科	もの忘れ外来	外科・消化器外科
	大腸・肛門科	泌尿器科	血管外科	整形外科	形成外科・美容外科	皮膚科	眼科	耳鼻咽喉科	
	歯科口腔外科	麻酔科	リハビリテーション科	放射線科・放射線診断科	産婦人科	小児科	心臓血管外科		
	呼吸器外科	放射線治療科	救急科	糖尿病・代謝内科	総合診療科				

許可病床数（床）	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	451	—	—	—	—	—
平均在院日数（日）	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	13	—	—	—	—	—

臨床研修病院の指定区分

医師情報

医師数
常勤：91名 非常勤：86名

専攻医情報等
【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総
専攻医プログラム認定施設	○																○		○
専門医数（人）	24				8	4	2	2	1	1	11	2	3			3	2	5	1
専攻医枠（人）	2				1	1											1		

その他施設の認定

日大と人事交流のある科
整形外科、内科、放射線診断科、麻酔科

主な出身大学
日本大学、慶応義塾大学、藤田医科大学 他

救急医療

位置付け
2次救急

実績
救急外来数／日平均（件）：18 救急車取扱数／日平均（件）：15

患者数／日平均（人）			
外来患者数	700	入院患者数	430
分娩件数／年（件）			
0			

当院は、救急医療・急性期医療の提供体制を更に充実させ、地域の中核的急性期医療機関として、また、一般病床と回復期リハビリ病棟を兼ね備えた稀有な医療機関として、小児から高齢者まで一貫貫したサービスを提供することで、今後も地域に貢献してまいります。

臨床病理検討会（CPC）実施状況			
剖検数／年（件）	2	CPC開催数／年（回）	1

初期研修情報

研修プログラム名：初期臨床研修プログラム

関連協力施設：

「医療法人財団 健真会 総合東京病院」「社会福祉法人 聖母会 聖母病院」「立正佼成会 佼成病院」「公益財団法人 附属 晴和病院」
「国立研究開発法人 国立国際医療研究センター」「東京都立松沢病院」「医療法人財団 三成会 新百合ヶ丘総合病院」

研修の概要と特徴：

自由選択科は、研修医の希望により自由に選択する。

研修医の当直：

回数：当直（約3回/月）

研修1年目の当初6ヶ月は当該科指導医について見習い当直をする。

その後1年目後半より2年目は副当直として月約3回程度割り当てられる。

研修2年目：週1回程度の日当直体制（指導医監修の基での主当直とし、指導医が副当直となる）

募集内容

募集予定人数	6名
処遇 給与（月額）	30万（税込）
賞与（年額）	60万
諸手当	当日直料：別途支給
社会保険	公的医療保険：東京都医業健康保険 公的年金保険：厚生年金 労働者災害補償保険法の適用：有 国家・地方公務員災害補償法の適用：無、雇用保険：有
医師賠償責任保険	病院において：有 個人加入：なし
研修医宿舎	無し。（住宅手当 7万/月）
研修医室	なし

後期専門研修募集情報

2023年度後期研修医（内科、脳神経外科、形成外科、リハビリテーション科、麻酔科）

後期研修医の特徴について

当院は開院以来、救急医療（特に外科系）を中心に力を注いで参りました。

現在、医師数も約80名を越え、救急車搬送件数も451床の病院ながらも年間5,700台を超える搬送があり、手術件数も増加し、症例も増えております。

また、平成28年度から当院は東京都からの増床許可に伴い、451床の病院へ新棟開設を含め規模を拡張致しました。

このことに伴い、手術室・病床を含めた新棟を建築し新たな体制で患者へのサービスを行ってまいります。

後期研修医として新たな環境・診療体制の中で、それぞれの分野で専門医の養成が行われます。

各養成コースとも、医師としての総合的診療能力を身につけ、その後専攻診療科での本格的専門領域を行い、3～6年（各科の専門医コースにより異なる）間で専門医を取得することになります。

後期臨床研修医募集について

2023年度後期研修医（脳神経外科、形成外科、リハビリテーション科、麻酔科、内科）を随時受付致します。

見学は随時うけつけますので下記担当者まで電子メール又はお電話にてご連絡下さい。

選考は日程調整のうえ随時行います。（定員に達した診療科は応募終了する場合がございます。）

なお年度内でも中途採用することも可能です。希望者は担当までお問い合わせ下さい。

応募問合せ先

担当者 安齋・高藤 TEL/FAX TEL：03-3387-5421 FAX：03-3387-5659
E-mail tokyo-hp.kensyu@mt.strins.or.jp

国立病院機構 埼玉病院

開設者	独立行政法人国立病院機構 理事長 楠岡 英雄
病院管理者	院長 原 彰男
所在地	〒351-0102 埼玉県和光市諏訪 2-1
連絡先	048-462-1101
URL	http://saitama-hospital.jp/
交通アクセス	成増駅南口から東武バス乗り換え（②番）「南大和」行き乗車「埼玉病院入口」下車 大泉学園駅北口から西武バス乗り換え（②番）「成増駅南口」行き乗車「埼玉病院入口」下車



- 診療科目
- 総合診療科 内科 精神科 脳神経内科 呼吸器内科 消化器内科 循環器内科 小児科 緩和ケア内科
 - 腫瘍内科 外科 整形外科 形成外科 脳神経外科 呼吸器外科 心臓血管外科 皮膚科 泌尿器科
 - 産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 リハビリテーション科 放射線科 麻酔科 消化器外科 乳腺外科
 - 小児外科 内視鏡内科 内視鏡外科 救急科 病理診断科 歯科口腔外科 血液・膠原病内科

許可病床数（床）	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	550					
平均在院日数（日）	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	12.9					

臨床研修病院の指定区分 基幹型

医師数

常勤：170名 非常勤：37名

専攻医情報等

【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総
専攻医プログラム認定施設	○	○			○		○						○			○		○	○
専門医数（人）	21	13			16		13						14			3		3	13
専攻医枠（人）	7	3			3		4						2			3		6	2

その他施設の認定

日大と人事交流のある科

脳神経外科、呼吸器内科、耳鼻咽喉科、脳神経内科、救急科、血液・膠原病内科、腎臓・高血圧・内分泌内科、糖尿病・代謝内科

主な出身大学

日本大学、慶應義塾大学 他

位置付け

二次救急医療機関、三次救急医療機関（R3.5.1より）、地域災害拠点病院

実績

救急外来数／日平均（件）：38.5 救急車取扱数／日平均（件）：14.3

患者数／日平均（人）

外来患者数 1,193.9 入院患者数 423.3

分娩件数／年（件）

702

臨床病理検討会（CPC）実施状況

剖検数／年（件） 8 CPC開催数／年（回） 6

当院は地域に根ざした中核病院として、国や埼玉県より地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、循環器病基幹医療施設、肝疾患診療地区拠点病院として指定を受けています。また2015年10月より地域周産期母子医療センターに指定され、小児・周産期医療も推進しています。そして更なる機能向上のため、2018年11月に新館200床を開棟しました。2021年には救命救急センターに指定されました。現在職員一丸となって質の高い医療を行っております。

当院では、研修医を病院全体で育てるという雰囲気です。院長はじめ病院幹部からコメディカルまで研修医教育に関わっています。オリエンテーションでは社会人としての心得を身につけて頂きます。2年間の研修を通して全科当直を週1回のペースでこなしていきます。2年目になると患者さんからの電話対応も行い、救急外来のマネージメントについても学びます。学会発表や論文投稿も指導しています。当院で2年の研修を修了すれば、自信を持って3年目に望むことができるでしょう。われわれの仲間になって一緒に頑張りませんか？やる気のある皆さんをお待ちしております。

最新情報はTwitterで発信しています。
https://twitter.com/NHO_SaitamaHosp



初期研修情報

研修プログラム名: 基本コース、小児科コース、産婦人科コース、外科コース

研修プログラム責任者: 基本コース: 副院長、小児・周産期母子センター部長 上牧勇、小児科コース: 小児科医長 仲澤麻紀
産婦人科コース: 産婦人科部長 倉橋崇、外科コース: 外科部長 早津成夫

関連協力施設: 慶應義塾大学

研修科の説明:

基本コース: 必修科目として内科系 32 週、救急科 6 週、産婦人科、外科、小児科、地域医療、精神科、外来研修各 4 週、麻酔科 6 週を必修とする。1 年目は、主に内科系診療科で研修を行う。救急研修では、救急科に所属する 6 週間の研修以外に月 4～5 回の全科当直を行い、継続的にトレーニングを行う。2 年目に 4 週間の地域医療研修を診療所等で実施し、40 週間を研修医自身が希望する選択科目に充てる。内科系、救急科、麻酔科については、1 年目に研修することを基本とする。また、全科共通の臨床医として当然身につけておくべき医療の基本を共通プログラムとして研修する。

小児科コース: 必修科目として小児科 22 週、内科系 25 週、救急科、麻酔科、産婦人科を各 6 週、外科、地域医療、精神科、外来研修各 4 週を必修とする。救急については、救急外来での 6 週間の研修及びオリエンテーション後 2 年間の日当直 (月 4 回として、96 回～104 回で 3 か月間に相当) で研修する。2 年目は 4 週間の地域医療研修を診療所等で実施し、27 週間を研修医自身が希望する選択科目に充てる。研修は小児科から開始する。全科共通の臨床医として当然身につけておくべき医療の基本を、共通プログラムとして研修する。

産婦人科コース: 必修科目として産婦人科 22 週、内科系 25 週、救急科、麻酔科、小児科を各 6 週、外科、地域医療、精神科、外来研修各 4 週を必修とする。救急については、救急外来での 6 週間の研修及びオリエンテーション後 2 年間の日当直 (月 4 回として、96 回～104 回で 3 か月間に相当) で研修する。2 年目は 4 週間の地域医療研修を診療所等で実施し、27 週間を研修医自身が希望する選択科目に充てる。研修は産婦人科から開始する。全科共通の臨床医として当然身につけておくべき医療の基本を、共通プログラムとして研修する。

外科コース: 必修科目として外科 16 週、内科系 25 週、救急科、麻酔科を 6 週、産婦人科、小児科、地域医療、精神科、外来研修各 4 週を必修とする。さらに、外科専門医取得に必要な経験症例を確保するため、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科各 6 週を必修とする。

救急については、救急外来での 6 週間の研修及びオリエンテーション後 2 年間の日当直 (月 4 回として、96 回～104 回で 3 か月間に相当) で研修する。

2 年目は 4 週間の地域医療研修を診療所等で実施。17 週間を研修医自身が希望する選択科目に充てるが、特に外科診療に有用と思われる形成外科、泌尿器科、放射線科、病理等を選択することを推奨する。研修は外科から開始する。全科共通の臨床医として当然身につけておくべき医療の基本を、共通プログラムとして研修する。

研修の概要と特徴:

2 年間を通じて全科当直を行うことにより、初期対応の力を養い、救急外来のマネジメントを学ぶことができる。

研修医の当直: 宿直 4 回程度/月、日直 1 回程度/月

募集内容

募集予定人数	基本コース: 12 人、小児科コース: 2 人、産婦人科コース: 2 人、外科コース: 2 人
処遇 給与 (月額)	基本給月額 1 年目 296,900 円 年間見込 490～579 万円 (宿日直 + 諸手当含) 2 年目 345,600 円 年間見込 530～654 万円 (宿日直 + 諸手当含) 超過勤務手当を含む諸手当は、独立行政法人国立病院機構期間医師の給与規程に定められた手当を支給なし
賞与 (年額)	なし
諸手当	通勤手当上限 1 ヶ月当たり 55,000 円上限 超過勤務手当 宿日直手当 20,000 円/回
社会保険	協会けんぽ、厚生年金、雇用保険、労災保険
医師賠償責任保険	病院において: 個人加入: ○
福利厚生	有料宿舎あり (ただし、希望者多数の場合は入居できないことがあります。) 健康診断 2 回/年 インフルエンザ予防接種無料 年次休暇 (リフレッシュ含む 23 日)、病気休暇、特別休暇 研修協力施設への研修に係る交通費を支給
研修医宿舎	院内宿舎あり・家賃手当なし
研修医室	なし

応募問合せ先

担当者 庶務係長 佐藤 孝志 **TEL/FAX** TEL: 048-462-1101 FAX: 048-464-1138
E-mail sato.takashi.ju@mail.hosp.go.jp

後期専門研修募集情報

各科により異なりますので、各科責任者に直接お問い合わせ下さい。

応募問合せ先

担当者 給与係長 澤田 真也 **TEL/FAX** TEL: 048-462-1101 FAX: 048-464-1138
E-mail sawada.shinya.tp@mail.hosp.go.jp

豊岡整形外科病院

開設者	岩橋 正樹
病院管理者	岩橋 正樹
所在地	〒358-0003 埼玉県入間市豊岡 1-7-16
連絡先	TEL : 04-2962-8256 FAX : 04-2963-9427
URL	http://www.toyosei.jp/
交通アクセス	西武池袋線 入間市駅 徒歩 3分



診療科目 **整形外科** **リハビリテーション科**

許可病床数(床)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	72					
平均在院日数(日)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	18					

臨床研修病院の指定区分

医師数

常勤：5名 非常勤：8名

専攻医情報等

【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総
専攻医プログラム認定施設																			
専門医数(人)	1					6													
専攻医枠(人)																			

その他施設の認定

日大と人事交流のある科

整形外科

主な出身大学

日本大学、東京慈恵会医科大学附属病院、埼玉医科大学、東京医科大学、埼玉石心会病院

医師情報

位置付け

二次救急医療機関

実績

救急外来数/日平均(件)：4 救急車取扱数/日平均(件)：2

救急医療

患者数/日平均(人)

外来患者数 205 入院患者数 64

分娩件数/年(件)

臨床病理検討会(CPC)実施状況

剖検数/年(件) CPC開催数/年(回)

埼玉県入間市には、公立(私立)病院や三次救急病院が無く、7民間病院がそれぞれの特徴を生かし地域の医療を担っております。

当病院は、整形外科単科病院として昭和45年より診療を行ってまいりましたが、この度、近接に新病院を建設し、令和元年11月1日より開設いたしました。

新病院におきましては、病室を72床とし、手術室2箇所、外来診察室5箇所、生理検査室、検体検査室、処置室、救急処置室など、整形外科病院として充実した設備とスペースを確保し診療いたしております。

また、放射線科におきましても、MRI(1.5テスラ)、骨塩定量検査機、CT、一般撮影室2箇所を設置いたしております。



後期専門研修募集情報

- ①診療科 整形外科
- ②研修期間 2年
- ③募集人数 若干名
- ④短期目標 各疾患の病態の把握、各疾患の診断と治療計画、手術適応、手術手技
- ⑤短期取得手技 検査法、ブロック療法、手術手技の習得
- ⑥手術症例数 令和3/年実績
骨折観血的手術 162例、人工骨頭挿入・人工関節術 62例、脊椎手術 408例、大腿骨頸部骨折 81例、
抜去などその他 92例 計 805例
- ⑦指導体制
医師数 常勤5名、非常勤5名
研修の指導にあたる医師3名
- ⑧コンセプト
専門領域とその関連領域の系統的な研修で、整形分野において裾野の広い臨床医を育む。
広い視野で専門性に富む臨床医を育む。
医療の質を高める臨床研究を実践する。

日本整形外科学会専門医取得に必要な必須分野の研修を行うことができるように、指導医のもとで研修を行う。一般整形外科医として外来・病棟診療、各種検査手技、手術手技について学ぶ。

外来研修では、自らが初診外来および再診外来を担当し、病棟研修では指導医のもとで整形外科の一般的な手術の執刀を行う。また指導医の行う高度な手術の助手を行い、その手術技術も習得する。

【処遇】

給与

3年次 月給 700,000円 賞与 1,400,000円×2回

4年次 月給 800,000円 賞与 1,600,000円×2回

その他の処遇については、募集内容と同様

応募問合せ先

担当者 高田 克美 TEL/FAX TEL : 04-2968-8051 FAX : 04-2963-9427
E-mail takada@bz03.plala.or.jp

医療法人財団明理会 イムス富士見総合病院

開設者	会長 中村 哲也
病院管理者	院長 鈴木 義隆
所在地	〒354-0021 埼玉県富士見市大字鶴馬 1967-1
連絡先	049-251-3060
URL	http://www.ims.gr.jp/fujimisougou/
交通アクセス	東武東上線「鶴瀬駅」東口下車イムス富士見総合病院送迎バス約10分 東武東上線「ふじみ野駅」東口下車イムス富士見総合病院送迎バス約10分



- 診療科目
- 内科
 - 循環器内科
 - 消化器内科
 - 糖尿病内科
 - 腎臓内科
 - 神経内科
 - 人工透析内科
 - 外科
 - 心血管外科
 - 消化器外科
 - 乳腺外科
 - 小児外科
 - 肛門外科
 - 整形外科
 - 脳神経外科
 - 内視鏡外科
 - 小児科
 - 皮膚科
 - 泌尿器科
 - 婦人科
 - 耳鼻咽喉科
 - 放射線科
 - 麻酔科
 - 血管外科
 - リハビリテーション科
 - 脊髄・脊髄科
 - 総合診療科

許可病床数(床)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	341					
平均在院日数(日)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	12.4					

臨床研修病院の指定区分 臨床研修協力施設

医師数

常勤：47名 非常勤：67名

専攻医情報等

【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総
専攻医プログラム認定施設																			
専門医数(人)		6	1		3	1	1			1	1	2	2	2		2			5
専攻医枠(人)																			

その他施設の認定

日本麻酔科学会認定施設、日本整形外科学会専門医制度認定研修施設、日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設、日本外科学会専門医制度修練施設、社団法人循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本脳卒中学会専門医研修教育施設、腹部ステントグラフト実施施設、胸部ステントグラフト実施施設、日本脳神経外科学会専門医関連施設認定、日本脈管学会認定研修施設、下肢静脈瘤に対する血管内レーザー焼灼術の実施基準による実施施設、日本心血管インターベンション治療学会認定研修施設、日本不整脈心電図学会認定不整脈専門医研修施設、日本腎臓学会認定研修施設、浅大腿動脈ステントグラフト実施施設、日本胆道学会認定指導医制度指導施設

日大と人事交流のある科

小児科、小児外科

主な出身大学

日本大学、埼玉医科大学 他

位置付け

救急告示医療機関

実績

救急外来数/日平均(件)：22.2 救急車取扱数/日平均(件)：12.1

患者数/日平均(人)

外来患者数 299.8 入院患者数 203

分娩件数/年(件)

臨床病理検討会(CPC)実施状況

剖検数/年(件) CPC開催数/年(回)

平成28年4月に新棟が完成し、120床増床し341床の病院となりました。

そこで、小児病棟(45床)を新棟6階にリニューアル、集中治療室・専門治療室を整備しより充実した診療の提供、手術室・透析室・カテーテル治療室の拡張、回復期リハビリテーション病棟と地域包括ケア病棟の開設を行いました。

また、地域との連携の強化として、連携室、相談室、退院支援看護室の3つの部署を1フロアに集約。かかりつけ医療機関からの紹介をはじめ、入院診療・外来診療についての問い合わせ、医療・介護の制度上の相談、在宅療養中の生活課題の相談までワンストップで対応できるよう、グリーンカウンターを設置しました。

安全で最適な医療を提供し、「愛し愛される病院」として社会に貢献を病院理念とし、小児から高齢者まで高度急性期、急性期から回復期、地域包括ケア、在宅支援まで、つながる、めぐる医療を提供するため、活動を続けて参ります。

診療体制はまだ発展途上ですが、地域の他医療機関の協力のもと、地域から信頼される医療を提供し、更にきめ細かい診療体制構築していけたらと思っております。

医師募集情報

募集する診療科
医師賠償責任保険

小児科、消化器外科、産婦人科
個人加入

応募問合せ先

担当者
E-mail

総務課係長 大場 武史
turuse.soumu@ims.gr.jp

TEL/FAX

TEL : 049-251-3060

FAX : 049-254-1224

由利組合総合病院

開設者	秋田県厚生農業協同組合連合会
病院管理者	軽部 彰宏
所在地	〒015-0051 秋田県由利本荘市川口字家後 38 番地
連絡先	0184-27-1200
URL	http://www.yuri-hospital.honjo.akita.jp
交通アクセス	JR 羽後本荘駅から車で 7 分、日本海沿岸東北自動車道大内 JCT から 8 分



- 診療科目
- 内科
 - 精神科
 - 神経内科
 - 呼吸器内科
 - 消化器内科
 - 糖尿病・代謝内科
 - 循環器内科
 - 小児科
 - 外科
 - 小児外科
 - 整形外科
 - 脳神経外科
 - 呼吸器外科
 - 心血管外科
 - 皮膚科
 - 泌尿器科
 - 産婦人科
 - 眼科
 - 耳鼻咽喉科
 - リハビリテーション科
 - 放射線科
 - 麻酔科
 - 病理診断科
 - 歯科口腔外科

許可病床数(床)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	602		4			
平均在院日数(日)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	16.9					

臨床研修病院の指定区分 基幹型

医師数

常勤：68名 非常勤：6名

専攻医情報等

【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総	
専攻医プログラム認定施設																				
専門医数(人)																				
専攻医枠(人)																				

その他施設の認定

日大と人事交流のある科

消化器内科

主な出身大学

日本大学、筑波大学、聖マリアンナ医科大学、秋田大学、東北大学、岩手医科大学

医師情報

位置付け

二次救急

実績

救急外来数/日平均(件)：38 救急車取扱数/日平均(件)：6.2

救急医療

患者数/日平均(人)

外来患者数 1,088 入院患者数 421

分娩件数/年(件)

389

臨床病理検討会(CPC)実施状況

剖検数/年(件) 14 CPC開催数/年(回) 11

当院は、秋田県南西部、日本海に面し鳥海山の麓に広がる由利本荘・にかほ二次医療圏(人口約11万人)において、救急から急性期医療、周産期医療、小児医療、在宅医療、へき地医療等、さまざまな医療分野を手厚くカバーしている地域の中核的な総合病院です。他の医療機関や福祉施設等との連携を密にしながら、救急・急性期・在宅と一貫した地域医療の提供を図っています。また、住民検診、事業所健診などの保健予防活動にも力を入れており、地域住民の“いのちと健康”を守るため尽力しています。当院の臨床研修指定病院としての歴史は古く(昭和56年指定)、平成16年の臨床研修必修化以前から秋田大学や東北大学の卒業生を中心に、数多くの研修医を受け入れてきました。

初期研修情報

研修プログラム名：由利組合総合病院臨床研修プログラム

研修プログラム責任者：西成 民夫

関連協力施設：

秋田大学医学部附属病院、本荘第一病院、市立横手病院、横手興生病院、秋田県立リハビリテーション医療センター、かづの厚生病院、北秋田市民病院、能代厚生医療センター、湖東厚生病院、秋田厚生医療センター、大曲厚生医療センター、平鹿総合病院、雄勝中央病院

研修科の説明：

当院の研修プログラムは、研修医と何度も面談しながら出来るだけ本人の要望を取り入れ、柔軟かつ自由選択性の高いプログラムにしています。主として、1年目に内科、救急、選択必修、地域医療などの基本科を、2年目に放射線科や精神科、希望選択科をローテートする場合がありますが、希望診療科を長く研修することも、多科をスーパーローテートすることも可能な自由度の高いプログラムとなっています。また、当院は日本内科学会教育病院、日本外科学会修練施設などでもあるため、最短で内科認定医や総合内科専門医、外科専門医等の受験資格に繋がります。当院の初期研修は、症例は多彩で豊富、たくさんの経験を積むことができ、プライマリ・ケアおよび総合診療的な力の修練はもちろん、専門・後期にも繋がる研修が可能となっています。

各診療科とも、指導医はみんな熱心で、手厚い指導体制となっており、積極的に質問し学ぶことができます。また、救急研修の一環として、選択必修以外の外科系各科（脳神経外科・整形外科・泌尿器科・心臓血管外科・眼科・耳鼻咽喉科）から希望の診療科を選択し、週単位でショートローテートしています。この経験は救急の現場で大変役立っています。もちろん、月単位でこれらの診療科をスーパーローテートすることも可能です。さらに、秋田県厚生連全病院の他、複数の病院が協力型病院となっており、多彩なたすきがけ研修も可能となっています。

研修医の当直：

2年目より月3回程度。

A当直 17:00～22:00（～翌朝8:30までは院内待機）、B当直 22:00～翌朝8:30（17:00から22:00までは院内待機）

※研修医はB当直に入り、A当直の指導医・上級医と共に診療にあたる（症例に応じて各科当番医へコンサルト）

募集内容

募集予定人数

9人

処遇 給与（月額）

1年次 499,800円 2年次 531,400円

賞与（年額）

1年次 758,981円 2年次 1,250,400円

諸手当

通勤手当、住宅手当、家族手当、当直手当、医師救急勤務手当、医師緊急呼出勤務手当、年末年始手当 等各種手当

社会保険

健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険

医師賠償責任保険

病院において：加入 個人加入：可能

福利厚生

院内保育所

人間ドック

奨学金

育児介護休業

研修医宿舍

病院借上アパートあり 家賃自己負担なし（光熱水費は自己負担）、築10年、1DK（13畳）、キッチン・バス・トイレ・

エアコン完備、駐車場あり（無料）、病院まで約700m、徒歩7分程度、近くにスーパー・コンビニあり

研修医室

研修医専用医局あり

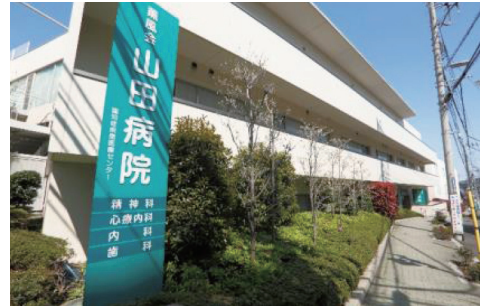
応募問合せ先

担当者 佐藤 隼 **TEL/FAX** TEL:0184-27-1200 FAX:0184-27-1277

E-mail soumu1@yuri-hospital.honjo.akita.jp

医療法人社団薫風会 山田病院

開設者	医療法人社団 薫風会
病院管理者	院長 山田 雄飛
所在地	〒188-0012 東京都西東京市南町3丁目4番10号
連絡先	042-461-0005
URL	https://www.yamada-hosp.or.jp/



- 交通アクセス
- ・西武新宿線田無駅より徒歩5分
 - ・西武池袋線ひばりヶ丘駅北口より「武蔵境駅行き」「田無駅行き」バス「田無駅」下車徒歩5分
 - ・JR中央線武蔵境駅より「ひばりヶ丘駅行き」バス「田無駅」下車徒歩5分

診療科目 **精神科** **心療内科** **内科** **歯科**

許可病床数(床)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
		326				
平均在院日数(日)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
		161.6				

臨床研修病院の指定区分 基幹型

医師数

常勤：10名 非常勤：16名

専攻医情報等

【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総
専攻医プログラム認定施設				○															
専門医数(人)				13															
専攻医枠(人)				1															

その他施設の認定

日本精神神経学会研修施設、臨床研修協力施設、日本医療機能評価機構認定(3rdG:Ver1.1)

日大と人事交流のある科

精神科、内科、歯科

主な出身大学

日本大学、東京大学、慶應義塾大学、福井大学、防衛医科大学校、順天堂大学

医師情報

救急医療

位置付け

東京都措置入院指定病院(15床)、応急入院指定病院(1床)、精神科二次救急指定病院

実績

救急外来数/日平均(件): 1.4 救急車取扱数/日平均(件): 0.5

患者数/日平均(人)

外来患者数 175.1 入院患者数 303.7

分娩件数/年(件)

臨床病理検討会(CPC)実施状況

剖検数/年(件) CPC開催数/年(回)

当院は精神科救急病棟、ストレスケア病棟、認知症病棟、社会復帰病棟、慢性期病棟に機能分化された6病棟、326床で構成され、24時間365日対応可能な体制を整えている。精神科救急病棟では、全ての精神科救急疾患に対応可能な設備に加え、外来受診から入院治療、更に社会復帰、就労を含む地域生活の支援までを一連の流れとした「包括的急性期プログラム」に基づき、医師・看護師・精神保健福祉士・薬剤師・公認心理師・作業療法士等の多職種によるチーム医療を実践している。外来部門ではデイケア・ナイトケア、生活技能訓練(SST)や認知行動療法、就労準備支援を行っている。また、認知症疾患医療センターを併設し、認知症疾患の診断や近隣の関係機関に対する教育研修を担う地域基幹病院の役割も果たしている。法人内関連施設として、リワークデイケア(復職支援)を併設したサテライトクリニック、地域活動支援センター、訪問看護ステーション、グループホームを運営し、地域における精神科医療の充実を図ると共に、医療機関、福祉・介護機関との“顔の見える”関係を通じた地域連携を重視している。教育については、休日夜間の当直を単科精神病院として稀な医師2名配置とし、日本大学医学部精神科医局の後期臨床研修医(非精神保健指定医)と、当院の精神科専門医、精神保健指定医がペアを組む形とすることで、医局の教育研修にも協力できる体制を作っている。また医局会において定期的に開催される症例検討会では、活発なディスカッションに加え、学術的な知識のUpdateを図る機会を設けている。

後期専門研修募集情報

募集する診療科 精神科
募集する人数 要相談
その他 現在、募集はしていませんが、病院見学等は積極的に受け入れを行っております。
精神科医療機関に興味や関心をお持ちの先生方は、担当者までお問い合わせください。

応募問合せ先

担当者 山田 大志 TEL/FAX TEL : 042-461-0005 FAX : 042-467-4658
E-mail h-yamada@yamada-hosp.or.jp

慈雲堂病院

開設者	医療法人社団じうんどう 理事長 田邊 英一
病院管理者	院長 田邊 英一
所在地	〒177-0053 東京都練馬区関町南4丁目14番53号
連絡先	03 (3928) 6511
URL	https://www.jiundo.or.jp
交通アクセス	西武新宿線 武蔵関駅南口より徒歩15分 又は、関東バス「荻窪駅」 「三鷹駅」行にて「慈雲堂前」下車、徒歩3分 JR 東日本 吉祥寺駅北口より北西循環ムーバス『けやきコミセン』下車、徒歩3分



診療科目 **精神科** **内科** **歯科** (入院患者のみ)

許可病床数(床)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	28	476				
平均在院日数(日)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	892	335				

臨床研修病院の指定区分 臨床研修協力施設

医師数

常勤：11名 非常勤：39名

専攻医情報等

【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総
専攻医プログラム認定施設				※															
専門医数(人)				16															
専攻医枠(人)				若干名															

※精神科専門医の研修は、基幹施設である日本大学、慶應義塾大学、東邦大学、久里浜医療センターとのプログラム連携となります。

その他施設の認定

日大と人事交流のある科

精神科

主な出身大学

日本大学、慶應義塾大学、北里大学、北海道大学、新潟大学、三重大学、愛媛大学

救急医療

位置付け

東京都輪番対応型精神科救急医療施設

実績

救急外来数/日平均(件)： 救急車取扱数/日平均(件)：

患者数/日平均(人)

外来患者数 190 入院患者数 475

分娩件数/年(件)

臨床病理検討会(CPC)実施状況

剖検数/年(件) CPC開催数/年(回)

当院は東京都区西北部に位置する504床の精神科病院である。昭和4年の創立より永くこの地域における精神科医療の充実に力を入れてきた。近年は精神科急性期医療の向上、認知症医療の拡充、地域移行の促進に力を入れてきている。急性期医療については救急入院料算定を目指した施設の改良を行ってきた。認知症医療は東京都より地域連携型認知症疾患医療センターの指定を受け、地区医師会や行政とも連携を密にした活動を行っている。地域移行については、単に退院して在宅に帰すだけでなく、訪問看護や就労支援までも積極的に行い生活支援と社会参加に貢献している。外来受診から入院、退院後まで全てサポート出来るのが当院の大きな特徴である。東京都より指定病院の指定を受けているため、精神保健指定医取得に必要な措置入院をはじめ多くの症例を経験することが可能である。

後期専門研修募集情報

◆概要

23区内に位置するため、交通の便が良く通いやすい病院です。指定病院であるため、措置入院を始め多くの精神保健指定医取得に必要な症例を経験することができ、実際多くの方が当院で研修されて精神保健指定医を取得しています。病棟は、精神科救急病棟、慢性期病棟、認知症病棟に大きく分けられ、いくつかの病棟を掛け持ちしながら偏りなく症例を経験することが出来ます。また、日本精神神経学会の専門医研修施設となっており、指導医も複数いるため、専門医の取得も可能です（日本大学医学部精神神経科学教室との連携となります）。

院内は電子カルテ化されており、画像も含めた情報共有がなされています。鑑別診断に必要な臨床検査、レントゲン、CT、脳波検査など一般的な設備は揃っています。また内科医師が常勤しているため、身体疾患で困った時にも容易に相談や治療の助言を得ることが出来ます。

院内託児所があり、小さなお子様を持つ女性医師の勤務も可能となっております。関係大学からの研修医の派遣もあり、若手からベテランまで揃っています。

◆取得可能な専門医資格

精神保健指定医

精神科専門医（日本大学との連携）

◆当院での勤務の特徴

主に病棟主治医の一員として配属され、病棟業務や外来業務、夜間当直を経験して頂き、研修医であれば指導医の指導を適宜受けながら研修を行います。

◆待遇

当院規定により給与支給

交通費支給

◆その他

原則週5日勤務となります

学会出張可能

応募問合せ先

担当者 事務部長 井上 透
E-mail tinoue@jiundo.or.jp

TEL/FAX TEL : 03-3928-6511 FAX : 03-3928-6626

医療法人社団武蔵野会 TMG あさか医療センター

開設者	中村 毅
病院管理者	飯田 惣授
所在地	〒351-0023 埼玉県朝霞市溝沼 1340-1
連絡先	048-466-2055 FAX 048-466-2059
URL	http://www.asakadai-hp.jp/
交通アクセス	電車の場合 東京メトロ有楽町線：和光市駅経由 東武東上線 朝霞台駅下車 徒歩 10分 東京メトロ副都心線：和光市駅経由 東武東上線 朝霞台駅下車 徒歩 10分 東武東上線：朝霞台駅下車 徒歩 10分 JR 武蔵野線：北朝霞駅下車 徒歩 10分 朝霞台駅北口 ロータリーブックオフ前より 無料シャトルバス運行



診療科目	内科	呼吸器内科	循環器内科	消化器内科	腎臓内科	心療内科	外科	呼吸器外科	消化器外科
	小児外科	肛門外科	整形外科	脳神経外科	形成外科	小児科	皮膚科	泌尿器科	婦人科
	眼科	耳鼻科	リハビリテーション科	麻酔科	放射線科	精神科	神経内科	救急科	
	緩和ケア内科	歯科口腔外科	血液内科	糖尿病内科	乳腺外科	小児泌尿器科	病理診断科		

許可病床数(床)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	446					
平均在院日数(日)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	13.0					

臨床研修病院の指定区分 基幹型

医師数

常勤：107名 非常勤：

専攻医情報等

【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総
専攻医プログラム認定施設														○					
専門医数(人)														3					
専攻医枠(人)													1						

その他施設の認定

埼玉県がん診療指定病院、日本内科学会教育関連施設、日本脳神経外科学会指定訓練施設、日本救急医学会専門医指定施設、日本整形外科学会認定施設、日本外科学会専門医制度修練施設 他

日大と人事交流のある科

循環器科、耳鼻咽喉科、外科

主な出身大学

位置付け

二次救急

実績

救急外来数/日平均(件)：28.0 救急車取扱数/日平均(件)：14.0

患者数/日平均(人)

外来患者数 816 入院患者数 394

分娩件数/年(件)

臨床病理検討会(CPC)実施状況

剖検数/年(件) 1 CPC開催数/年(回) 1

地域医療に力を注いでおり埼玉県南西部地域において、非常にアクティブに活動している病院です。

特に、内科・外科・整形外科・脳神経外科の4科は県内トップレベルの診療実績があります。

TMG あさか医療センターでは救急・専門医療の拡充として、ICU・CCU 10床・SCUの稼働、てんかんセンターでは患者様を24時間モニタリング検査ができ、外科的治療も可能です。手術室も4室から8室に拡大し、多職種で協力して生命の危機がある患者様を24時間体制で対応致します。また、脊椎内視鏡手術センター・最新鋭のアンギオ装置を2台設置、20床個室の緩和ケア病棟・小児病棟といった各部門の強化を図り、幅広い医療を学ぶことが出来ます。新病院では地震の被害を低減する「免震構造」を採用し、被害の影響を受けにくい構造となっています。ホスピタルコリドール内には医療ガス設備を設置し、災害時でも医療を継続することが可能です。

医師募集情報

募集する診療科	初期臨床研修医
募集する人数	5名
医師について特に希望する要件	病院理念に基づき、医師としての責任感や倫理観を涵養し、将来専門とする分野にかかわらず、一般的な診療において頻度の高い疾病・病態を有する患者様や家族に対して、プライマリーケアの基本的な診療能力をチーム医療を通して身につけることを目標とする。
給与と福利厚生	
処遇	
給与（月額）	360,000円（1年次）／400,000円（2年次）
賞与（年額）	年2回支給予定
諸手当	通勤手当・時間外手当
社会保険	健康組合保険・厚生年金・雇用保険・労災保険
医師賠償責任保険	病院加入
福利厚生	診療見舞金制度（グループ病院受診時、月3,000円以上超えた分の治療費支給） スポーツクラブ、ヘアサロン等の福利厚生制度
その他	学会参加費 年1回分病院負担（交通・宿泊・学会費）※宿泊のみ1回 初期研修プログラムでは、総合診療・救急医療・地域医療を基本とし、総合的臨床能力を有する医師の育成を目的としています。内科系・外科系・救急科・麻酔科・精神科・小児科・産婦人科・地域医療の必修科としております。募集定員は少人数制にすることで、指導医とマンツーマンでの研修を実現しています。初期救急医療からプライマリーケアを主とした研修をベースに問診・初期治療の実際から適切な判断能力を身につけることができます。また、二次救急医療機関として地域医療の一端を担っていますので、全科の研修時に二次救急医療を体験することができます。臨床研修医の皆さんが経験を積むには最良の環境だと思います。また、平成30年1月から新築移転し、最新鋭の設備で臨床研修という大事な時期をともに学び喜びを共有しましょう。

応募問合せ先

担当者 総務課 関
TEL/FAX TEL：048-466-2055
E-mail n_seki2@tmg.or.jp

沼津市立病院

開設者	沼津市長 頼重 秀一
病院管理者	病院長 伊藤 浩嗣
所在地	〒410-0302 静岡県沼津市東椎路字春ノ木 550 番地
連絡先	055-924-5100
URL	https://www.numazu-hospital.shizuoka.jp/
交通アクセス	東京駅から沼津駅まで新幹線と電車利用で約1時間10分、沼津駅から当院までバスで約20分



- 診療科目
- 内科
 - 脳神経内科
 - 呼吸器内科
 - 消化器内科
 - 循環器内科
 - リウマチ科
 - 小児科
 - 外科
 - 整形外科
 - 形成外科
 - 脳神経外科
 - 小児外科
 - 呼吸器外科
 - 心血管外科
 - 皮膚科
 - 泌尿器科
 - 産婦人科
 - 眼科
 - 耳鼻いんこう科
 - リハビリテーション科
 - 放射線科
 - 麻酔科
 - 救急科
 - 歯科口腔外科

許可病床数(床)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	387					
平均在院日数(日)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	12.2					

臨床研修病院の指定区分 基幹型

医師情報

医師数

常勤：77名 非常勤：7.4名(常勤換算)

専攻医情報等

【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総
専攻医プログラム認定施設	○				○														
専門医数(人)	6	3	1		9	6	4	1	2	2	1	1	1			1	1		
専攻医枠(人)	3				1														

その他施設の認定

日大と人事交流のある科

小児科、小児外科、産婦人科

主な出身大学

日本大学、浜松医科大学、北里大学、千葉大学、山梨大学 他

救急医療

位置付け

三次救命救急センター

実績

救急外来数/日平均(件)：11.5 救急車取扱数/日平均(件)：7.2

患者数/日平均(人)

外来患者数 652.2 入院患者数 246.8

分娩件数/年(件)

218

臨床病理検討会(CPC)実施状況

剖検数/年(件) 9 CPC開催数/年(回) 5

- 急性期医療を担う24の診療科と387床の入院病床(うち地域包括ケア病棟50床)を有する静岡県東部の基幹病院
- ドクターヘリポート、救急ワークステーションを持つ新型救命救急センターを運営し、24時間365日の救急医療を行っている
- 地域医療支援病院として機能分化を行い、患者様にとってよりよい効率的な医療を提供している

研修風景



医師募集情報（初期研修医）

募集する診療科	研修プログラム名：沼津市立病院研修プログラム
募集する人数	8名（予定）
医師について特に希望する要件	特になし
給与と福利厚生	
処遇 給与（月額）	卒後1年目 335,000円、卒後2年目 346,500円
賞与（年額）	年2回（6月30日・12月10日）、計2.4月（ただし、4月採用者の6月支給分は×30%となる。）
諸手当	地域手当（基本給の6%/月）、特殊勤務手当（28,000円/月）、時間外・休日勤務手当、宿日直手当（9,000円/回+時間外手当実動分）、通勤手当（距離に応じて算出）、住居手当（最大40,000円/月（ただし、住宅使用料として5,000円/月負担あり））、退職手当
社会保険	地方職員共済組合、退職手当
医師賠償責任保険	病院加入
福利厚生	・雇用保険、労災保険 ・年次有給休暇 ・特別休暇（夏季・リフレッシュ・忌引き・病気・結婚・出産等） ・学会出張費、旅費支給（上限あり） ・休日は土・日曜日、祝日、年末年始（12/29～1/3） ・院内保育園（きらら）あり（3歳まで利用可） ・沼津市職員互助会によるカフェテリアプラン（薬・本・DVD・施設入場料・映画鑑賞券などで最大10,000円/年 助成）、宿泊助成（8,000円/年）、バス旅行、各種サークル・同好会
その他	【身分】会計年度任用職員 【研修医室】2室 【当直】約3回/月 【プログラムの特色】年間に内科24週、救急部門12週、外科・産婦人科・小児科・精神科を各4週となるように選択し、2年目に地域医療4週以上の研修を行う。外来研修は内科24週の期間内に週1回の並行研修を行う予定。残りの期間は専門医として必要な臨床能力を修得するために、診療科を自由に選択できる。本プログラムでは、個々の診療科が柔軟に対応することで、必修科での研修目標を確実に達成することができる。 【協力型病院】沼津中央病院（精神科）、静岡県立静岡がんセンター（感染症、血液肝細胞内科、産婦人科、形成外科）、富士宮市立病院（腎臓内科）、NTT東日本伊豆病院（リハビリテーション科）、静岡医療センター（神経内科）、北里大学病院（循環器内科、呼吸器内科、神経内科、腎臓内科、麻酔科、血液内科）、聖マリアンナ医科大学病院（内分泌代謝内科）、横浜市立大学附属市民総合医療センター（高度救命救急センター） 【協力施設】西伊豆健育会病院（地域医療）、NTT東日本伊豆病院（地域医療、精神科）、たなかメディカルスクエア（地域医療）、池辺クリニック（地域医療）、他

応募問合せ先

担当者 沼津市立病院 病院管理課 臨床研修センター
TEL/FAX TEL：055-924-5100（内線2370） FAX：055-924-5133
E-mail byoin-so@city.numazu.lg.jp

医師募集情報（後期研修医）

募集する診療科	【内科】研修プログラム名：沼津市立病院内科専門医研修プログラム 【外科】研修プログラム名：静岡県東部外科専門医研修プログラム
募集する人数	【沼津市立病院内科専門医研修プログラム】3人 【静岡県東部外科専門医研修プログラム】1人
医師について特に希望する要件	特になし
給与と福利厚生（当院で勤務（正規職員）の場合）	
処遇 給与（月額）	卒後3年目 358,700円、卒後4年目 370,600円、卒後5年目 384,300円
賞与（年額）	年2回（6月30日・12月10日）、計4.3月（ただし、4月採用者の6月支給分は×30%となる。）
諸手当	地域手当、時間外・休日勤務手当、宿日直手当（9,000円/回+時間外手当実動分）、通勤手当（距離に応じて算出）、住居手当（最大68,000円/月（ただし、住宅使用料として5,000円/月負担あり））、扶養手当、単身赴任手当
社会保険	地方職員共済組合、公務災害適用、退職手当
医師賠償責任保険	病院加入
福利厚生	・年次有給休暇 ・特別休暇（夏季・リフレッシュ・忌引き・病気・結婚・出産等） ・学会出張費、旅費支給（上限あり） ・休日は土・日曜日、祝日、年末年始（12/29～1/3） ・院内保育園（きらら）あり（3歳まで利用可） ・沼津市職員互助会によるカフェテリアプラン（薬・本・DVD・施設入場料・映画鑑賞券などで最大10,000円/年 助成）、宿泊助成（8,000円/年）、バス旅行、各種サークル・同好会
その他	○沼津市立病院内科専門医研修プログラム 【研修期間】3年 【プログラム統括責任者】久保田教生 消化器内科部長 【指導医】11人 【当院の連携施設】富士宮市立病院、静岡医療センター、伊東市民病院、静岡県立静岡がんセンター、北里大学病院、浜松医科大学医学部附属病院、聖マリアンナ医科大学病院、順天堂大学医学部附属静岡病院 【当院が連携施設】千葉大学医学部附属病院、浜松医科大学医学部附属病院、北里大学病院、山梨大学医学部附属病院、県立総合病院、聖マリアンナ医科大学病院、順天堂大学医学部附属静岡病院、東京都立墨東病院 ○静岡県東部外科専門医研修プログラム 【研修期間】3年 【プログラム統括責任者】菅本裕司 副院長兼第1外科部長 【指導医】6人 【当院の連携施設】静岡医療センター、順天堂大学医学部附属静岡病院 【当院が連携施設】日本大学医学部附属板橋病院、千葉大病院、浜松医科大学病院、順天堂大学医学部附属静岡病院 ○他、当院が日本大学の後期研修プログラムの連携施設となっている科 ・小児科 ・産婦人科 ・外科

応募問合せ先

担当者 沼津市立病院 病院管理課 臨床研修センター
TEL/FAX TEL：055-924-5100（内線2370） FAX：055-924-5133
E-mail byoin-so@city.numazu.lg.jp

千葉県こども病院

開設者	千葉県知事
病院管理者	中島 弘道
所在地	〒266-0007 千葉県千葉市緑区辺田町 579-1
連絡先	043 (292) 2111
URL	https://www.pref.chiba.lg.jp/kodomo/
交通アクセス	最寄駅：JR 外房線 鎌取駅 徒歩約 25 分 バス：JR 鎌取駅から千葉中央バス・JR 千葉駅から、鎌取駅経由千葉中央バス「千葉リハビリテーション」行き「こども病院」下車 バスは運行本数が少ないのでご注意ください。



診療科目	小児科	循環器内科	神経内科	アレルギー科	救急科	新生児内科	精神科	小児外科	心血管外科
	脳神経外科	整形外科	形成外科	泌尿器科	眼科	耳鼻いんこう科	産科	皮膚科	歯科
	麻酔科	リハビリテーション科	放射線診断科	放射線治療科	病理診断科				

許可病床数(床)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	218					
平均在院日数(日)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	11.3					

臨床研修病院の指定区分 協力型

医師数

常勤：49名 非常勤：48名

専攻医情報等

【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総
専攻医プログラム認定施設		○																	
専門医数(人)		58	1	4	3		2	3	2	2		2	1				2		
専攻医枠(人)		1																	

その他施設の認定

日本病理学会研修認定病院、日本眼科学会専門医制度研修施設、日本脳神経外科学会専門医認定指定訓練施設、日本整形外科学会認定医制度研修施設、日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設、日本血液学会認定医研修施設、日本アレルギー学会認定教育施設、日本小児外科学会専門医育成認定施設、日本胸部外科学会認定医認定制度指定施設、泌尿器科専門医教育施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、心血管外科専門医認定機構関連施設、臨床研修病院、臨床研修協力施設、日本周産期・新生児医学会周産期新生児専門医専門医暫定研修施設、日本小児科学会小児科専門医研修施設、千葉大学医学部付属病院における卒後臨床研修の研修協力病院、麻酔科認定病院、日本形成外科学会教育関連施設、ASD 閉鎖性施行施設、小児神経専門医研修関連施設、日本静脈経腸栄養学会実地修練認定教育施設、日本アレルギー学会認定教育施設、日本小児循環器学会専門医制度修練施設、日本リウマチ学会教育施設、臨床遺伝専門医制度研修施設、PDA 閉鎖性施行施設、日本感染症学会研修施設、内分泌代謝科認定教育施設、日本精神神経学会精神科専門医研修施設、集中治療専門医研修施設、日本がん治療認定医機構認定研修施設、小児血液・がん専門医研修施設、小児科専門医研修支援施設、関東甲信越地域小児がん連携病院、千葉県アレルギー疾患地域基幹病院、日本小児総合医療施設

日大と人事交流のある科

小児科

主な出身大学

千葉大学

位置付け

救急告示病院

実績

救急外来数/日平均(件)：9.9 救急車取扱数/日平均(件)：3.0

患者数/日平均(人)

外来患者数 343.3 入院患者数 111.3

分娩件数/年(件)

臨床病理検討会(CPC)実施状況

剖検数/年(件) CPC開催数/年(回) 1

千葉県こども病院は、全県的な小児医療の中核病院として昭和63年に開院し、一般医療機関では対応困難な先天性疾患をはじめとした特殊又は専門的な医療を必要とする小児の疾患の診断・治療、それに付随する相談及び指導や小児医学向上のための研究・調査を行っている。

また、全県的な小児医療ネットワークの中心的役割を担っており、小児医療を担う人材を育成するための研修医等の受け入れを行うとともに、全県的な小児3次救急医療の拠点病院の役割を担っている。さらに、地域医療支援病院として、地域の医療機関と連携した小児医療水準の向上にも努めている。

医師募集情報

募集する診療科：	小児科専攻医、レジデント（内分泌科、感染症科、アレルギー・膠原病科、神経科、血液・腫瘍科、腎臓科、小児外科、心臓血管外科）、新生児・未熟児科、集中治療科、麻酔科、放射線診療科、リハビリテーション科
募集する人数：	
医師について特に希望する要件：	
給与と福利厚生：	千葉県病院局給与規定による
処遇 給与（月額）：	例 免許取得後の経験年数 10 年／87 万円 例 免許取得後の経験年数 20 年／97 万円
賞与（年額）：	例 免許取得後の経験年数 10 年／158 万円 例 免許取得後の経験年数 20 年／345 万円
諸手当：	時間外勤務手当、休日勤務手当、夜間勤務手当、通勤手当、住居手当、初任給調整手当（上限 308,600 円）
社会保険：	健康保険、共済年金、介護保険
医師賠償責任保険：	個人加入
福利厚生：	病気、負傷、出産、退職、死亡時の場合は各種給付金を給付 観劇、スポーツ観戦、県内入園施設（TDL、TDS 含む）利用助成
その他：	○子育てにやさしい病院への取り組み ・女性医師復職相談制度 ・女性勤務医の働きやすい環境の整備 ○海外研修補助制度（レジデント医）

応募問合せ先

担当者 事務局管理課長 **TEL/FAX** TEL : 043-292-2111 FAX : 043-292-3815
E-mail kodomo-hp@mz.pref.chiba.lg.jp

公益財団法人東京都保健医療公社 東部地域病院

開設者	公益財団法人東京都保健医療公社 理事長
病院管理者	院長 稲田 英一
所在地	〒125-8512 東京都葛飾区亀有 5丁目14番1号
連絡先	03-5682-5111 (代)
URL	http://www.tobu-hp.or.jp/
交通アクセス	JR 常磐線 亀有駅北口 徒歩3分



- 診療科目
- 内科
 - 呼吸器内科
 - 消化器内科
 - 糖尿病内科
 - 腎臓内科
 - 循環器内科
 - 小児科
 - 外科
 - 消化器外科
 - 呼吸器外科
 - 整形外科
 - 脳神経外科
 - 心臓血管外科
 - 泌尿器科
 - 婦人科
 - 眼科
 - 耳鼻咽喉科
 - 放射線科
 - 麻酔科
 - 病理診断科

許可病床数(床)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	314					
平均在院日数(日)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	8.2					

臨床研修病院の指定区分 基幹型

医師数
常勤：55名 非常勤：18名

専攻医情報等
【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総
専攻医プログラム認定施設													○						
専攻医数(人)													5						
専攻医枠(人)													2						

その他施設の認定
日本内科学会認定教育関連病院、日本循環器学会認定循環器専門研修施設、日本小児科学会小児科専門医研修施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本消化器内視鏡学会認定指導施設、日本大腸肛門病学会認定施設、日本消化器病学会認定施設、日本消化器外科学会専門医修練施設、日本消化管学会指導施設、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本整形外科学会専門医研修施設、日本脳神経外科学会専門医指定訓練施設、日本泌尿器科学会専門医教育施設、日本眼科学会専門医制度研修施設、日本麻酔科学会麻酔科認定病院、日本臨床細胞学会認定施設、救急指定病院、日本栄養療法推進協議会認定 NST 稼働施設、マンモグラフィ検診施設画像認定、日本外科感染症学会外科周術期感染管理認定施設、日本心血管インターベンション治療学会研修関連施設

日大と人事交流のある科
病理診断科

主な出身大学
順天堂大学、日本大学、東京大学、帝京大学、獨協医科大学、東京医科歯科大学

位置付け
二次救急医療機関、災害拠点病院、CCU ネットワーク参加施設

実績
救急外来数/日平均(件)：19.8 救急車取扱数/日平均(件)：7.8

患者数/日平均(人)	
外来患者数	357.2
入院患者数	168.5

分娩件数/年(件)	

臨床病理検討会(CPC)実施状況	
剖検数/年(件)	1
CPC開催数/年(回)	1

当院は、東京都の区東部地域の医療機関の協力を得ながら、地域中核病院として地域医療システムを開発・実践することを基本的な使命としております。平成10年9月には東京都で初めて地域医療支援病院として認定されました。一般床308床に加え、集中治療病床(ICU、CCU)を6床もち、急性期患者の治療に重きを置いて診療をしております。入院や手術を必要とする二次救急医療を実施し、24時間365日救急入院が可能な病床を確保する「休日・夜間診療事業」や「救急搬送体制整備事業(東京ルール)」に参画しております。

初期研修情報

研修プログラム名：東部地域病院臨床研修プログラム

研修プログラム責任者：副院長 鈴木 聡子

関連協力施設：

東京都立墨東病院、順天堂大学医学部附属順天堂医院、地域のクリニック等 5 施設、離島の診療所等 2 施設

研修科の説明：

内科 6 ヶ月（消化器系・呼吸器系・循環器系各 2 ヶ月）、救急部門（救急科）3 ヶ月、地域医療 1 ヶ月（診療所等）、外科 3 ヶ月、小児科 2 ヶ月、麻酔科 2 ヶ月、産婦人科 1 ヶ月、精神科 1 ヶ月とし、残り 5 ヶ月は研修医の選択とする。（救急科、産婦人科及び精神科は都立墨東病院もしくは順天堂医院で研修を行う。）

研修の概要と特徴：

選択研修科目は全 16 科目の中より、1 科目を月単位で最大 5 コマまで選択できることとしたため、研修の達成度をみながら複数の科をローテートしてもよいし、自分の専攻したい科目を期間延長して研修してもよい。選択研修科目については、1 年次の研修終了までに研修管理委員会に意思表示する。

また、地域医療では、当院と連携のある診療所等において、地域の医療サービスや病診連携の在り方を学ぶことにより、地域医療機関・地域医療支援病院の両方の立場を経験でき、医療連携についてより理解を深めることができる。

研修医の当直：

月平均 4 回程度

募集内容

募集予定人数	3 名
処 遇 給与（月額）	316,200 円（宿直月 4 回の場合）
賞与（年額）	あり
諸手当	交通費、当直手当
社会保険	健康保険、厚生年金、雇用保険
医師賠償責任保険	個人加入
研修医宿舎	あり
研修医室	あり

後期専門研修募集情報

基幹施設：麻酔科

連携施設：内科、外科

東京都が運営する 8 つの都立病院と（公財）東京都保健医療公社が運営する 6 つの病院が一体となった一大メディカルグループを基盤とした、専門医取得のための後期臨床研修システムが「東京医師アカデミー」です。都立・公社病院を中心として東京都内外の様々な医療機関とも連携を組むことで、多様なローテーションが可能に。専門医取得に向けた質の高い研修環境が整備されているため、基幹・連携施設を問わず、十分な研修を行うことができます。

※都立病院及び公社病院は令和 4 年 7 月の地方行政法人への移行準備を進めています。

応募問合せ先

担当者 庶務課臨床研修担当 **TEL/FAX** TEL：03-5682-5111（代） FAX：03-5682-5132
E-mail tobu_kenshu@tokyo-hmt.jp

医療法人社団 輔仁会 嬉野が丘サマリヤ人病院

開設者	理事長 田崎 琢二
病院管理者	院長 山城 義広
所在地	〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川460番地
連絡先	098-889-1328
URL	http://www.hojinkai-group.com/
交通アクセス	最寄りのバス停：那覇インター前下車、徒歩10分 那覇交通：1番・14番・16番 沖縄バス：18番



診療科目 **精神科** **心療内科** **内科** **歯科**

許可病床数(床)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	26	346				
平均在院日数(日)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	978	422				

臨床研修病院の指定区分 連携施設 協力型

医師数

常勤：12名 非常勤：10名

専攻医情報等

【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総
専攻医プログラム認定施設				○															
専門医数(人)				6															
専攻医枠(人)																			

その他施設の認定

精神科専攻医研修施設、日本認知症学会教育施設、日本大学医学部関連病院

日大と人事交流のある科

精神科

主な出身大学

日本大学、東邦大学、琉球大学、東京医科歯科大学、鹿児島大学、信州大学、長崎大学、大阪医科大学、千葉大学、日本医科大学

救急医療

位置付け

沖縄県精神科救急システム参画

実績

救急外来数/日平均(件)： 救急車取扱数/日平均(件)：

患者数/日平均(人)

外来患者数 48 入院患者数 360

分娩件数/年(件)

臨床病理検討会(CPC)実施状況

剖検数/年(件) CPC開催数/年(回)

当院は当初、慢性期の統合失調症患者の治療および作業療法的リハビリを導入し、退院支援活動に先進的に取り組んでいたが、迫りくる高齢化社会問題と地域の高齢者介護のニーズに応えるために昭和59年に特別養護老人ホーム、平成元年には県内最初の介護老人保健施設を開設し、徐々に老人医療へと軸足を移していった。平成25年には沖縄県より「認知症疾患医療センター」の指定を受け、認知症の相談窓口として医療・介護のアドバイスや認知症セミナーの開催など地域活動も積極的に取り組んでいる。

病院機能では認知症治療病棟50床、重度認知症デイケアを併設しており、県内南部圏域の認知症治療の中核を担っている。平成24年には身体合併症治療への対応を目的に全室に酸素配管を設備した精神科合併症病棟を新築し、医局の人員体制も呼吸器内科医、消化器内科医などが勤務しており、多岐にわたる身体合併症にも対応可能な医療体制が整っている。

医師募集情報

募集する診療科： 精神科
募集する人数： 若干名
給与と福利厚生： 当院規定により給与支給。
その他： ・学会出張あり。
・保育所あり。
・赴任手当あり。

応募問合せ先

担当者 事務部 上江洲 **TEL/FAX** TEL : 098-889-1328 FAX : 098-889-0868
E-mail samariya@tazaki-gourp.or.jp

医療法人社団 輔仁会 田崎病院

開設者	理事長 田崎 琢二
病院管理者	院長 島袋 盛洋
所在地	〒902-0062 沖縄県那覇市字松川 319 番地
連絡先	098-885-2375
URL	http://www.hojinkai-group.com/tazakihospital/
交通アクセス	那覇空港より、車にて約 30 分。モノレール利用にて 20 分、最寄おもろまち駅より徒歩 10 分



診療科目 **精神科** **心療内科** **内科**

許可病床数 (床)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
		170				
平均在院日数 (日)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
		180				

臨床研修病院の指定区分 連携施設 協力型

医師数

常勤：8名 非常勤：6名

専攻医情報等

【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総	
専攻医プログラム認定施設																				
専門医数 (人)				6																
専攻医枠 (人)																				

その他施設の認定

日大と人事交流のある科

精神科

主な出身大学

日本大学、琉球大学、熊本大学、東京医科歯科大学、岐阜大学、東京医科大学、群馬大学、愛知医科大学

医師情報

救急医療

位置付け

沖縄県精神科救急システム参画

実績

救急外来数/日平均 (件) : 0.32 救急車取扱数/日平均 (件) :

患者数/日平均 (人)

外来患者数 146 入院患者数 165

分娩件数/年 (件)

臨床病理検討会 (CPC) 実施状況

剖検数/年 (件) CPC開催数/年 (回)

当院は、昭和 33 年に沖縄県那覇市に精神科病院として開院し、県内の民間精神科病院では一番古い歴史があり地域医療に携わってきた。現在の病床数は 170 床で、精神科急性病棟、精神療養病棟 (2 病棟) の 3 病棟で入院治療を行っている。開院当初は、統合失調症患者の通院及び入院治療が主体で、その後地域支援の充実をはかるため、県内初のグループホームや入所授産施設の開所、精神科デイケア、精神科デナイトケア、精神科訪問看護、相談支援事業所など展開し、精神障がい者の就労や生活支援のため医療と福祉の連携の充実を図っている。また平成 15 年より「沖縄司法精神医学懇話会」を当院で開催しており、医師の他に裁判官や検事、弁護士などの司法の関係者も参加するなど全国的にも貴重な研究会を継続している。(※現在感染状況を考慮し休会中) 平成 28 年よりはうつ病に特化した集団認知行動療法のプログラムを実施しており、県内外から研修の受け入れを行ってきた。他には依存症、てんかん、児童や女性分野に精通した専門医も在籍している。

以上のような特性を生かしつつ、今後も地域医療に貢献したい。

医師募集情報

募集する診療科： 精神科
募集する人数： 若干名
医師について特に希望する要件： 法人の理念に基づき、共に地域医療に
給与と福利厚生： 当院規定により給与支給。
その他：
・学会出張あり。
・保育所あり。
・赴任手当あり。

応募問合せ先

担当者 事務部 西銘（にしめ） TEL/FAX TEL : 098-885-2375 FAX : 098-886-5880
E-mail tazaki@tazaki-gourp.or.jp

IMS グループ 医療法人社団明芳会 板橋中央総合病院

開設者 中村 哲也
 病院管理者 加藤 良太郎
 所在地 〒174-0051 東京都板橋区小豆沢 2-12-7
 連絡先 03-3967-1181 FAX 03-3967-4941
 URL <http://www.ims-itabashi.jp/>



交通アクセス 都営地下鉄三田線「志村坂上駅」下車 A1 / A3 出口より徒歩 1 分
 赤羽駅西口－高島平操車場行「志村坂上区民事務所」バス停 2 下車 0 分
 ときわ台駅－赤羽駅西口行「志村一丁目」バス停 4 下車 5 分
 池袋駅西口－高島平操車場行「志村坂上」バス停 5 下車 2 分
 池袋駅西口－高島平駅「志村坂上」バス停 6 下車 2 分

- 診療科目
- 内科 腎臓内科 血液内科 糖尿病内科 脳神経内科 呼吸器内科 呼吸器外科 循環器内科 人工透析内科
 - 耳鼻咽喉科 消化器内科 消化器外科 呼吸器外科 心血管外科 脳神経外科 整形外科 リウマチ科 移植外科
 - 腎臓外科 泌尿器科 産婦人科 皮膚科 形成外科 眼科 小児科 放射線診断科 放射線治療科
 - 病理診断科 麻酔科 リハビリ科 救急科 高脂血症外来 甲状腺外来 フットケア外来 そけいヘルニア外来
 - 乳腺外来 習慣流産・不育症・不妊症外来 婦人科産婦人科外来 四次元超音波 (4D) 外来 脳血管内治療科 人工股関節外来 男性不妊治療外来
 - 小児循環器科 小児腎臓科 緩和ケア外来

許可病床数 (床)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	569					
平均在院日数 (日)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	391.3					

臨床研修病院の指定区分 ○

医師数

常勤：187名 非常勤：8名

その他施設の認定

厚生労働省臨床研修指定病院、日本医療機能評価機構認定病院、東京都指定二次救急医療機関、東京都がん診療連携協力病院(肺・大腸・肝)、東京都災害拠点連携病院、東京都肝臓専門医療機構、東京都脳卒中急性期医療機関、東京都 CCU 連絡協議会 東京都 CCU ネットワーク加盟施設、東京都 CCU 連絡協議会 急性大動脈スーパーネットワーク緊急大動脈重点病院、東京都区部災害時透析医療ネットワーク、日本静脈経腸栄養学会 NST 稼働施設、日本栄養療法推進協議会 NST 稼働施設、健康保険組合連合会 日帰り人間ドック実施施設、日本病院薬剤師会 研修会実施機関、日本内科学会認定医制度教育病院、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本心血管インターベンション治療学会認定研修施設、3 学会構成心臓血管外科専門医認定機構認定基幹施設、日本呼吸器学会認定施設、日本呼吸器内視鏡学会認定施設、日本脳卒中学会認定研修教育病院、日本脳卒中学会認定一次脳卒中センター、日本脳神経外科学会専門医認定制度研修プログラム参加施設(研修施設)、日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設、日本消化器病学会専門医制度認定施設、日本消化器外科学会専門医修練施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本整形外科学会認定医制度研修施設、日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設、日本眼科学会専門医制度研修施設、日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設、日本麻酔科学会認定病院、日本透析医学会専門医制度認定施設、日本アフェレンス学会認定施設、日本泌尿器科学会専門医教育施設、日本不整脈心電学会認定 不整脈専門医研修施設、日本がん治療認定医機構認定研修施設、東京都医師会母体保護法指定医師研修指定医療機関、日本ステントグラフト実施基準管理委員会、腹部ステントグラフト実施施設/胸部ステントグラフト実施施設、日本感染症学会研修施設、呼吸器外科専門医合同委員会 認定修練施設(基幹施設)、呼吸器外科専門医合同委員会 専門研修基幹施設、一般社団法人日本手外科学会認定研修施設、日本腎臓学会研修施設、日本形成外科学会 教育関連施設、日本臨床神経生理学会 認定施設、日本大腸肛門病学会 認定施設、日本腹部救急医学会 腹部救急認定医・教育医制度認定施設、日本胆道学会 認定施設、日本膵臓学会指導施設、日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設、日本超音波医学会認定超音波専門医制度研修基幹施設、日本女性医学学会専門医制度認定研修施設、日本消化管学会胃腸科指導施設、日本生殖医学会生殖医療専門医制度研修連携施設、日本アレルギー学会アレルギー専門医準教育研修施設、日本総合病院精神医学会一般病院連携精神医学専門医特定研修施設、日本脳神経外傷学会認定研修施設、日本急性血液浄化学会認定指定施設

主な出身大学

秋田大学、愛知医科大学、岩手医科大学、愛媛大学、大分大学、大阪大学、岡山大学、鹿児島大学、金沢大学、金沢医科大学、川崎医科大学、関西医科大学、北里大学、九州大学、杏林大学、近畿大学、熊本大学、久留米大学、群馬大学、埼玉医科大学、札幌医科大学、滋賀医科大学、島根大学、順天堂大学、昭和大学、信州大学、聖マリアンナ医科大学、千葉大学、筑波大学、帝京大学、東海大学、東京医科大学、東京慈恵会医科大学、東京女子医科大学、東邦大学、徳島大学、鳥取大学、獨協医科大学、富山大学、長崎大学、新潟大学、日本医科大学、日本大学、浜松医科大学、弘前大学、広島大学、福島県立医科大学、北海道大学、北京大學、三重大、宮崎大学、山形大学、山口大学、山梨大学、横浜市立大学、琉球大学

位置付け

二次救急医療機関

実績

救急外来数/日平均(件)：40.3 救急車取扱数/日平均(件)：21.2

患者数/日平均(人)

外来患者数 20,384 入院患者数 1,075

分娩件数/年(件)

69

臨床病理検討会(CPC)実施状況

剖検数/年(件) 14 CPC開催数/年(回) 8

当院の初期研修医2年間は臨床医の基礎を作るのみならず社会人としての基礎を作る2年間と考えています。したがって当院の初期研修医は将来、医療チームのリーダーとなるべく看護師、薬剤師、検査技師、事務スタッフなどとも協力して積極的に患者様の治療に参加して頂きます。

東京の城北地区ならびに埼玉県南部を主たる診療圏とする高度2次救急病院であり、年間9,000台近くの救急搬送患者様を昼夜を問わず受け入れています。そのためERではきわめて多彩な症例を経験することができ、基礎的な臨床能力を短期間で効率的に習得することが可能です。一般診療においても大学病院や専門病院と同等もしくはそれ以上のレベルで、治療がなされており最新、最高の医療技術を学ぶことができます。

初期研修情報

研修期間：令和5年4月1日から2年間

募集内容

募集予定人数：12名

後期専門研修募集情報

【募集診療科】

麻酔科：板橋中央総合病院麻酔科専門研修プログラム
総合診療：板橋中央総合病院総合診療専門研修プログラム
外科：板橋中央総合病院外科専門研修プログラム
内科：IMSグループ板橋中央総合病院内科専門研修プログラム

【募集定員】

総合診療：2名(予定)
外科：6名(予定)
麻酔科：3名(予定)
内科：3名(予定)

医師募集情報

募集する診療科：一度お問い合わせください。
ご要望に応じて、IMSグループ内の病院・施設のご紹介も可能です。
募集する人数：各診療科若干名

応募問合せ先

担当者 総務課 原口 TEL/FAX TEL：03-3967-1258 FAX：03-3967-4941
E-mail kenyu.haraguchi@ims.gr.jp

医療法人徳洲会 湘南藤沢徳洲会病院

開設者	安富祖 久明
病院管理者	高力 俊策
所在地	〒251-0041 神奈川県藤沢市辻堂神台 1-5-1
連絡先	0466-35-1177 FAX 0466-35-1300
URL	https://fujisawatokushukai.jp/
交通アクセス	JR 辻堂駅より徒歩約8分



診療科目	内科	呼吸器内科	循環器内科	消化器内科	神経内科	外科	呼吸器外科	心血管外科	消化器外科
	小児外科	肛門外科	整形外科	脳神経外科	形成外科	美容外科	アレルギー科	リウマチ科	小児科
	皮膚科	泌尿器科	産科	婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	リハビリテーション科	放射線科	
	麻酔科	救急科	腫瘍内科	腎臓内科	人工透析内科	内分泌・糖尿病内科	肝臓・胆嚢・膵臓内科	内視鏡内科	
	乳腺外科	脳血管外科	小児泌尿器科	女性泌尿器科					

許可病床数(床)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	419					
平均在院日数(日)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	11.5					

臨床研修病院の指定区分 基幹型

医師数

常勤：141名 非常勤：37.23名

専攻医情報等

【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総
専攻医プログラム認定施設	○												○						○
専門医数(人)	18	2	1		14	3	4	2	1	3	4	4	8	2		7	2		
専攻医枠(人)	5												3						2

その他施設の認定

日本消化器病学会認定施設、日本肝臓学会認定施設、日本循環器学会循環器専門医研修施設、日本内分泌学会認定教育施設、日本糖尿病学会認定教育施設Ⅰ、日本呼吸器学会認定施設、日本神経学会専門医制度准教育施設、日本アレルギー学会認定教育施設(呼吸器内科/リウマチ・膠原病・アレルギー科)、日本リウマチ学会教育施設、日本感染症学会連携研修施設、日本臨床腫瘍学会認定研修施設、日本消化器内視鏡学会指導施設、日本消化器外科学会専門医制度指定修練施設、日本心血管インターベンション治療学会研修施設、日本大腸肛門病学会認定施設、日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設、日本ペインクリニック学会指定研修施設、日本脳卒中学会専門医認定制度研修教育病院、日本脈管学会認定研修関連施設、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医制度関連認定施設、日本乳癌学会関連施設(1)、日本周産期・新生児医学会周産期専門医(母子・胎児)暫定指定認定施設、日本小児外科学会教育関連施設B、日本プライマリ・ケア連合学会家庭医療後期研修プログラム、日本プライマリ・ケア連合学会新家庭医療専門研修プログラム、日本病院総合診療医学会認定施設、日本病院総合診療医学会専門医研修施設

日大と人事交流のある科

泌尿器科、耳鼻咽喉科

主な出身大学

日本大学、慶應義塾大学、岩手医科大学、その他多岐に渡る

医師情報

位置付け

二次救急(北米型ER)

実績

救急外来数/日平均(件): 56.2 救急車取扱数/日平均(件): 23

救急医療

患者数/日平均(人)

外来患者数 931 入院患者数 29

分娩件数/年(件)

309

臨床病理検討会(CPC)実施状況

剖検数/年(件) 4 CPC開催数/年(回) 8

当院は神奈川県湘南東部医療圏の西部：辻堂地区の中心的な急性期病院として、前身である茅ヶ崎徳洲会総合病院が1980年に設立されるまで医療過疎地と言われてきた湘南エリアの救急医療を担うのみならず、奄美群島の地域医療を原点とする徳洲会グループの一員として、質の高いプライマリ・ケアが求められる僻地離島医療に貢献できる医療スタッフの教育を押し進めてきました。安心安全な医療を提供していくのは「人」であり、現場で医療を実践しているスタッフの育成を非常に大切に考え、有資格スタッフのみならず、あらゆる職種のスタッフの研修・資格取得のサポートを強化し、育成していくための仕組み作りを行っております。今後も地域の方々に信頼され安心・安全な医療を提供できる病院、職員が当院で働いていることを誇れる病院を目指してまいります。

医師募集情報

募集する診療科：	ER、総合内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科（肝胆膵・消化器病センター）・内分泌・糖尿病内科、腎臓内科、脳神経内科（神経内科）、リウマチ・膠原病・アレルギー科、外科（一般）、外科（乳腺）、整形外科（一般・股関節）、心臓血管外科、脳神経外科・脳血管外科、皮膚科、小児科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科（治療）、放射線科（読影）、麻酔科（周術期管理）、集中治療（ICU）、人間ドック・健診センター
募集する人数：	若干名
医師について特に希望する要件：	当院および徳洲会グループの理念を理解し実践していただくこととなります。
給与と福利厚生：	経験等を考慮し、当院規定に準拠します。
処遇 給与（月額）：	7年目：520,000円～／10年目：610,000円～／15年目：720,000円～
賞与（年額）：	7月・12月に各1ヶ月分
諸手当：	役職手当、家族手当、診療手当、応援手当、当直手当（卒後4年次以降：50,000円／回） オンコール手当（3,000円／回）等。
社会保険：	社会保険含む、各種保険あり。
医師賠償責任保険：	○病院加入
福利厚生：	家賃の半額は病院負担（上限50,000円）。法人契約物件あり。 交通費支給。車通勤可。 学会補助：年2学会の年会費を病院負担とする。国内学会出張経費の補助については病院名で発表する場合、学会参加費・旅費交通費・宿泊費用（1万円／1泊を上限）・ポスター制作費の実費を認める。 *聴講のみの場合、年2回までは出張扱い／3回目以降は休暇／上限12万円まで 海外の学会での発表（計30万円／年2回まで）を当院で負担。 職員互助会あり（院内部活：野球、ソフトボール、バレーボール、サッカー、フットサル、バドミントン、マリンスポーツ、テニス、英会話等多数。）

応募問合せ先

担当者 総務課 廣田（ひろた）

TEL/FAX TEL：0466-35-1313（総務課直通） FAX：0466-35-1300

E-mail somu@ctmc.jp

あしかがの森足利病院

開設者	社会福祉法人 全国重症心身障害児（者）を守る会
病院管理者	院長 藤田 之彦
所在地	〒326-0011 栃木県足利市大沼田町 615
連絡先	TEL：0284-91-0611 FAX：0284-91-2867
URL	http://ashikaganomori-hospital.jp/
交通アクセス	東武伊勢崎線「足利市駅」からバスで約 20 分



診療科目 **内科** **小児科** **神経小児科** **外科** **整形外科** **皮膚科** **リハビリテーション科** **歯科(障害)**

許可病床数(床)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	240					
平均在院日数(日)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他

臨床研修病院の指定区分

医師数

常勤：9名 非常勤：15名

専攻医情報等

【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総
専攻医プログラム認定施設																			
専門医数(人)		6	1																
専攻医枠(人)																			

その他施設の認定

日本てんかん学会認定研修施設、日本小児神経学会小児神経専門医研修認定関連施設

日大と人事交流のある科

小児科、神経小児科

主な出身大学

日本大学

医
師
情
報

位置付け

実績

救急外来数/日平均(件)： 救急車取扱数/日平均(件)：

患者数/日平均(人)

外来患者数 54.4 入院患者数 179

分娩件数/年(件)

臨床病理検討会(CPC)実施状況

剖検数/年(件) CPC開催数/年(回)

重症心身障害児・者の医療・療育を主体とし、神経難病、一般内科・小児科、小児慢性疾患などを中心に、医療・看護・福祉が一体となったケアを展開しております。

足利の豊かな自然の中、じっくりと医療に向き合えます。待遇等は優遇しますので、ご連絡ください。

東松山市立市民病院

開設者	東松山市長 森田 光一
病院管理者	病院事業管理者 杉山 聡
所在地	〒355-0005 埼玉県東松山市松山 2392
連絡先	0493-24-6111
URL	http://hmy-municipalhos.jp/
交通アクセス	東武東上線東松山駅下車 国際十王バス「熊谷駅行き」市民病院前、又は川越観光バス「マイタウン循環」市民病院東 徒歩2分 市内循環バス（大谷コース）市民病院下車



診療科目 **内科** **外科** **小児科** **泌尿器科** **皮膚科** **整形外科** **脳神経外科** **眼科** **耳鼻咽喉科**
放射線科 **麻酔科** **リハビリテーション科**

許可病床数(床)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	110		4			
平均在院日数(日)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	14.1					

臨床研修病院の指定区分

医師数

常勤：21名 非常勤：37名

専攻医情報等

【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総
専攻医プログラム認定施設																			
専門医数(人)	6				2	1		2		1	2		1						
専攻医枠(人)																			

その他施設の認定

日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設、日本麻酔科学会麻酔科認定病院、日本整形外科学会専門医研修施設、日本外科学会外科専門医制度関連施設、日本眼科学会専門医研修施設、感染症指定届出機関

日大と人事交流のある科

脳神経外科、整形外科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科

主な出身大学

日本大学、埼玉医科大学、群馬大学 他

医
師
情
報

位置付け

二次救急医療機関

実績

救急外来数/日平均(件)：16.4 救急車取扱数/日平均(件)：2.4

救
急
医
療

患者数/日平均(人)

外来患者数 320.8 入院患者数 78.3

分娩件数/年(件)

臨床病理検討会(CPC)実施状況

剖検数/年(件) CPC開催数/年(回)

埼玉県のほぼ中央に位置する東松山市において、市内及び比企地域の中核病院としての役割を担う公立病院です。一般病床(急性期98床、地域包括ケア12床)と感染症病床(4床)を有し、救急告示医療機関として二次救急を受け入れています。また、近隣の福祉施設等と連携しながら、地域のニーズに合わせた医療の提供を行い、地域住民が安心して健康に暮らせる街づくりにも貢献します。

関連大学及び医局との緊密なコミュニケーションを図りながら医師の勤務環境を整えるとともに、外来診療において、一般外来のほか医師の専門領域に特化した専門外来を開設するなど、働きがいのある職場づくりに努めています。

公益財団法人 河野臨牀医学研究所 附属品川リハビリテーション病院

開設者	横山 孝
病院管理者	渡辺 寛
所在地	〒141-0001 東京都品川区北品川 5-2-1
連絡先	03-5793-3355
URL	http://kcmi.or.jp/shinagawarehabilitation/
交通アクセス	JR大崎駅 徒歩7分 京浜急行 北品川駅 徒歩12分



診療科目 **リハビリテーション科** **内科**

許可病床数(床)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
平均在院日数(日)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
					130	
					70	

臨床研修病院の指定区分 協力型

医師数

常勤：4名 非常勤：2名

専攻医情報等

【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総	
専攻医プログラム認定施設																			○	
専門医数(人)																			1	
専攻医枠(人)																				

その他施設の認定

日大と人事交流のある科

脳神経外科

主な出身大学

日本大学、慈恵会医科大学

医師情報

位置付け

実績

救急外来数/日平均(件)： 救急車取扱数/日平均(件)：

患者数/日平均(人)

外来患者数 入院患者数 130

分娩件数/年(件)

臨床病理検討会(CPC)実施状況

剖検数/年(件) CPC開催数/年(回)

回復期・療養期のリハビリテーションを提供し、併設老人保健施設等との一体化運用により、地域医療に貢献いたします。

社会福祉法人信愛報恩会 信愛病院

開設者	社会福祉法人信愛報恩会 理事長 桑名 齊
病院管理者	院長 越永 守道
所在地	〒204-0024 東京都清瀬市梅園 2-5-9
連絡先	TEL : 042-491-3211 FAX : 042-491-3214
URL	http://www.shin-ai.or.jp/
交通アクセス	西武池袋線秋津駅南口より徒歩 12 分 西武池袋線清瀬駅北口、JR 武蔵野線新秋津駅より無料送迎バスあり



診療科目 **内科** **老年内科** **循環器内科** **消化器内科** **呼吸器内科** **脳神経外科** **整形外科** **リハビリテーション科**
もの忘れ外来 **緩和ケア内科**

許可病床数(床)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	63				136	
平均在院日数(日)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	55.1					

臨床研修病院の指定区分

医師情報

医師数
常勤：9名 非常勤：21名

専攻医情報等
【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総
専攻医プログラム認定施設																			
専門医数(人)																			
専攻医枠(人)																			

その他施設の認定

日大と人事交流のある科
第3内科、脳神経外科、呼吸器内科、循環器内科

主な出身大学
日本大学

救急医療

位置付け

実績
救急外来数/日平均(件)： 救急車取扱数/日平均(件)：

患者数/日平均(人)			
外来患者数	77.8	入院患者数	168.7

分娩件数/年(件)	

臨床病理検討会(CPC)実施状況	
剖検数/年(件)	CPC開催数/年(回)

信愛病院は、一般病棟(15:1)、緩和ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟、医療・介護療養病棟からなるケアミックス型の病院です。社会福祉法に基づき、生活困難者のための無料又は低額な料金での診療を実施しています。また、生活習慣病やリハビリに積極的に取り組むとともに、がん及び認知症を含む長期療養患者の受け入れや、訪問診療、訪問看護、訪問リハビリを通して在宅医療サービスの提供を行っています。地域の方が、いつでも、安心して利用できる病院づくりを目指し、併設福祉施設との連携をとりながら、保健・医療・介護・福祉事業を推進しています。残業はほとんどありませんので、医師の方も自分の時間をしっかり確保できます。また、65歳以上の方も勤務しております。

医療法人社団創進会 みつわ台総合病院

開設者	理事長 中田 泰彦
病院管理者	院長 中田 泰彦
所在地	〒264-0021 千葉県千葉市若葉区若松町 531-486
連絡先	TEL : 043-251-3030 FAX : 043-284-0181
URL	http://www.mitsuwadaibyoin.or.jp
交通アクセス	JR 総武本線 都賀駅より徒歩 20 分、バス 8 分、タクシー約 5 分 JR 総武本線 都賀駅下車・千葉モノレール 都賀駅下車→千葉内陸バス「みつわ台車庫行き」→「みつわ台総合病院入口」下車 JR 総武本線 千葉駅下車→千葉内陸バス「みつわ台総合病院行き」終点下車



- 診療科目
- 内科 消化器科 循環器科 呼吸器科 外科 整形外科 形成外科 脳神経外科 心臓血管外科
 - 皮膚科 泌尿器科 肛門科 婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 歯科 歯科口腔外科 放射線科
 - リハビリテーション科 麻酔科 病理診断科 人工透析

許可病床数(床)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	261					
平均在院日数(日)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	16					

臨床研修病院の指定区分 協力型

医師数

常勤：41名 非常勤：56名

専攻医情報等

【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総
専攻医プログラム認定施設	○				○	○				○	○						○		
専門医数(人)	6				5	4	1	1	1	1	1	1	2	1			1		2
専攻医枠(人)	2				2	2				1	1						1		

その他施設の認定

日本医療機能評価機構認定施設、臨床研修病院指定施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本消化器外科学会認定専門医制度関連施設、日本消化器病学会認定施設、日本消化器内視鏡学会指導連携施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本泌尿器科学会専門医教育施設、日本脳神経外科学会専門医指定訓練施設、日本脳卒中学会認定研修教育病院、日本麻酔科学会麻酔科認定病院、日本整形外科学会認定研修施設、日本手の外科学会認定研修施設、日本眼科学会専門医制度研修施設、マンモグラフィ検診施設画像認定施設、日本形成外科学会教育関連施設、日本脳ドック学会認定施設、日本呼吸器学会関連施設、下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実施基準による実施施設、日本肝臓学会認定施設、日本門脈圧亢進症学会技術認定教育施設

日大と人事交流のある科

消化器外科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、心臓血管外科、耳鼻咽喉科、形成外科

主な出身大学

日本大学、山梨大学、東京女子医科大学、順天堂大学

位置付け

二次救急医療機関

実績

救急外来数/日平均(件)：28.1 救急車取扱数/日平均(件)：21.9

患者数/日平均(人)

外来患者数 583 入院患者数 205

分娩件数/年(件)

臨床病理検討会(CPC)実施状況

剖検数/年(件) 3 CPC開催数/年(回) 3

当院は地域医療の中核的基幹病院として救急医療を重視し、市内ではトップクラスの救急搬送件数を有しております。健診センターにて予防医学を、急性期疾患から慢性期疾患、回復期リハビリ病棟では早期リハビリなど、幅広い年齢層の様々な疾患に対して、アットホームな雰囲気の下で研修ができます。

医療法人伯鳳会 東京曳舟病院

開設者	古城 資久
病院管理者	山本 保博
所在地	〒131-0032 東京都墨田区東向島 2-27-1
連絡先	03-5655-1120
URL	http://tokyo-hikifune-hp.jp/
交通アクセス	東武スカイツリーライン「曳舟」駅下車 徒歩0分（駅直結）



- 診療科目
- 内科
 - 呼吸器内科
 - 循環器科
 - 消化器内科
 - 腎臓内科
 - 神経内科
 - 外科・消化器外科
 - 乳腺外科
 - 呼吸器外科
 - 血管外科
 - 脳神経外科
 - 整形外科
 - 泌尿器科
 - 形成外科
 - 耳鼻咽喉科
 - 皮膚科
 - 糖尿病内科
 - 救急・総合診療科
 - 麻酔科
 - 放射線科
 - 病理診断科
 - リハビリテーション科
 - 泌尿器外科

許可病床数（床）	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	200					
平均在院日数（日）	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	15.3					

臨床研修病院の指定区分 協力型

医師情報

医師数

常勤：24名 非常勤：95名

専攻医情報等

【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総
専攻医プログラム認定施設											○					○			
専門医数（人）											1					9			
専攻医枠（人）											2					8			

その他施設の認定

日大と人事交流のある科

呼吸器内科、消化器外科、整形外科、救急科、脳神経外科、泌尿器科、麻酔科

主な出身大学

日本大学、日本医科大学、獨協医科大学、高知大学、北里大学、聖マリアンナ医科大学、東京医科大学、兵庫医科大学、千葉大学、奈良県立医科大学、昭和大学

救急医療

位置付け

東京都指定二次救急医療機関、災害拠点病院、東京 DMAT、日本 DMAT

実績

救急外来数／日平均（件）：41 救急車取扱数／日平均（件）：20

患者数／日平均（人）

外来患者数 320 入院患者数 186

分娩件数／年（件）

臨床病理検討会（CPC）実施状況

剖検数／年（件） CPC開催数／年（回）

地域密着型の医療機関として、傷病者の皆様に平等に安心、安全な先進医療を提供することを理念と致しております。また臨床研修施設として東京山手メディカルセンター、同愛記念病院、赤穂中央病院、東京山手メディカルセンターより研修医受け入れ予定があります。特に救急医療、災害医療には実績があり、熊本地震、東日本大震災、中越等災害医療救護班の投入実績があり東京 DMAT、日本 DMAT、JMAT、AMAT を擁する医療機関として活動致しております。令和3年度救急搬送受け入れ実績は7,578台となっております。

医療法人一条会（社団） 一条会病院

開設者	医療法人一条会（社団）
病院管理者	松本 義明
所在地	〒272-0836 千葉県市川市北国分4-26-1
連絡先	TEL：047-372-5111 FAX：047-372-5116
URL	http://ichijyokai.or.jp/
交通アクセス	北総鉄道北総線 北国分駅より徒歩7分 〈バス〉松戸駅西口から聖徳学園行 一条会病院前下車



- 診療科目
- 内科
 - 外科
 - 整形外科
 - 脳神経外科
 - 消化器科
 - 循環器科
 - 放射線科
 - 肛門科
 - 気道食道科
 - 麻酔科
 - 泌尿器科
 - 形成外科
 - 眼科

許可病床数（床）	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	140				59	
平均在院日数（日）	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	17				150	

臨床研修病院の指定区分

医師数

常勤：6名 非常勤：24名

専攻医情報等

【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総
専攻医プログラム認定施設																			
専門医数（人）	2				5	4		1		1	1								
専攻医枠（人）																			

その他施設の認定

日大と人事交流のある科

消化器外科、整形外科、腎臓・内分泌内科、循環器内科

主な出身大学

日本大学、群馬大学、自治医科大学

医師情報

救急医療

位置付け

二次救急医療機関

実績

救急外来数／日平均（件）：11 救急車取扱数／日平均（件）：5

患者数／日平均（人）

外来患者数 110 入院患者数 105

分娩件数／年（件）

臨床病理検討会（CPC）実施状況

剖検数／年（件） CPC開催数／年（回）

当院は、市川市北部地域・松戸市に隣接する医療機関として、昭和29年より地域医療に貢献するよう努めております。平成20年より電子カルテを導入、平成28年3月クラウド型電子カルテに更新。救急医療から療養まで幅広く対応しています。

公益財団法人 佐々木研究所附属杏雲堂病院

開設者	公益財団法人佐々木研究所
病院管理者	相馬 正義
所在地	〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-8
連絡先	03-3292-2051
URL	http://www.kyoundo.hospital.jp

交通アクセス
 JR中央線：御茶ノ水駅 徒歩 2分
 東京メトロ：新御茶ノ水駅 徒歩 3分、御茶ノ水駅 徒歩 5分
 神保町駅 徒歩 10分
 都営地下鉄：小川町駅 徒歩 12分



- 診療科目
- 内科
 - リウマチ科
 - 糖尿病内科
 - 消化器内科
 - 肝臓内科
 - 循環器内科
 - 腫瘍内科
 - 呼吸器内科
 - 消化器外科
 - 婦人科
 - 乳腺外科
 - 呼吸器外科
 - 整形外科
 - 皮膚科
 - 泌尿器科
 - 放射線科
 - リハビリテーション科
 - 病理診断科
 - 麻酔科
 - 血液内科

許可病床数(床)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	198					
平均在院日数(日)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	14.5					

臨床研修病院の指定区分 ー

医師情報

医師数

常勤：31名 非常勤：8.9名

専攻医情報等

【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総
専攻医プログラム認定施設					△		△												
専門医数(人)	4				3	2	4						2	1				1	1
専攻医枠(人)					1		1												

※ △…連携施設

その他施設の認定

日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本消化器病学会専門医制度認定施設、日本消化器内視鏡学会指導施設、日本婦人科腫瘍学会専門医制度指定修練施設、日本レーザー医学会認定レーザー指導施設、日本臨床細胞学会認定施設、日本乳癌学会認定施設、日本呼吸器内視鏡学会専門医制度認定施設、日本肝臓学会認定施設、日本消化器外科学会専門医関連施設、日本麻酔科学会認定病院、日本臨床腫瘍学会認定研修施設、日本アレルギー学会アレルギー専門医教育研修施設、日本気管食道科学会認定専門医研修施設、日本高血圧学会高血圧研修施設

日大と人事交流のある科

内科、リウマチ科、呼吸器内科、皮膚科、血液内科

主な出身大学

日大、東京医科歯科大、東大、慈恵医大、千葉大 他

救急医療

位置付け

一次救急

実績

救急外来数/日平均(件)： 救急車取扱数/日平均(件)：333 / 0.9

患者数/日平均(人)

外来患者数	入院患者数
64,0791 / 266.1	51,4961 / 141.1

分娩件数/年(件)

臨床病理検討会(CPC)実施状況

剖検数/年(件)	CPC開催数/年(回)	21
----------	-------------	----

杏雲堂病院は「医学の進歩に寄与し、医業をもって社会に貢献する」という基本理念のもと、神田駿河台の地で百三十有余年にわたって地域のみなさまに寄り添い、時代に即した医療を提供してきました。とりわけ、がん診療において高い評価を得るとともに、2014年に「地域包括ケア病棟」、2018年には「緩和ケア病棟」を開設し、医師や看護師をはじめとする多職種のスタッフが一丸となって、地域のみなさまにご安心いただける医療の提供に努めています。

医療法人豊仁会 三井病院

開設者	秦 怜志
病院管理者	秦 怜志
所在地	〒350-0066 埼玉県川越市連雀町 19 番地 3
連絡先	Tel : 049-222-5321
URL	https://www.mitsui-hospital.com
交通アクセス	西武新宿線 本川越駅より徒歩 7 分 東武東上線 川越市駅より徒歩 14 分 東武東上線・JR川越線 川越駅よりバス 5 分 (下松江町下車) 徒歩 1 分



- 診療科目
- 乳腺外科
 - 眼科
 - 内科
 - 外科
 - 小児科
 - 呼吸器科
 - 消化器科
 - 循環器科
 - リウマチ科
 - 整形外科
 - 脳神経外科
 - 小児外科
 - 泌尿器科
 - 肛門科
 - リハビリテーション科
 - 放射線科
 - 歯科
 - 矯正歯科
 - 歯科口腔外科
 - 腫瘍内科
 - 消化器外科
 - 婦人科
 - 形成外科
 - 麻酔科
 - 腎臓内科
 - 皮膚科

許可病床数 (床)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	83					
平均在院日数 (日)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	15					

臨床研修病院の指定区分

医師数

常勤：13名 非常勤：83名

専攻医情報等

【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総
専攻医プログラム認定施設					○														
専門医数 (人)	5	1			11	6	2	3		4	2		1					1	
専攻医枠 (人)																			

その他施設の認定

医療機関：保険医療機関、労災保険指定医療機関、指定自立支援医療機関（精神通院医療）、身体障害者福祉法指定医の配置されている医療機関、生活保護法指定医療機関、難病の患者に対する医療等に関する法律に基づく指定医療機関、原子爆弾被爆者医療指定医療機関、肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業指定医療機関

認定施設：日本医療機能評価機構認定病院、日本乳癌学会認定施設、日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会認定施設、日本乳がん検診精度管理中央機構認定マンモグラフィ検診施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設（指定施設）、日本消化器病学会専門医制度関連施設、下肢静脈瘤に対する血管内レーザー焼灼術の実施基準による実施施設、日本泌尿器科学会専門医教育施設、日本静脈経腸栄養学会 NST 稼働施設、NCD 施設会員、DPC 対象病院、日大板橋病院連携医療機関（日本大学医学部関連病院認定）、日本整形外科学会認定研修施設

日大と人事交流のある科

呼吸器内科、小児外科、整形外科、心臓外科、循環器内科、泌尿器科、消化器内科、消化器外科、腎臓高血圧内分泌内科

主な出身大学

日本大学、埼玉医科大学、秋田大学、山口大学、弘前大学、東京女子医科大学 他

位置付け

二次救急医療期間

実績

救急外来数/日平均 (件)：20 救急車取扱数/日平均 (件)：10

患者数/日平均 (人)

外来患者数 350 入院患者数 83

分娩件数/年 (件)

臨床病理検討会 (CPC) 実施状況

剖検数/年 (件) CPC開催数/年 (回)

当院は開設当初からの病院理念に基づき、安全で安心な地域社会の実現と、地域から信頼される病院であり続けることを目指し、川越地区における地域中核の急性期病院として発展してきました。

年間救急車受入数は 3,000 件を超え、救急医療への積極的な取り組みや、コロナ禍での地域のニーズにいち早く対応する体制を整えています。外来部門においては、内科専門領域に力を入れ、腫瘍内科、腎臓内科、内分泌糖尿病内科等の専門外来を充実させています。

手術部門においては、乳腺・形成・消化器・整形外科を中心に全麻手術は昨年度 740 件の実施があり、今後手術室増設により更なる拡充を目指します。また、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所も併設しており、在宅療養支援病院として、急性期医療から在宅復帰までの幅広い医療・支援を展開しています。

今年 8 月末には新棟が竣工予定であり、手術部門の拡充、地域包括ケア病棟、腎透析部門の新設が地域において待ち望まれているところです。その他関連施設としてクリニック、特別養護老人ホーム、保育園、病児保育を運営しており、職員が働きやすい環境を整えています。

赤羽中央総合病院

開設者	医療法人社団 博栄会 理事長 朝倉 正博
病院管理者	病院長 廣高史
所在地	〒115-0042 東京都北区志茂1丁目19-14
連絡先	TEL : 03-3902-0348 FAX : 03-5249-5631
URL	http://www.hakueikai.or.jp
交通アクセス	赤羽駅南口より徒歩約8分



- 診療科目
- 外科
 - 整形外科
 - 泌尿器科
 - 外傷外科
 - 消化器外科
 - 内視鏡外科
 - 内科
 - 循環器内科
 - 消化器内科
 - 腎臓内科
 - 人工透析内科
 - 神経内科
 - 呼吸器内科
 - 脳神経外科
 - 麻酔科
 - 救急科
 - 放射線科
 - 老年病内科
 - リハビリテーション科
 - 人間ドック科
 - 心臓血管外科
 - 小児科
 - 婦人科
 - 耳鼻科
 - 眼科
 - 呼吸器外科

許可病床数(床)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	154				45	
平均在院日数(日)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	18					

臨床研修病院の指定区分

医師数

常勤：35名 非常勤：40名

専攻医情報等

【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総
専攻医プログラム認定施設	○				○					○									
専門医数(人)	10	1	1		4		1	1	1	2			3						
専攻医枠(人)					1					1									

その他施設の認定

日本泌尿器科学会認定泌尿器科専門医教育施設基幹教育施設、日本外科学会外科専門医制度関連施設、日本消化器病学会専門医制度認定関連施設、日本腎臓学会研修施設、日本透析医学会認定医制度教育関連施設、日本循環器学会教育関連施設、日本整形外科学会専門医研修施設、日本麻酔科学会麻酔科認定病院(研修施設)、日本呼吸器学会認定関連教育施設、日本アレルギー学会認定専門医教育研修施設、公益財団法人痛風財団痛風協力医療機関、社)全日本病院協会健康保険組合連合会指定人間ドック実施施設、北区乳癌検診実施医療機関

日大と人事交流のある科

内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、人工透析内科、神経内科、呼吸器内科、心臓血管外科、呼吸器外科、婦人科、小児科、耳鼻科

主な出身大学

日本大学、昭和大学、東京医科大学、帝京大学 他

医師情報

位置付け

二次救急医療機関、東京都災害拠点連携病院、北区在宅療養協力支援病床協力医療機関

実績

救急外来数/日平均(件)：5 救急車取扱数/日平均(件)：5

救急医療

患者数/日平均(人)

外来患者数 400 入院患者数 188

分娩件数/年(件)

臨床病理検討会(GPC)実施状況

剖検数/年(件) CPC開催数/年(回)

当院は、1954年(昭和29年)7月に開設され、急性期救急医療から在宅医療・看護まで包括的ケアを展開している北区の総合病院(東京都指定二次救急医療機関)です。医療法人社団博栄会は、当院の他、腎臓内分分泌高血圧内科、血管外科、整形外科・リハビリテーション科に特化した浮間中央病院、介護老人保健施設「太陽の都」、睡眠時無呼吸外来、歯科口腔外科、透析の外来診療を行う赤羽中央総合病院附属クリニック、在宅ケアサービスを行う博栄会訪問看護ステーション並びに博栄会居宅介護支援センターをも併設し、地域に根ざしたトータルケアを展開しております。当病院は2021年10月に、博栄会創業65周年記念事業の一環として、旧赤羽中学校跡地に「博栄会 赤羽中央総合病院・東京シニアケアセンター赤羽」として新築移転いたしました。新病院は現赤羽中央総合病院の入院ベッド数150床から199床に増床許可を受け、ER、婦人科、小児科並びに呼吸器外科外来等を新設し、循環器内科、眼科、皮膚科、耳鼻咽喉科もこの施設に移転して、より充実した総合病院となりました。さらに同じ建物内に東京シニアケアセンター赤羽(100床)を併設し、開業以来の「私達は病める方、介護を必要とする方に『愛と奉仕』の温かい手をさしのべます」との運営理念の下、「未来志向の全方位型複合医療施設」として新しくスタートしたばかりです。

医療法人社団 藤崎病院

開設者	理事長 藤崎 滋
病院管理者	院長 藤崎 滋
所在地	〒136-0076 東京都江東区南砂 1-25-11
連絡先	03-3648-2111
URL	http://fujisaki-hp.com
交通アクセス	東京メトロ東西線「東陽町」駅下車 バス5分（錦糸町駅行） 都営地下鉄新宿線「西大島」駅下車 バス5分（門前仲町行） JR中央総武線／東京メトロ半蔵門線「錦糸町」駅下車 バス15分（門前仲町行） JR中央総武線／東武亀戸線「亀戸」駅下車 バス10分（西葛西駅行） JR京葉線／東京メトロ有楽町線「新木場」駅 バス15分（錦糸町駅行） いずれのルートも「境川（さかいがわ）」バス停下車すぐ前 1分



診療科目 **外科** **脳神経外科** **整形外科** **内科** **循環器科** **肛門科** **胃腸科** **リハビリテーション科**
麻酔科 **放射線科（画像診断）**

許可病床数（床）	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	119					
平均在院日数（日）	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	16.6					

臨床研修病院の指定区分

医師数

常勤：13名 非常勤：27名

専攻医情報等

【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総
専攻医プログラム認定施設					1														
専門医数（人）	2				2	3					1		2						
専攻医枠（人）					1														

その他施設の認定

日本医療機能評価機構認定（3rdG：Ver. 1.1）

臨床研修施設

東京都脳卒中急性期医療機関、東京都肝臓病専門医療機関、病院総合医育成プログラム認定施設、日本外科学会 専門医認定関連施設、日本消化器病学会 認定施設、日本消化器外科学会 関連施設、日本大腸肛門病学会、日本整形外科学会、日本手外科学会、日本糖尿病学会、日本血液学会、日本がん治療認定機構、日本脳神経外科学会（専門医研修プログラム関連施設）

日大と人事交流のある科

外科（乳腺内分泌外科）、脳神経外科、内科（循環器内科、呼吸器内科）、麻酔科、病理診断科

主な出身大学

防衛医科大学、日本大学 他

医師情報

位置付け

東京都2次救急医療機関

実績

救急外来数／日平均（件）：14.3 救急車取扱数／日平均（件）：7.5

救急医療

患者数／日平均（人）

外来患者数 249 入院患者数 86

分娩件数／年（件）

臨床病理検討会（CPC）実施状況

剖検数／年（件） CPC開催数／年（回）

地域住民の皆様が安心して生活ができるよう、365日・24時間体制で救急医療、急性期疾患の診療を提供します。

地域の皆様の健康管理はもちろんのこと、消化器癌の診断・治療にも専門的知識・技能をもって力を注ぎます。

小豆畑病院

開設者	医療法人社団青燈会 理事長 小豆畑 丈夫
病院管理者	小豆畑 丈夫
所在地	〒311-0105 茨城県那珂市菅谷 605
連絡先	TEL : 029-295-2611 FAX : 029-295-5022
URL	http://www.azuhata-hosp.com/
交通アクセス	常磐自動車道「那珂インター」より5分 JR水郡線「上菅谷駅」下車、徒歩10分、タクシー約3分



- 診療科目 **救急総合診療科** **一般内科** **循環器科** **消化器内科** **外科** **消化器外科** **脳神経外科** **脊椎・脊髄外科** **肛門外科**
泌尿器科 **整形外科** **総合診療科** **リハビリテーション科** **放射線科** **脳神経内科** **訪問診療** **救急科**

許可病床数(床)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	42				48	
平均在院日数(日)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	18				116	

臨床研修病院の指定区分

医師数

常勤：8名 非常勤：14名

専攻医情報等

【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総
専攻医プログラム認定施設					○														○
専門医数(人)					3	2										4			2
専攻医枠(人)																			3

その他施設の認定

日本外科学会外科専門医制度関連施設

総合診療専門研修連携施設（基幹：日本大学医学部附属板橋病院 筑波大学附属病院 上尾中央総合病院）

外科専門研修連携施設（基幹：筑波記念病院）

日本プライマリケア連合学会認定 ver.2.0 いばらき地域医療プログラム（基幹研修施設）

日大と人事交流のある科

救急医学、総合内科、総合診療科、循環器科、小児外科、消化器内科

主な出身大学

日本大学、福島医科大学、東北大学、岡山大学、北里大学

医師情報

位置付け

救急告示病院、在宅療養支援病院

実績

救急外来数/日平均(件)：1.6 救急車取扱数/日平均(件)：1.4

救急医療

患者数/日平均(人)

外来患者数	102	入院患者数	
		一般	26
		療養	46

分娩件数/年(件)

臨床病理検討会(CPC)実施状況

剖検数/年(件)	CPC開催数/年(回)
----------	-------------

当院は専門医を中心に質の高い急性期医療(10対1看護基準)を中軸に、医療療養病棟・訪問診療等、地域の包括的診療を展開しています。又、同一敷地内に老人保健施設、特別養護老人ホーム、地域密着型サービス施設、訪問看護・訪問介護ステーション、地域包括支援センターを有し、医療と福祉の両立を目指したコンプレックス型の施設として、地域に根ざした活動を行っています。地域の在宅診療や近隣クリニックから状態の悪い患者様の積極的な受入れも近年行っています。日本大学からは常勤医師の他に非常勤医師もたくさん来ていただいております。アットホームな雰囲気が職場には流れています。現在は外科専門医の修練施設にもなっております。ご興味のある方は、お気軽にお問い合わせ頂けると幸いです。又、2017年から始まっている、日本専門医機構の定める総合診療専門医育成のプログラムとして、日本大学医学部・筑波大学医学部・上尾中央総合病院と連携を開始します。今後も、「救急医療」・「総合診療」・「在宅診療」に力を入れていきます。

医療法人社団博鳳会 敬愛病院

開設者	医療法人社団 博鳳会 理事長 樋口 輝美
病院管理者	病院長 樋口 輝美
所在地	〒173-0036 東京都板橋区向原 3丁目 10番 23号
連絡先	TEL : 03-3973-3811 FAX : 03-3530-3030
URL	http://www.keiai-hospital.jp
交通アクセス	有楽町線・副都心線小竹向原駅より徒歩約3分



診療科目 **内科** **外科** **循環器内科** **腎臓内科(人工透析)** **皮膚科** **糖尿病内科**

許可病床数(床)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	54					
平均在院日数(日)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他

臨床研修病院の指定区分 -

医師数

常勤：4名 非常勤：27名

専攻医情報等

【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総
専攻医プログラム認定施設																			
専門医数(人)	4																		
専攻医枠(人)																			

その他施設の認定

(認定施設) 日本透析医学会 認定施設、日本循環器学会指定 循環器専門医研修施設
(専門医) 日本透析医学会専門医(3名)、日本腎臓学会専門医(2名)、日本循環器認定循環器専門医(1名)

日大と人事交流のある科

腎臓高血圧内分泌内科、循環器内科、糖尿病代謝内科、心臓外科

主な出身大学

日本大学 他

医師情報

位置付け

実績

救急外来数/日平均(件)： 救急車取扱数/日平均(件)：

患者数/日平均(人)

外来患者数 91.1 入院患者数 40.9

分娩件数/年(件)

臨床病理検討会(CPC)実施状況

剖検数/年(件) CPC開催数/年(回)

敬愛病院では、大学病院経験者の常勤医師と大学病院で中核を担う非常勤医師が、最新の知識と最先端の技術で最高の診療ができるよう目指しております。

当院は、慢性腎臓病(CKD)をはじめ、血液透析の導入と導入後の維持透析、バスキュラーアクセスの造設及び経皮的血管形成術(PTA)等を行っております。さらに、透析患者様には、合併症の予防対策として、心臓疾患はもとより、下肢の血管内治療等、心腎一体の診療ができる体制となっております。

又、専門分野で最先端の医療を行うとともに、地域の皆様のニーズにお応えできるよう近隣の先生方との連携、大学病院との連携を深め、ご納得いただける治療をおこなってまいります。医師・看護師・コメディカル・事務等、職員一丸となって、思いやりの気持ちと謙虚さを忘れずに皆様をお迎えいたします。

IMS(イムス)グループ 医療法人財団明理会 明理会中央総合病院

開設者	中村 哲也
病院管理者	廣瀬 瑞紀
所在地	〒114-0001 東京都北区東十条 3-2-11
連絡先	03-5902-1199 (代表)
URL	http://www.ims.gr.jp/meirikaichuo/
交通アクセス	・JR京浜東北線「東十条」駅北口より 徒歩 2分 ・東京メトロ南北線「王子神谷」駅より 徒歩 8分 ・JR埼京線「十条」駅より 徒歩 10分



診療科目	内科	呼吸器内科	循環器内科	消化器内科	糖尿病内科	腎臓内科	血液内科	神経内科	外科
	血管外科	消化器外科	肛門外科	乳腺外科	心臓血管外科	整形外科	リウマチ科	脳神経外科	形成外科
	皮膚科	泌尿器科	眼科	麻酔科	放射線科	婦人科	リハビリテーション科		

許可病床数(床)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	251					リハ60床
平均在院日数(日)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	14					

臨床研修病院の指定区分 協力型

医師数
常勤：48名 非常勤：47名 (常勤換算 11.98)

専攻医情報等
【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総
専攻医プログラム認定施設	○				○														
専門医数(人)	5				3														
専攻医枠(人)	1				1														

その他施設の認定
日本内科学会認定医制度教育関連病院、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本心血管インターベンション治療学会研修施設、日本血液学会血液研修施設、日本肝臓学会認定施設、日本消化器病学会専門医制度認定施設、日本消化器内視鏡学会指導施設、日本消化器・外科学会専門医制度専門医修練施設、日本大腸肛門病学会認定施設、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本外科学会専門医制度修練施設、三学会構成心臓血管外科専門医認定機構基幹施設、日本乳癌学会認定医・専門医制度関連施設、日本整形外科学会専門医制度研修施設、日本透析医学会専門医制度教育関連施設、日本脳卒中学会認定研修教育病院、日本麻酔科学会麻酔科認定病院、胸部ステントグラフト実施施設、腹部ステントグラフト実施施設、浅大腿動脈ステントグラフト実施施設、下肢静脈瘤に対する血管内レーザー焼灼術の実施基準による実施施設、日本静脈経腸栄養学会認定 NST 稼働施設、マンモグラフィ検診施設画像認定施設、日本泌尿器科学会関連教育施設

日大と人事交流のある科
腎臓内科、脳神経外科、糖尿病、整形外科

主な出身大学
日本大学、東邦大学、帝京大学 他

位置付け
救急告示医療機関、東京都指定二次救急医療機関、東京都脳卒中急性期医療機関、東京都 CCU ネットワーク加盟施設、急性大動脈スパーネットワーク加盟施設

実績
救急外来数/日平均(件)：16.3 救急車取扱数/日平均(件)：11.1

患者数/日平均(人)			
外来患者数	330	入院患者数	272

分娩件数/年(件)	
-----------	--

臨床病理検討会(CPC)実施状況	
剖検数/年(件)	CPC開催数/年(回)

JR京浜東北線 東十条駅より徒歩2分と好立地で、平成21年11月開設のため新しく、明るい雰囲気です。病床数311床、25の診療科を有する地域中核総合病院です。

地域住民の方が安心して受診でき、早期の診断と治療ができる体制を基本としています。

特定機能病院と地域医療機関の中間に位置することで相互連携を担い、患者に最適かつ高度な診療機能を提供します。

開設以来、ウォークイン患者はもとより、救急患者も増加、高い専門性を必要とする心臓血管外科や血液内科の治療も開始しています。

今後も発展していく病院として、若手医師を指導する指導医や専門医の医師、スキルアップを図りたい若手医師、臨床で力を発揮したい中堅医師など、幅広く活躍できる環境が整っています。

赤心堂病院

開設者	社会医療法人社団 尚篤会 理事長 市川 祥子
病院管理者	病院長 市川 誠
所在地	〒350-1123 埼玉県川越市脇田本町 25-19
連絡先	TEL : 049-242-1181 FAX : 049-242-1035
URL	http://www.sekishindo.or.jp
交通アクセス	川越駅西口より徒歩約5分 本川越駅より徒歩約10分 西武バス「赤心堂病院」停留所前



診療科目	外科	整形外科	リウマチ科	産科	婦人科	内科	循環器科	消化器科	消化器外科
	呼吸器科	泌尿器科	肛門外科	脳神経外科	小児科	皮膚科	乳腺外科	専門外来 (糖尿病・乳癌外来・ストーマ外来)	
	内視鏡外科	麻酔科	形成外科	放射線科	リハビリテーション科				

許可病床数 (床)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	198					
平均在院日数 (日)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	13.3					

臨床研修病院の指定区分

医師数

常勤：34名 非常勤：95名

専攻医情報等

【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	循	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総
専攻医プログラム認定施設					○	○	○	○						○						
専門医数 (人)	3				5	7	5	3			3		1	3						5
専攻医枠 (人)					1	1	1	1												

その他施設の認定

日本歯科麻酔学会研修施設、日本医療機能評価機構認定施設

日大と人事交流のある科

内科、外科、循環器科、小児科

主な出身大学

日本大学、新潟大学、東京大学、京都大学、東京医科歯科大学、埼玉医科大学、信州大学、順天堂大学 他

医師情報

位置付け

二次救急医療機関

実績

救急外来数/日平均 (件) : 6.1 救急車取扱数/日平均 (件) : 3.7

救急医療

患者数/日平均 (人)

外来患者数 450 入院患者数 127

分娩件数/年 (件)

184

臨床病理検討会 (CPC) 実施状況

剖検数/年 (件) CPC開催数/年 (回)

・ 大学病院との連携を基に、患者様に寄り添った赤心 (まごころ) 診療並びに地域に密着した医療及び看護の推進

・ 病床数 198 床の急性期病院

・ 駅近、車通勤可

・ 24 時間保育施設完備

医療法人財団謙仁会 亀有病院

開設者	理事長 猪口 直美
病院管理者	玉井 健介
所在地	〒125-8520 東京都葛飾区亀有 3-36-3
連絡先	TEL : 03-3601-0186
URL	http://www.kameari-hp.com
交通アクセス	常磐線/千代田線 亀有駅徒歩5分



診療科目 **内科** **循環器科** **呼吸器科** **外科** **脳神経外科** **整形外科** **泌尿器科** **内視鏡科** **乳腺外来**
理学療法科 **人間ドック** **形成外科** **皮膚科**

許可病床数(床)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	38				60	
平均在院日数(日)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	18.1				212.0	

臨床研修病院の指定区分

医師数

常勤：7名 非常勤：40名

専攻医情報等

【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総
専攻医プログラム認定施設																			
専門医数(人)					2	2					1								
専攻医枠(人)																			

その他施設の認定

日大と人事交流のある科

救命科、脳神経外科

主な出身大学

慈恵医科大学、日本医科大学、日本大学

医師情報

位置付け

二次救急医療機関、東京都災害拠点連携病院

実績

救急外来数/日平均(件)：4.5 救急車取扱数/日平均(件)：3.5

救急医療

患者数/日平均(人)

外来患者数 227 入院患者数 2.5

分娩件数/年(件)

臨床病理検討会(CPC)実施状況

剖検数/年(件) CPC開催数/年(回)

当院は、この地で70年に渡り地域医療に取り組んでおります。検査機器を充実させて地域住民の健康増進に取り組み、2次救急機関として救急搬送の受け入れも行なっております。

また、24時間対応の在宅診療部を有し、患者様が退院後に安心して療養生活を送れる体制を整えております。

特定医療法人財団大西会 千曲中央病院

開設者	特定医療法人財団大西会
病院管理者	理事長 大西 禎彦
所在地	〒387-8512 長野県千曲市杭瀬下58
連絡先	TEL: 026-273-1212 FAX: 026-272-2991
URL	http://www.chikuma-chp.com/
交通アクセス	しなの鉄道 屋代駅 徒歩6分



- 診療科目 **内科** **消化器科** **循環器内科** **腎臓内科** **外科** **整形外科** **皮膚科** **脳神経外科**
リハビリテーション科 **放射線科** **泌尿器科** **麻酔科** **歯科**

許可病床数(床)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	155				40	
平均在院日数(日)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	17				70	

臨床研修病院の指定区分

医師数

常勤: 15名 非常勤: 30名

専攻医情報等

【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総
専攻医プログラム認定施設																			
専門医数(人)	4				3	1				1	2		1						
専攻医枠(人)																			

その他施設の認定

日大と人事交流のある科

消化器内科、循環器内科、腎臓内科、泌尿器科

主な出身大学

日本大学、富山大学、新潟大学、名古屋大学、東京大学、埼玉医科大学、神戸大学、信州大学、宮崎大学、昭和大学、聖マリアンナ医科大学、金沢医科大学、順天堂大学、愛知医科大学

医師情報

位置付け

二次救急標榜施設

実績

救急外来数/日平均(件): 4 救急車取扱数/日平均(件): 2

救急医療

患者数/日平均(人)

外来患者数 入院患者数

分娩件数/年(件)

臨床病理検討会(CPC)実施状況

剖検数/年(件) CPC開催数/年(回)

- 週4日当直なし相談可能
- 転居されてこられる先生も安心
住宅手当・赴任手当あり!
- 高名な先生がおり、学べる環境です!
- 病院運営のメディカル・フィットネス有り

医療法人寿鶴会 菅野病院

開設者	医療法人寿鶴会 理事長 菅野 隆
病院管理者	院長 菅野 隆
所在地	〒351-0114 埼玉県和光市本町 28-1 ~ 28-3
連絡先	(本館・代表) 048-464-5111 (別館・精神科) 048-464-6211
URL	http://www.kanno-hospital.com
交通アクセス	東京メトロ有楽町線、東京メトロ副都心線、東武東上線 和光市駅 南口より徒歩 10 分



診療科目 **精神科** **神経科** **老年精神科** **心療内科** **泌尿器科** **整形外科** **リハビリテーション科** **人間ドック**
内科 **人工透析内科** **歯科**

許可病床数(床)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	28	280			92	
平均在院日数(日)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	43	271			382	

臨床研修病院の指定区分 協力型

医師数

常勤：12名 非常勤：22名

専攻医情報等

【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総
専攻医プログラム認定施設				○															
専門医数(人)				4															
専攻医枠(人)				2															

その他施設の認定

日大と人事交流のある科

精神科、腎臓・高血圧・内分泌内科、循環器内科、整形外科

主な出身大学

日本大学、北海道大学、順天堂大学、東京女子医科大学、昭和大学、日本医科大学、帝京大学、群馬大学 他

医師情報

救急医療

位置付け

埼玉県精神科救急(輪番制)

実績

救急外来数/日平均(件)： 救急車取扱数/日平均(件)：

患者数/日平均(人)

外来患者数 202 入院患者数 310

分娩件数/年(件)

臨床病理検討会(CPC)実施状況

剖検数/年(件) CPC開催数/年(回)

医療法人寿鶴会は平成29年に東武中央病院(精神科)と菅野病院(内科/人工透析等)の2病院を統合し、新たに「菅野病院」として再スタートを切りました。その後「埼玉県認知症疾患医療センター」の指定を受けるなど、精神科疾患に加え身体合併症にも対応できる包括的な医療体制に転換しております。令和3年からは新型コロナウイルス対応重点医療機関として精神科疾患を持つ新型コロナウイルス感染症患者の受け入れを開始し、固有の医療資源を活かした地域医療に尽力しております。

超高齢化社会における地域連携の中核となるべく、いっそう努めて参る所存です。私たちの医療ビジョンに共感いただける先生に是非お越しいただきたく、お願い申し上げます。

サンピエール病院

開設者	医療法人 山崎会
病院管理者	山崎 学
所在地	〒370-0857 群馬県高崎市上佐野町 786-7
連絡先	TEL : 027-347-1177 FAX : 027-347-1553
URL	http://st-pierre.or.jp/
交通アクセス	高崎駅からタクシーで10分



診療科目 **精神科** **神経科** **整形外科** **内科** **外科** **消化器科** **肛門科** **眼科** **歯科口腔外科**
循環器科 **皮膚科** **リウマチ科** **耳鼻咽喉科** **放射線科** **リハビリ科** **泌尿器科**

許可病床数(床)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	105	417				
平均在院日数(日)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	42	92				

臨床研修病院の指定区分

医師数

常勤：20名 非常勤：28名

専攻医情報等

【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総
専攻医プログラム認定施設																			
専門医数(人)	1		1	3		1				1									
専攻医枠(人)																			

その他施設の認定

日大と人事交流のある科

精神科

主な出身大学

日大、群馬大、防衛医大、帝京大

医師情報

救急医療

位置付け

二次救急

実績

救急外来数/日平均(件)：1.0 救急車取扱数/日平均(件)：1.0

患者数/日平均(人)

外来患者数 208 入院患者数 508

分娩件数/年(件)

臨床病理検討会(CPC)実施状況

剖検数/年(件) CPC開催数/年(回) 12

精神科と一般科を併設する県内唯一の民間病院。合併症患者を多く扱う。

高月病院

開設者	医療法人社団東京愛成会
病院管理者	長瀬 幸弘
所在地	〒192-0005 東京都八王子市宮下町 178 番地
連絡先	TEL : 042-691-1131 FAX : 042-691-1717
URL	http://www.takatuki.or.jp
交通アクセス	JP八王子駅北口より徒歩5分程度の場所より、病院車輻あり。 所要時間30分程度。 公共機関<バス> JR・京王線八王子駅より、西東京バス「戸吹行き」で「加住小学校」下車。 徒歩10分。



診療科目 **精神科**

許可病床数(床)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
		516				
平均在院日数(日)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
		567.4				

臨床研修病院の指定区分

医師数

常勤：13名 非常勤：21名

専攻医情報等

【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総
専攻医プログラム認定施設				○															○
専門医数(人)				12															12
専攻医枠(人)				20															21

その他施設の認定

日大と人事交流のある科

精神科

主な出身大学

日本大、東京医科歯科大、京都大、山梨大、香川大、聖マリアンナ大、京都府立医大、東海大、宮崎大、杏林大、慶応大、福井大、東京女子医大、日本医大、熊本大、滋賀大、岐阜大 他

医師情報

救急医療

位置付け

精神保健福祉法指定病床(10床)、応急入院指定病床(1床)

実績

救急外来数/日平均(件) : 救急車取扱数/日平均(件) :

患者数/日平均(人)

外来患者数 52.4 入院患者数 494.3

分娩件数/年(件)

臨床病理検討会(CPC)実施状況

剖検数/年(件) CPC開催数/年(回)

東京都八王子市の北部に位置し、病院敷地内にはグループホーム、隣接する昭島市にはサテライトクリニック、訪問看護ステーション、認知症疾患医療センター、また、杉並区荻窪と立川市にサテライトクリニックを有している。

病院理念は、『ひとの持つ「自然治癒力」を大切にした精神科医療を提供する』であり、自然に囲まれた環境で医療を提供している。

太田総合病院

開設者	理事長 太田 正治
病院管理者	院長 太田 史一
所在地	〒210-0024 神奈川県川崎市川崎区日進町 1-50
連絡先	TEL : 044-244-0131 FAX : 044-244-5459
URL	http://www.ota-g-hospital.com
交通アクセス	JR川崎駅東口より徒歩5分、京急川崎駅より徒歩7分



診療科目 **内科** **小児科** **外科** **脳神経外科** **整形外科** **皮膚科** **泌尿器科** **産婦人科** **眼科**
耳鼻咽喉科 **気管食道科** **麻酔科** **放射線科** **リハビリテーション科**

許可病床数(床)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	261					
平均在院日数(日)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	10.5					

臨床研修病院の指定区分

医師数

常勤:51名 非常勤:85名

専攻医情報等

【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総
専攻医プログラム認定施設					○	○	○	○	○		○								
専門医数(人)	8	1			4	7	4	1	6		2	2	5						
専攻医枠(人)					1		2		3		1								

その他施設の認定

日大と人事交流のある科

麻酔科

主な出身大学

慈恵医大、順天堂大、日大、東邦大、昭和大、北里大

医師情報

位置付け

二次救急医療機関

実績

救急外来数/日平均(件):5.2 救急車取扱数/日平均(件):3.3

救急医療

患者数/日平均(人)

外来患者数 830 入院患者数 152

分娩件数/年(件)

700

臨床病理検討会(CPC)実施状況

剖検数/年(件) CPC開催数/年(回)

「医は心」。これは当院が設立された1927年当時から受け継がれてきた言葉です。あたたかい思いやりの心に満ちた医療の実現は、今も変わらない当院の永遠の目標です。

そしてもうひとつの目標は、地域の急性期病院として高度な最新の医療を提供することです。

当院は幅広い診療体制で一般の患者さんがかかりやすい病院であると同時に、特色ある専門外来を開設し、全国の医療機関より紹介され専門的医療を行う病院でもあります。

また、不足する産科施設として、さらに救急医療機関として地域の期待に応えております。

今後もこれらの診療を一層充実させてまいります。

埼玉県立循環器・呼吸器病センター

開設者	地方独立行政法人埼玉県立病院機構
病院管理者	柳澤 勉
所在地	〒360-0197 埼玉県熊谷市板井 1696
連絡先	048-536-9900
URL	http://www.saitama-pho.jp/junko-c/
交通アクセス	<p><バス> JR 高崎線・湘南新宿ライン・上越新幹線「熊谷駅」北口からバスで30分</p> <p><自動車> 関越自動車道「嵐山・小川IC」から約8.5km 関越自動車道「花園IC」から約9.5km</p>



診療科目 **循環器内科** **腎臓内科** **心臓外科** **血管外科** **脳神経外科** **呼吸器内科** **緩和ケア内科** **呼吸器外科** **消化器外科**
放射線科 **麻酔科** **リハビリテーション科** **病理診断科** (入院患者のみ診療: 眼科、耳鼻いんこう科、歯科、整形外科)

許可病床数(床)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	292		21	30		
平均在院日数(日)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	13.6		15.3			

臨床研修病院の指定区分

医師数
常勤: 57名 非常勤: 9名

専攻医情報等
【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総	
専攻医プログラム認定施設	○				○							○	○						○	
専門医数(人)	20				14						3	4	5	1					1	
専攻医枠(人)																				

その他施設の認定

日大と人事交流のある科
循環器内科、呼吸器外科

主な出身大学
東京慈恵会医科大学、日本大学、群馬大学、埼玉医科大学、帝京大学

位置付け

実績
救急外来数/日平均(件): 9.1 救急車取扱数/日平均(件): 4.4

患者数/日平均(人)			
外来患者数	268.8	入院患者数	187.0

分娩件数/年(件)	

臨床病理検討会(CPC)実施状況			
剖検数/年(件)	3	CPC開催数/年(回)	1

埼玉県北部の循環器・呼吸器基幹病院であり、循環器内科は総勢14名で循環器救急疾患に対応している。急性心筋梗塞の治療は全国でもトップクラスの治療数であり、年間約200件近いACS患者のPCIを施行している。複雑病変の治療も多数経験できるため3年後には自信を持って治療できる環境にある。PCIのみならず、CCUでの心不全管理や近年増加中の大動脈弁狭窄症、僧房弁逆流症も多数経験でき、TAVI(経皮的カテーテル大動脈弁置換術)は年間45~50件、Mitra Clip(経皮的僧帽弁形成術)は年間20件のペースで行っている。豊富な臨床経験を積んでPCI専門医や超音波専門医を取得後に大学へ帰局することも可能で常勤への道もあり。学会や講習会参加も交通費・参加費が全て支給されるので、積極的に勉強できる機会あり。都内にも新幹線で30分で行くことができ、上信越方面のスキー場へのアクセスも良い。家賃物価なども都内と比べれば過ごしやすい場所ですので、是非一度研修の場として考えてみてはいかがでしょうか?

平成29年3月には新館棟がオープンし、一般病棟のほか、新たに緩和ケア病床24床を新設し、外来化学療法室なども充実しました。

幸仁会 堀中病院

開設者	堀中 晋
病院管理者	堀中 晋
所在地	〒340-0114 埼玉県幸手市東3-1-5
連絡先	0480-42-2081
URL	www.horinaka-byouin.com
交通アクセス	東武スカイツリーライン幸手駅徒歩13分 首都圏中央連絡自動車道 幸手インター下車 1分



- 診療科目 **内科** **循環器科** **消化器科** **神経内科** **整形外科** **小児科** **婦人科** **泌尿器科** **皮膚科**
放射線科 **リハビリテーション科**

許可病床数(床)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	48				47	
平均在院日数(日)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	25					

臨床研修病院の指定区分 準備中

医師情報

医師数

常勤：4名 非常勤：11名

専攻医情報等

【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総
専攻医プログラム認定施設																			
専門医数(人)	3	1	1			1				1									
専攻医枠(人)																			

その他施設の認定

循環器専門医研修関連施設、整形外科専門医研修関連施設

日大と人事交流のある科

腎臓高血圧内分泌内科、循環器内科、皮膚科、整形外科

主な出身大学

獨協大学、昭和大学、日本大学、東京大学、帝京大学

救急医療

位置付け

二次救急

実績

救急外来数/日平均(件)：約1600/4 救急車取扱数/日平均(件)：175/0.5

患者数/日平均(人)

外来患者数 約200 入院患者数 95

分娩件数/年(件)

昭和42年病院となって以来50年間、日本大学の先生方の御尽力もあり地域に密着した救急病院として続けております。今後とも宜しくお願い致します。

臨床病理検討会(CPC)実施状況

剖検数/年(件) CPC開催数/年(回)

社会医療法人社団一成会 木村病院

開設者	木村 厚
病院管理者	院長 木村 玄 (はるか)
所在地	〒116-0003 東京都荒川区南千住 1-1-1
連絡先	03-5615-2111
URL	http://www.kimura-hp.or.jp/
交通アクセス	都電荒川線「荒川一中前」駅目の前 東京メトロ日比谷線「三ノ輪」駅より徒歩8分



- 診療科目
- 外科
 - 血管外科
 - 内科
 - 整形外科
 - 脳神経外科
 - リハビリテーション科
 - 消化器外科
 - 消化器内科
 - 肛門外科
 - 糖尿病内科
 - 循環器内科
 - 呼吸器内科
 - 泌尿器科
 - 皮膚科
 - 美容皮膚科
 - 美容外科
 - 腎臓内科

許可病床数(床)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	99					
平均在院日数(日)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
	19					

臨床研修病院の指定区分

医師数
常勤：6名 非常勤：35名

専攻医情報等
【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総
専攻医プログラム認定施設																			
専門医数(人)	1				3	1					1					1			
専攻医枠(人)																			

その他施設の認定
国土交通省指定 短期入院協力病院

日大と人事交流のある科
小児外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、循環器内科

主な出身大学
日本大学

位置付け
東京都指定二次救急医療機関

実績
救急外来数/日平均(件)：3.2 救急車取扱数/日平均(件)：2.5

患者数/日平均(人)			
外来患者数	104.0	入院患者数	84.8

分娩件数/年(件)	
-----------	--

臨床病理検討会(CPC)実施状況	
剖検数/年(件)	CPC開催数/年(回)

木村病院は、地域の皆さんが健康でいられるために検診や生活指導などの予防医療から二次救急医療機関としての役割まで担っています。法人内では訪問看護ステーションの運営も行っています。1998年より(財)日本医療機能評価機構の認定をうけ更新中です。2017年2月には電子カルテを導入しました。

開院して70年以上、これまで同様、そしてさらに一層、「切れ目のない医療と介護」を地域の方々に提供し、「みんなの元気のパートナー」として、日々努力を重ねていきます。

医療法人明柳会恩田第2病院

開設者	医療法人明柳会恩田第2病院 理事長
病院管理者	院長 太田 克也
所在地	〒270-2251 千葉県松戸市金ヶ作 302
連絡先	047-387-3761 (代)
URL	http://www.onda-hospital.com/
交通アクセス	五香駅東口より徒歩 15 分



診療科目 **心療内科** **精神科**

許可病床数(床)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
		308				
平均在院日数(日)	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
		369				

臨床研修病院の指定区分 協力型

医師数

常勤：13名 非常勤：13名

専攻医情報等

【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総
専攻医プログラム認定施設																			
専門医数(人)				常勤4 非常勤7															
専攻医枠(人)																			

その他施設の認定

日大と人事交流のある科

心療内科、精神科

主な出身大学

東京医科歯科大、日本医科大学 等

医師情報

位置付け

精神科救急基幹病院、第二次救急医療

実績

救急外来数/日平均(件)：0.18 救急車取扱数/日平均(件)：0.02

救急医療

患者数/日平均(人)

外来患者数 58.51 入院患者数 208.26

分娩件数/年(件)

臨床病理検討会(CPC)実施状況

剖検数/年(件) CPC開催数/年(回)

当院は1957年に設立された精神科・心療内科専門の病院です。2012年1月から2014年6月まで厚生労働省から「アウトリーチ推進委託事業」を受託し、多職種チームを作り24時間365日地域で対応することにより、「課題の解決を入院という形に頼らない」という支援・活動に力を入れてまいりました。2016年にすべての建て替えが完了し、新しい7階建ての病棟で、再スタート致しました。2019年4月に1病棟がスーパー救急病棟の指定を受けました。3カ月以内に自宅または施設に6割を退院させられるか(地域移行率)が最大のハードルでしたが、アウトリーチの経験が役にたち、地域移行率はおおむね70～80%で推移しております。スーパー救急とアウトリーチとは180度方向性が違ってお考えの方が多いのですが、両者は相補的(相互補完的)な関係にあります。2018年から始めました松戸保健所圏域における精神障害者にも対応する地域包括ケアシステムのけん引役も果たしております。2019年7月1日には社会復帰を目指したグループホーム(おんだレジデンスA棟:男性用5室、女性用5室、そして2020年10月にB棟:男性用5室女性用5室)を開設致しました。2019年9月1日には千葉県から東葛北部の基幹病院に指定され、地域の中心的な病院として貢献しております。

医療法人秀峰会 北辰病院

開設者	医療法人秀峰会 理事長
病院管理者	院長 小西 俊一郎
所在地	〒330-0851 埼玉県越谷市七左町 4-358
連絡先	048-985-3333
URL	http://www.hokusin.org
交通アクセス	新越谷駅（南越谷駅）無料送迎バス 10分



診療科目 **精神科** **心療内科**

許可病床数（床）	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
		238				
平均在院日数（日）	一般	精神	感染症	結核	療養	その他
		66.2				

臨床研修病院の指定区分 協力型

医師数

常勤：10名 非常勤：12名

専攻医情報等

【基本領域】

	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	リ	総
専攻医プログラム認定施設				○															
専門医数（人）				9															
専攻医枠（人）				2															

その他施設の認定

日大と人事交流のある科

精神科

主な出身大学

日本大、慈恵医大、日本医科大、東大、東北大、東邦大、獨協医大、筑波大、弘前大、北海道大

医師情報

位置付け

精神科救急・急性期病院

実績

救急外来数／日平均（件）：0.25 救急車取扱数／日平均（件）：

救急医療

患者数／日平均（人）

外来患者数 123.4 入院患者数 170.6

分娩件数／年（件）

臨床病理検討会（CPC）実施状況

剖検数／年（件） CPC開催数／年（回）

当院は昭和56年に開設以来、特に精神神経科領域において地域医療に貢献し、「今、死にたい」「今、暴れている」など「今、困っている」患者様やご家族の治療希望に直ぐに応えるという理念に掲げ、現在では精神科スーパー救急病院として埼玉県内では県立病院に次いで2番目の精神科救急病院として認定され、24時間365日対応しています。

日本大学医学部関連病院一覧

令和4年4月現在

No.	病 院 名	〒	所 在 地	電 話
1	川口市立医療センター	〒333-0833	埼玉県川口市西新井宿180	048-287-2525
2	横浜中央病院	〒231-8553	神奈川県横浜市中区山下町268	045-641-1921
3	春日部市立医療センター	〒344-8588	埼玉県春日部市中央6-7-1	048-735-1261
4	公立阿伎留医療センター	〒197-0834	東京都あきる野市引田78-1	042-558-0321
5	板橋区医師会病院	〒175-0082	東京都板橋区高島平3-12-6	03-3975-8151
6	独立行政法人国立病院機構 甲府病院	〒400-8533	山梨県甲府市天神町11-35	055-253-6131
7	静岡県立こども病院	〒420-8660	静岡県静岡市葵区漆山860	0542-47-6251
8	あしかがの森足利病院	〒326-0011	栃木県足利市大沼田町615	0284-91-0611
9	社会医療法人さいたま市民医療センター	〒331-0054	埼玉県さいたま市西区島根299-1	048-626-0011
10	東松山市立市民病院	〒355-0005	埼玉県東松山市大字松山2392	0493-24-6111
11	相模原協同病院	〒252-5188	神奈川県相模原市緑区橋本2-8-18	042-772-4291
12	東京都立広尾病院	〒150-0013	東京都渋谷区恵比寿2-34-10	03-3444-1181
13	小川赤十字病院	〒355-0321	埼玉県比企郡小川町小川1525	0493-72-2333
14	大森赤十字病院	〒143-8527	東京都大田区中央4-30-1	03-3775-3111
15	地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター	〒330-8777	埼玉県さいたま市中央区新都心1-2	048-601-2200
16	独立行政法人国立病院機構 災害医療センター	〒190-0014	東京都立川市緑町3256	042-526-5511
17	医療法人社団せいおう会 鷺谷健診センター	〒110-0003	東京都台東区根岸2-19-19	03-3873-9161
18	東京都立大塚病院	〒170-8476	東京都豊島区南大塚2-8-1	03-3941-3211
19	公立福生病院	〒197-8511	東京都福生市加美平1-6-1	042-551-1111
20	本庄総合病院	〒367-0031	埼玉県本庄市北堀1780	0495-22-6111
21	小張総合病院	〒278-8501	千葉県野田市横内29-1	04-7124-6666
22	公益財団法人河野臨牀医学研究所附属品川リハビリテーション病院	〒140-0001	東京都品川区北品川3-4-4(法人住所)	03-3474-1831
23	埼玉県立精神医療センター	〒362-0806	埼玉県北足立郡伊奈町大字小室818-2	048-723-1111
24	医療法人社団永生会永生病院	〒193-0942	東京都八王子市栢田町583-15	0426-61-4108
25	長岡西病院	〒940-2081	新潟県長岡市三ツ郷屋町371-1	0258-27-8500
26	取手北相馬保健医療センター医師会病院	〒302-0032	茨城県取手市野々井1926	0297-78-6111
27	社会福祉法人信愛報恩会信愛病院	〒204-0024	東京都清瀬市梅園2-5-9	0424-91-3211
28	医療法人仁愛会日立おおみか病院	〒319-1221	茨城県日立市大みか町2-22-30	0294-52-4455
29	みつわ台総合病院	〒264-0021	千葉県千葉市若葉区若松町531-486	043-251-3030
30	新座志木中央総合病院	〒352-0001	埼玉県新座市東北1-7-2	048-474-7211
31	医療法人伯鳳会 東京曳舟病院	〒131-0032	東京都墨田区東向島2-27-1	03-5655-1120
32	がん研有明病院	〒135-8550	東京都江東区有明3-8-31	03-3520-0111
33	医療法人社団一条会一条会病院	〒272-0836	千葉県市川市北国分4-26-1	047-372-5111
34	佐々木研究所附属杏雲堂病院	〒101-0062	東京都千代田区神田駿河台1-8	03-3292-2051
35	公益財団法人東京都保健医療公社豊島病院	〒173-0015	東京都板橋区栄町33-1	03-5375-1234
36	総合病院厚生中央病院	〒153-8581	東京都目黒区三田1-11-7	03-3713-2141
37	上尾中央総合病院	〒362-8588	埼玉県上尾市柏座1-10-10	048-773-1111
38	東京臨海病院	〒134-0086	東京都江戸川区臨海町1-4-2	03-5605-8811
39	社会福祉法人白十字会 白十字総合病院	〒314-0134	茨城県神栖市賀2148	0299-92-3311
40	医療法人豊仁会 三井病院	〒350-0066	埼玉県川越市連雀町19-3	049-222-5321
41	医療法人社団苑田会 苑田第一病院	〒121-0813	東京都足立区竹の塚4-1-12	03-3850-5721
42	医療法人社団博栄会 赤羽中央総合病院	〒115-0044	東京都北区赤羽南2-5-12	03-3902-0348

No.	病 院 名	〒	所 在 地	電 話
43	医療法人 武蔵野総合病院	〒350-1167	埼玉県川越市大字大袋新田977-9	049-244-6340
44	医療法人社団 藤崎病院	〒136-0076	東京都江東区南砂1-25-11	03-3648-2111
45	医療法人社団偕翔会 豊島中央病院	〒170-0012	東京都豊島区上池袋2-42-21	03-3916-7211
46	相模野病院	〒252-0206	神奈川県相模原市中央区淵野辺1-2-30	042-752-2025
47	医療法人社団苑田会 苑田第三病院	〒121-0807	東京都足立区伊興本町2-5-10	03-5837-5111
48	医療法人財団 健貢会 総合東京病院	〒165-8906	東京都中野区江古田3-15-2	03-3387-5421
49	東京都立墨東病院	〒130-8575	東京都墨田区江東橋4-23-15	03-3633-6151
50	国際医療福祉大学 市川病院	〒272-0827	千葉県市川市国府台6-1-14	047-375-1111
51	医療法人社団 青燈会 小豆畑病院	〒311-0105	茨城県那珂市菅谷605	029-295-2611
52	医療法人社団 博鳳会 敬愛病院	〒173-0036	東京都板橋区向原3-10-23	03-3973-3811
53	医療法人財団明理会 明理会中央総合病院	〒114-0001	東京都北区東十条3-2-11	03-5902-1199
54	社会医療法人社団尚篤会 赤心堂病院	〒350-1123	埼玉県川越市脇田本町25-19	049-242-1181
55	医療法人財団謙仁会 亀有病院	〒125-8520	東京都葛飾区亀有3-36-3	03-3601-0186
56	独立行政法人国立病院機構 埼玉病院	〒351-0102	埼玉県和光市諏訪2-1	048-462-1101
57	医療法人 豊岡整形外科病院	〒358-0003	埼玉県入間市豊岡1-8-3	04-2962-8256
58	特定医療法人財団大西会 千曲中央病院	〒387-8512	長野県千曲市大字杭瀬下58	026-273-1212
59	医療法人壽鶴会 菅野病院	〒351-0114	埼玉県和光市本町28-1	048-464-6211
60	医療法人社団山崎会 サンビエール病院	〒370-0857	群馬県高崎市上佐野町786-7	027-347-1177
61	医療法人社団東京愛成会 高月病院	〒192-0005	東京都八王子市宮下町178	042-691-1131
62	医療法人愛仁会 太田総合病院	〒210-0024	神奈川県川崎市川崎区日進町1-50	044-244-0131
63	埼玉県立循環器・呼吸器病センター	〒360-0197	埼玉県熊谷市板井1696	048-536-9900
64	埼玉県総合リハビリテーションセンター	〒362-8567	埼玉県上尾市西貝塚148-1	048-781-2222
65	医療法人財団明理会 イムス富士見総合病院	〒354-0021	埼玉県富士見市大字鶴馬1967-1	049-251-3060
66	医療法人社団同愛会病院	〒132-0031	東京都江戸川区松島1-42-21	03-3654-3311
67	由利組合総合病院	〒015-8511	秋田県由利本荘市川口字家後38	0184-27-1200
68	医療法人幸仁会堀中病院	〒340-0114	埼玉県幸手市東3-1-5	0480-42-2081
69	医療法人社団薫風会山田病院	〒188-0012	東京都西東京市南町3-4-10	042-461-0005
70	医療法人社団千秋会 田中脳神経外科病院	〒177-0053	東京都練馬区関町南3-9-23	03-3920-6263
71	医療法人社団じうんどう 慈雲堂病院	〒177-0053	東京都練馬区関町南4-14-53	03-3928-6511
72	社会医療法人一成会 木村病院	〒116-0001	東京都荒川区町屋2-3-7	03-3892-3161
73	医療法人 土屋小児病院	〒346-0003	埼玉県久喜市久喜中央3-1-10	0480-21-0766
74	医療法人社団武蔵野会 TMG あさか医療センター	〒351-0023	埼玉県朝霞市溝沼1340-1	048-466-2055
75	沼津市立病院	〒410-0302	静岡県沼津市東椎路字春ノ木550	055-924-5100
76	千葉県こども病院	〒266-0007	千葉県千葉市緑区辺田町579-1	043-292-2111
77	医療法人明柳会恩田第2病院	〒270-2251	千葉県松戸市金ヶ作302番地	047-387-3761
78	医療法人秀峰会 北辰病院	〒343-0851	埼玉県越谷市七左町4-358	048-985-3333
79	公益財団法人東京都保健医療公社東部地域病院	〒125-8512	東京都葛飾区亀有5-14-1	03-5682-5111
80	医療法人社団明芳会 板橋中央総合病院	〒174-0051	東京都板橋区小豆沢2-12-7	03-3967-1181
81	医療法人社団輔仁会 嬉野が丘サマリヤ人病院	〒901-1105	沖縄県島尻郡南風原町新川460	098-889-1328
82	医療法人社団輔仁会 田崎病院	〒902-0062	沖縄県那覇市松川319番地	098-885-2375
83	医療法人徳洲会 湘南藤沢徳洲会病院	〒251-0041	神奈川県藤沢市辻堂神台1-5-1	0466-35-1177
84	国立国際医療研究センター病院	〒272-8516	千葉県市川市国府台1-7-1	047-372-3501

関連病院 GUIDE BOOK 2022 年度版

令和4年5月

編集・発行 日本大学医学部
卒後教育委員会

〒173-8610 東京都板橋区大谷口上町30-1

電話：03(3972)8123 (ダイヤルイン)

<http://www.med.nihon-u.ac.jp/>

E-mail：med.shomu@nihon-u.ac.jp

